

2026年度 大学院 学生募集要項

	8月募集	1月募集
出願期間	7月25日(金) ～8月1日(金) 必着	1月9日(金) ～1月16日(金) 必着
試験日	9月21日(日)	2月21日(土)
合格発表日	10月3日(金)	3月9日(月)

Web出願ではありません 出願書類を、必ず資料請求してください。

資料請求ページ：https://ao.kanto-gakuin.ac.jp/application_request/
(アドミッションズセンター窓口で、直接受け取りも可能です)

大学院入試では、受験番号の照会、受験票の発行、合否照会、合格通知・振込用紙の発行、入学手続等で、受験ポータルサイト「UCARO」を利用します。

「UCARO」の会員登録はP.7をご確認ください。

目 次

ページを
クリックすると
該当ページに
移動します

1 各研究科共通事項	4
1. 日程	
2. 出願資格	
3. 出願資格審査（対象者のみ）	
4. 事前協議（対象者のみ）	
5. 出願方法	
6. 受験ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」の会員登録	
7. 「UCARO」での出願連携	
8. 受験票の印刷	
9. 受験上の注意	
10. キャンパス案内図（修学キャンパス）	
11. 合格発表	
12. 入学手続	
13. 日本学生支援機構 授業料後払い制度について	
14. 2026年度入学生初年度学費及びその他諸納金	
15. 長期履修学生制度について	
2 文学研究科	17
募集概要 授業科目表	
3 経済学研究科	39
募集概要 授業科目表	
4 法学研究科	57
募集概要 授業科目表	
5 工学研究科	81
募集概要 授業科目表	
6 看護学研究科	107
募集概要 授業科目表	
7 志願票記入例・履歴票記入例	114
8 各種記入用紙	
◆ 事前協議申込書	(1)
◆ 履 歴 票	(2)
◆ 研究計画書（表紙）	(3)
◆ 職務経歴書（表紙）	(4)
◆ 研究計画書（文学研究科）	(5)
◆ 社会人推薦入学試験 在職（所属）する機関等の推薦状	(6)
◆ 出願資格審査願（法学研究科）	(7)
◆ リサーチペーパー（法学研究科）（表紙）	(8)
◆ 自己推薦状（法学研究科）	(9)
◆ 自治体等推薦入学試験 推薦状	(10)
◆ 既修得単位事前照会願（法学研究科）	(11)
◆ 公募制推薦入学試験推薦状（工学研究科）	(12)
◆ 入学試験出願資格認定申請書（看護学研究科）	(13)
◆ 志望理由書（看護学研究科）（表紙）	(14)
◆ 長期履修申請書	(15)
◆ 長期履修計画書（経済学研究科）	(16)
◆ 在職証明書（経済学研究科）	(17)

2025年度 入学試験状況表

【入学者選抜情報】

研究科	課程	専攻	入学定員	該当ページ
文学研究科	博士前期課程	英語英米文学専攻	8	P. 17～
		比較日本文化専攻	8	
		社会学専攻	8	
	博士後期課程	英語英米文学専攻	3	
		比較日本文化専攻	2	
		社会学専攻	2	
経済学研究科	博士前期課程	経済学専攻	10	P. 39～
		経営学専攻	10	
	博士後期課程	経済学専攻	5	
		経営学専攻	5	
法学研究科	博士前期課程	法学専攻（研究者養成コース）	5	P. 57～
		法学専攻（専修コース）		
	修士課程	地域創生専攻	3	
	博士後期課程	法学専攻（法学コース）	2	
		法学専攻（地域創生コース）		
工学研究科	博士前期課程	機械工学専攻	7	P. 81～
		電気工学専攻	7	
		情報学専攻	3	
		建築学専攻	10	
		土木工学専攻	5	
		物質生命科学専攻	12	
	博士後期課程	建築学専攻	3	
		総合工学専攻	7	
看護学研究科	修士課程	看護学専攻	5	P. 107～

※入学定員は、8月募集と1月募集を合わせた人数

受験及び修学上の配慮が必要な方へ

関東学院大学では、すべての学生が等しい条件の下で安心して学生生活を送ることができるように、必要に応じて修学環境を整える支援を行っています。入学後は自立して修学できることを原則としていますので、修学上の配慮が必要な場合には、出願される前に、本学の授業を履修できるかどうかについて、相談していただく機会を設けています。また入学者選抜においては、障がいや疾病、怪我などにより受験上の配慮が必要な場合、公平性、公正性が担保されることを条件に、適正な配慮措置（別室受験、補助器具の使用、試験時間の延長など）を行います。ただし、障がいの状況や配慮の内容によっては対応が困難な場合もありますので、必ず出願締め切りの4週間前までにアドミッションズセンター（045-786-7019）へご相談ください。ご相談いただいた内容が、入学者選抜の合否判定に影響を及ぼすことはありません。配慮の申し出等の詳細は、以下のページをご確認ください。
 〈受験及び修学上の配慮が必要な方へ〉 <https://ao.kanto-gakuin.ac.jp/about/considering/>

募集人数、出願資格、選抜方法等は各研究科のページも参照してください。

また、各研究科の学位授与方針、教育課程の編成・実施方針及び入学者受入方針は、関東学院大学ホームページを参照してください。<https://univ.kanto-gakuin.ac.jp/academics/>

1. 日程

募 集 時 期	8 月 募 集	1 月 募 集
出 願 期 間	7月25日(金)～8月1日(金)必着	1月9日(金)～1月16日(金)必着
試 験 日	9月21日(日)	2月21日(土)
合 格 発 表 日	10月3日(金)	3月9日(月)
入学手続期間	〔入学金納入期間〕 10月3日(金)～10月17日(金) 〔春学期学費及びその他諸納金納入期間〕 10月3日(金)～2026年1月16日(金)	〔入学金・春学期学費及びその他諸納金納入期間〕 3月9日(月)～3月13日(金)

2. 出願資格

出願資格は、選抜区分によって異なります。出願の際は、各研究科のページもあわせて確認してください。

【博士前期課程・修士課程 一般入学試験】

下記のいずれかに該当する者、または2026年3月末までに該当する見込みのある者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 2026年3月31日時点で大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (10) 大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時（4月1日現在）に22歳に達している者

【博士後期課程 一般入学試験】

下記のいずれかに該当する者、または2026年3月末までに該当する見込みのある者

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 修士の学位または専門職学位に相当する外国の学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 大学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時（4月1日現在）24歳に達している者

3. 出願資格審査（対象者のみ）

下記の出願資格により出願を希望する場合には、事前に出願資格審査の申し出を行ってください。審査の結果、出願資格が認定された場合のみ、出願が認められます。

該当の出願資格**【博士前期課程、修士課程】**

- (10) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時（4月1日現在）に22歳に達している者

【博士後期課程】

- (6) 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時（4月1日現在）24歳に達している者

必要書類（所定書式は下記サイトよりダウンロードしてください。）

- ・履歴票（出願に際して原本が必要となるため、コピーを提出してください）（巻末所定書式）
- ・最終学歴の卒業証明書および成績証明書
- ・大学院進学後に取り組みたい研究内容・研究計画、これまでの学びや活動、業績、職務経歴等を示す書面（A4 1～3枚程度 自由書式）
- ・出願資格審査願（所定書式）※法学研究科のみ
- ・入学試験出願資格認定申請書（所定書式）※看護学研究科のみ

大学院入試 個別の出願資格審査について

<https://ao.kanto-gakuin.ac.jp/about/investigation/>

申し出の方法

必要書類を取り揃えて、提出締切日までに下記に簡易書留で郵送してください。

なお、封筒の表面に「出願資格認定関係書類在中」と朱書きしてください。

審査結果は、書面にて通知いたします。（結果の通知まで、時間を要する場合があります）

提出締切日	8月募集	1月募集
	6月23日（月）必着	12月1日（月）必着
送付先	〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1 関東学院大学 アドミッションズセンター 宛	

4. 事前協議（対象者のみ）

出願に先立って事前協議が必要な場合があります。対象者や必要書類は、以下の各研究科「事前協議」の項目を参照してください。

研究科名	締切日		該当ページ
	8月募集	1月募集	
文学研究科	7月2日(水)	12月1日(月)	P. 18
経済学研究科	7月2日(水)	12月1日(月)	P. 40
法学研究科	7月2日(水)	12月1日(月)	P. 59
工学研究科	7月2日(水)	12月1日(月)	P. 82
看護学研究科	7月2日(水)	12月1日(月)	P. 107

5. 出願方法

- (1) 本学の受験生サイトより、出願に必要な書類（志願票、出願封筒）を資料請求してください。
資料請求ページ：https://ao.kanto-gakuin.ac.jp/application_request/
なお、アドミッションズセンターの窓口で、直接受け取りも可能です。
- (2) (1) で入手した本学所定の志願票に必要事項を記入のうえ、切り離さず、原則として金融機関窓口より「電信扱」で入学検定料を納入してください。（ゆうちょ銀行不可、自動振込機〔ATM〕不可）

入学検定料：35,000円

- (3) 納入後、志願票のA票とC票の所定欄に取扱金融機関収納印が押印されていることを確認してください。取扱金融機関収納印がない場合は、入学検定料納入の証明になりません。

注] 以下の①～③に該当する者が受験する場合、入学検定料は免除となりますので、入学検定料を振り込まずに出願してください。

- ① 関東学院大学を卒業（見込み）の者。
- ② 関東学院大学に在籍中で、【博士前期課程・修士課程 一般入学試験】の出願資格（9）に該当する者。
- ③ 関東学院大学大学院を修了（見込み）の者。

- (4) 出願書類は、本学所定の出願封筒を使用して簡易書留速達で郵便局窓口より郵送してください。

送付先 〒236-8501 神奈川県横浜市金沢区六浦東1-50-1

関東学院大学アドミッションズセンター

大学へ直接出願書類を提出する場合は、入学検定料を金融機関で振り込んだ後、出願封筒に入れ、以下に持参してください。

受付場所……………アドミッションズセンター（横浜・金沢八景キャンパス：1号館2階）

受付時間……………月～金 9：00～16：00（11：10～12：10を除く）

土 9：00～12：00 [7月30日（水）～9月20日（土）の土曜日は閉室]

[日、祝日、夏期・冬期休業期間は休業]

夏期休業期間：8月12日（火）～8月15日（金）

冬期休業期間：12月24日（水）～1月4日（日）

■ 出願上の注意

- (1) 志願票に記載されている出願番号は、「UCARO」から受験票を印刷する際、入力が必要となります。
志願票のC票を失くさないようにご自身で保管してください。
- (2) 出願書類の不足や、内容の不備、取扱金融機関収納印のない志願票は受理できません。
- (3) 入学検定料が出願期間内に金融機関に納入されていても、出願書類が出願期間内に到着しなかった場合は受理できませんので注意してください。
- (4) 出願書類及び入学検定料（手数料含む）は、原則として返還しません。

6. 受験ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」の会員登録

大学院入試では、受験票発行から入学手続まで、受験生が利用するシステムを集約した受験ポータルサイト「UCARO」を利用します。「UCARO」とは、会員登録（無料）をすると、受験番号の照会、受験票の発行、合否照会、合格通知・振込用紙の発行、入学手続をWeb上で行うことができるシステムです。「UCARO」の会員登録については以下の手順を参照してください。



「UCARO」会員登録方法

「UCARO」 <https://www.ucaro.net/> にスマートフォンまたはパソコンからアクセスし、新規会員登録のページから以下の手順で会員登録を行ってください。



【備考】

- ・「UCARO」の会員登録は、出願期間前に行うことができます。
- ・「在籍・出身高校」には、出身高校名を入力し、学年は「既卒」か「その他」を選択してください。
- ・すでに「UCARO」に会員登録した方は、同じID・パスワードでログインし、「お気に入り大学」に関東学院大学を設定してください。
- ・過年度に「UCARO」に会員登録した方は、もう一度新規会員登録が必要です。
- ・「UCARO」のメッセージ機能や、携帯電話のショートメッセージサービス（SMS）を用いて本学から連絡する場合があります。

「UCARO」は株式会社ODKソリューションズが提供するサービスです。
個人情報の取り扱いについては「UCARO」にて確認してください。
また、「UCARO」の使用方法などで、不明点がある場合には、
下記にお問い合わせください。

「UCARO」ヘルプデスク
TEL.03-6634-6494 (10:00~18:00)

7. 「UCARO」での出願連携

「UCARO」で受験票（PDF）のダウンロードや合否確認を行うために、「UCARO」に会員登録後、「出願連携」を行う必要があります。出願連携を行うには、志願票（C票）に記載されている「出願番号」が必要ですので、メモをとるなどして必ず控えておいてください。

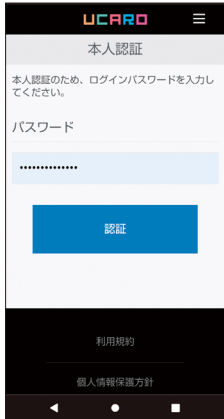
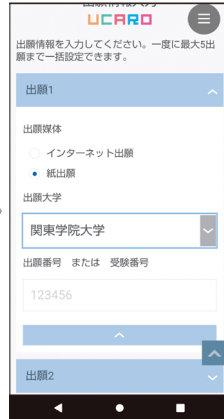
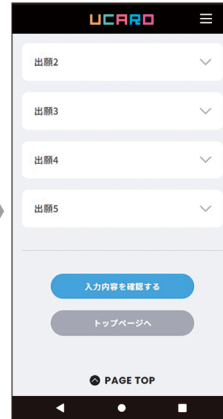
「出願連携」は「UCARO」<https://www.ucaro.net/>にログインして、下記の手順で行ってください。

出願連携は、下記の日時以降に行ってください。

8月募集：9月4日（木） 10：00～

1月募集：2月4日（水） 10：00～

出願連携の手順

				
「UCARO」トップページのメニュー（右上「≡」を押し展開）から「出願連携」を選択します	「UCARO」会員登録時にご自身で登録したパスワードを入力してください	個人情報を入力します。（志願票に記入した内容と同内容を入力してください）	出願媒体は「紙出願」を、出願大学は「関東学院大学」を入力します	「出願番号または受験番号」欄に「出願番号」を入力すると、「出願連携」が完了します

画面・デザイン等は変更になる可能性があります。



出願連携での注意点

志願票に記入した、氏名、生年月日、電話番号を正しく入力してください。

→ 電話番号は、志願票の「電話番号（自宅）」欄に記入した番号を入力してください。

ただし、当該欄を記入していない場合は「電話番号（携帯）」の欄に記入した番号を入力してください。

8. 受験票の印刷

受験票は「UCARO」のマイページ「受験一覧」から各自ダウンロードしてください。

A4サイズの白色の用紙に縦方向に印刷し、試験当日に必ず持参してください。

自宅にプリンターがない場合は、学校やコンビニエンスストア等を利用して印刷してください。

受験票ダウンロード開始日時

8月募集：9月4日(木) 10:00～

1月募集：2月4日(水) 10:00～



本学から受験票は郵送しません

※試験日前日までに必ずダウンロード・印刷してください。

※受験票ダウンロード後、記載内容を必ず確認してください。万一誤り等がありましたら、受験日より前にアドミッションズセンターまで連絡してください。

ただし、本人の志願票の誤記入による出願内容の変更は一切認められません。

※受験票の漢字氏名については原則、JIS「第1・第2水準」に基づき、本学の電算処理上、表記できない文字を新字体に置き換えるか、カタカナ等で表記する場合があります。あらかじめご了承ください。

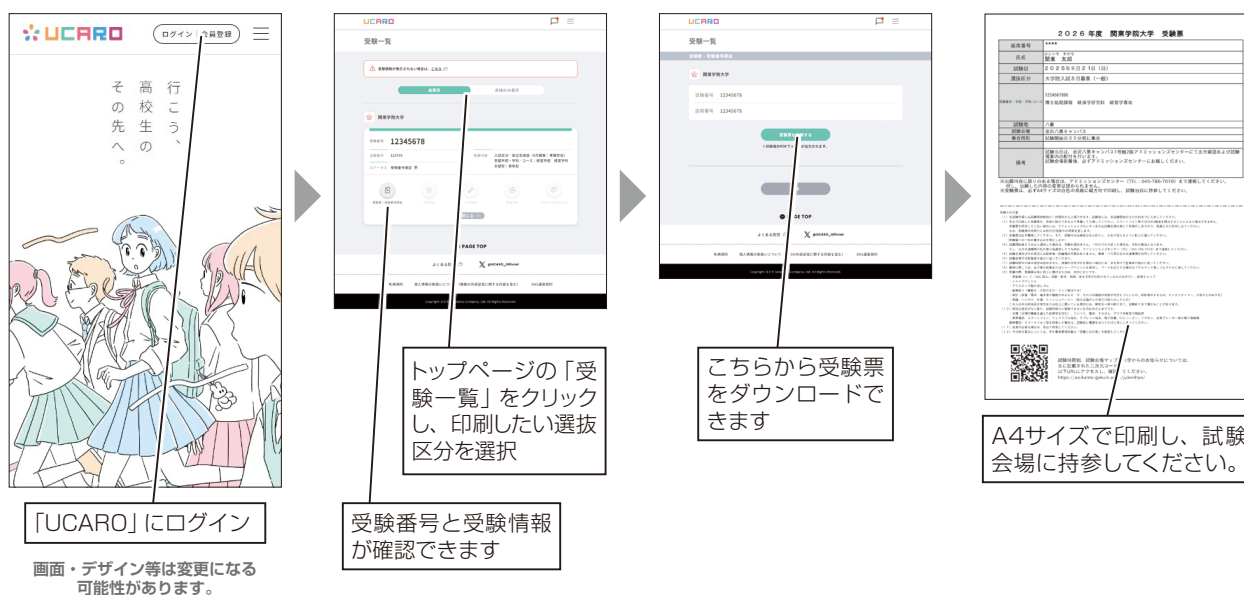
※受験票への一切の書き込みを禁止します。

※受験票は、合格発表時まで大切に保管してください。

「UCARO」での受験票印刷方法

受験番号・受験情報の確認・受験票の印刷は、「UCARO」

<https://www.ucaro.net/> にアクセスして行ってください。



9. 受験上の注意

試験当日は、以下にて出欠確認を行います。その際に「試験場案内」を配布し試験室等ご案内します。

研究科・専攻	試験会場	出欠確認・試験場案内配布場所
文学研究科	横浜・金沢八景キャンパス	1号館2階 アドミッションズセンター
経済学研究科経済学専攻		
経済学研究科経営学専攻		
工学研究科		
法学研究科	横浜・関内キャンパス	1階エントランスホール
看護学研究科	横浜・金沢八景キャンパス	図書館棟1階 学部庶務課

研究科・専攻によっては、修学キャンパスと受験キャンパスが異なる場合があります。

- (1) 各試験会場には試験開始時刻の1時間前から入場できます。試験室には、各試験開始の30分前までに入室してください。
- (2) 各自で印刷した受験票を、係員に提示できるよう準備して入場してください。スマートフォン等で「UCARO」画面を提示することによる試験場への入場はできません。受験票を所持していない場合には、アドミッションズセンターまたは会場本部にて再発行しますので、係員にその旨申し出てください。なお、発行には約15分を要します。
- (3) 受験票は必ず携帯し、試験中は点線部分を折り、氏名が見えるようにして机の上に置いてください。(受験票への一切の書き込みを禁止します)
- (4) 試験開始後20分以上遅刻した場合は、受験を認めません。(1科目でも欠席した場合は、全科目無効となります) 公共交通機関の乱れや遅れのため遅刻しそうな時は、アドミッションズセンター(045-786-7019)まで連絡してください。
- (5) 指定された試験会場以外での受験は、いかなる理由があっても認めません。
- (6) 試験会場及びその周辺には駐車場・駐輪場の用意はありません。電車・バス等の公共交通機関を利用してください。
- (7) 試験会場では監督者の指示に従ってください。
- (8) 試験時間中の途中退室は認めません。やむを得ない場合には、手をあげて監督者の指示に従ってください。
- (9) 受験の際、受験票以外に机の上に置けるものは、次のとおりです。

- 黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル
- プラスチック製の消しゴム
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類は不可)
- 時計(辞書・電卓・端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可)
- 眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋または箱から中身だけ取り出したもの)
- その他、受験科目で認められているもの

これ以外の所持品を使用または置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。

- (10) 特別な指定がない限り、試験時間中に使用できないものは、次のとおりです。

- 定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
- 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、イヤホン、ICレコーダー等の電子機器類

携帯電話・スマートフォン等を持参した場合は、試験前に電源を切ってかばん等にしまってください。

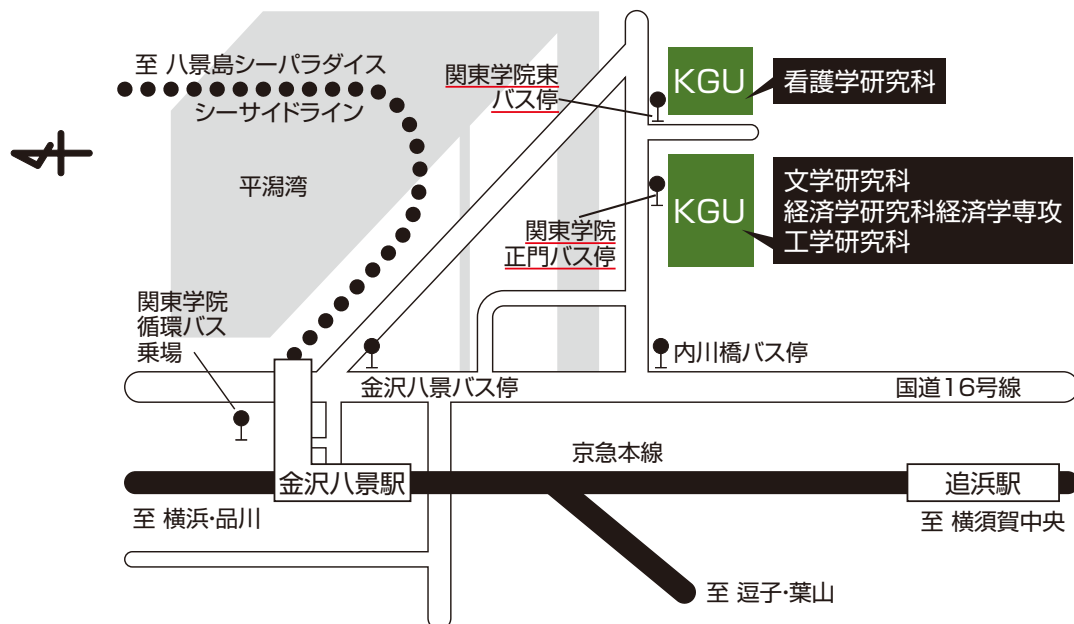
- (11) 昼食が必要な場合は各自で用意してください。
- (12) 上ばきは不要です。

感染症の拡大や、台風・地震などの自然災害により、予定されている選抜試験が変更になる場合があります。受験にあたっては、必ず関東学院大学 受験生サイト <https://ao.kanto-gakuin.ac.jp/> を、事前に確認してください。

10. キャンパス案内図（修学キャンパス）

研究科・専攻によっては、修学キャンパスと受験キャンパスが異なる場合があります。P.10の「9.受験上の注意」に記載の試験場を必ず確認してください。

横浜・金沢八景キャンパス



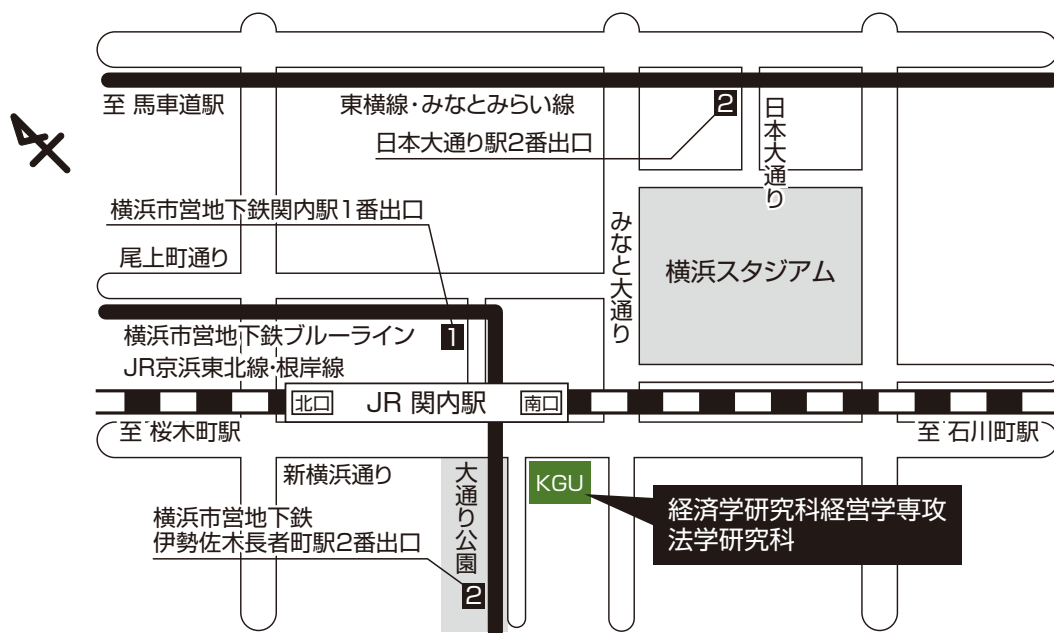
〒236-8501 神奈川県横浜市金沢区六浦東1-50-1

●下車駅 京浜急行線またはシーサイドライン「金沢八景駅」

●「金沢八景駅」からキャンパスまで 「金沢八景駅」から徒歩約15分。

バスを利用する場合は、文学研究科、経済学研究科経済学専攻、工学研究科は「金沢八景駅」バスのりば①より京浜急行バス（ハ8系統関東学院循環）で約5分「関東学院正門」下車。看護学研究科は「関東学院東」下車（休日、祝日、大学休業期間等は運休）。

横浜・関内キャンパス



〒231-0031 神奈川県横浜市中区万代町1-1-1

●JR京浜東北線・根岸線「関内駅」南口から徒歩約2分

●横浜市営地下鉄ブルーライン「関内駅」1番出口から徒歩約5分

●東横線・みなとみらい線「日本大通り駅」2番出口から徒歩約8分

11. 合格発表

受験ポータルサイト「UCARO」で合否を確認することができます。

「UCARO」にログインのうえ、メニューの「受験一覧」から「合否照会」を選択して各自で合否を確認してください。

合格発表日

8月募集：10月3日(金) 10:00～

1月募集：3月9日(月) 10:00～

注] 本学への電話等による合否に関する直接の問い合わせには一切応じません。また、キャンパス内での掲示による発表や通知書類の郵送は行いません。

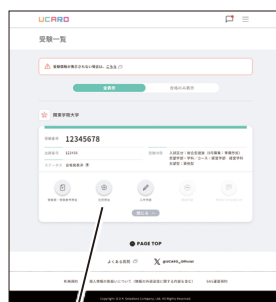
「UCARO」での合否照会手順

合否の確認は、「UCARO」<https://www.ucaro.net/> にアクセスして、照会してください。合格発表日の10:00～から照会できます。



「UCARO」にログイン

画面・デザイン等は変更になる可能性があります。



トップページの「受験一覧」をクリックし、確認したい受験番号の「合否照会」を選択します



合否の結果が確認できます

合格者サイトへ

合格通知書をダウンロードできます

振込用紙をダウンロードできます



「合格通知書」は郵送しません。

「合格通知書」が必要な場合は、「UCARO」から各自で印刷してください。

12. 入学手続

合格発表後、入学手続時も、引き続き受験ポータルサイト「UCARO」を使用します。入学手続の詳細は「入学手続要項」を確認し、下記の手続きを必ず行ってください。**本学より手続書類の郵送は行いません。**

- 納入期間内に、入学金、春学期学費及びその他諸納金を納入してください。
- 入学手続期間内に、「UCARO」で入学手続に必要な情報を登録してください。
- 入学手続書類の郵送
 - ・卒業（修了）見込みの出願資格で受験した者は「卒業（修了）証明書」（既卒で出願した者、本学出身者は不要）
 - ・外国籍の者は「住民票の写し」

納入期間内に入金を確認できない場合、入学資格を失いますので、ご注意ください。

入学手続期間

8 月募集	[入学金納入期間] 10月3日(金)～10月17日(金) [春学期学費及びその他諸納金納入期間] 10月3日(金)～2026年1月16日(金)
1 月募集	[入学金・春学期学費及びその他諸納金納入期間] 3月9日(月)～3月13日(金)

入学手続の手順については、合否照会画面に記載されている URL から「合格者サイト」へ移動し、「入学手続要項」を確認してください。

入学手続要項のダウンロード方法

合否照会画面より、合格者サイトの URL をクリック



注1〕入学手続完了後、入学を辞退する場合は、**2026年3月31日(火)16:00**までに受験ポータルサイト「UCARO」で入学辞退の手続を行ってください。締切日時までに入学辞退の手続きを行った者に限り、入学時納入金のうち入学金を除いた金額を返還します。詳細は、入学手続要項で確認してください。

注2〕卒業または修了見込みの者で、2026年3月までに卒業または修了できなかった場合は、合格取り消しとなり、入学資格を失います。

13. 日本学生支援機構 授業料後払い制度について

2024（令和6）年度から、大学院修士段階（修士課程・博士前期課程）における「授業料後払い制度」が利用できるようになりました。

【制度概要】

- ・在学中は授業料を納付せず、修了後の所得に応じて後払いする制度です。併せて生活費奨学金として月額2万円または4万円の貸与を受けることができます。（生活費奨学金のみの貸与は不可）
- ・授業料は、日本学生支援機構から本学に直接振り込まれ、対象者の授業料に充当されます。
- ・保証料の支払い（機関保証への加入）は必須となります。

授業料の支援額	私立：最大776,000円（年間）
生活費の支援額	月額2万円、4万円から選択（受けないことも可）
貸与終了後の返還方法	所得に応じて返還額を決定（年収が300万円程度になるまでは2,000円） 返還者本人に子がいると、返還月額が減額 保証制度は機関保証のみ（人的保証は選択不可） 「特に優れた業績による返還免除制度」の利用可

【申請要件】

①～④全てを満たす者

- ① 令和6年度以降に国内の大学院修士課程（博士前期課程及び専門職学位課程を含む）に進学した者。
- ② 本人の希望に基づき、在学学校を通じて申請を行った者。
- ③ 日本学生支援機構の修士段階を対象とした第一種奨学金と同様の家計基準及び学業成績基準を満たす者。
- ④ 過去に貸与を受けた奨学金の返還が延滞中である等、第一種奨学金の貸与を受けられない事由がない者。

【注意事項】

- ・本制度は貸与であり、大学院修了後に所得に応じて、日本学生支援機構に返還する必要があります。
- ・支援額の貸与の他に保証料の支払い（機関保証への加入）が必須です。
- ・授業料相当額と保証料相当額を併せた額が貸与額（「授業料支援金」）となります。
- ・本制度を利用した場合、第一種奨学金の貸与を受けることができません。「授業料支援金」とは別に「生活費奨学金」（月額2万円または4万円）の申請をすることができます。
- ・「授業料支援金」および「生活費奨学金」の利用の有無にかかわらず、第二種奨学金の貸与は申請可能です。
- ・授業料以外の入学金や施設費等は本制度の対象ではないため、後払いにはなりません。
- ・本学の授業料が本制度の支援額を上回る場合、差額分の授業料も納入いただくことになります。
- ・関東学院大学博士前期課程等における学費減免を受けた場合、授業料支援額は減免後の額が本制度の対象となります。

【申請方法】

下記サイトに6月頃掲載予定です。申請を考えている方は、下記サイトにて手続き方法や提出書類等ご確認ください。

大学院修士課程 授業料後払い制度

https://ao.kanto-gakuin.ac.jp/about/daigakuin_atobarai/

※本制度の詳細、申請方法、申請時期等については変更となる可能性があります。ご注意ください。

特に優れた業績による奨学金返還免除制度「修士課程の内定制度」について

貸与終了時に決定する業績優秀者の返還免除を内定する制度を利用することができます。制度の詳細は、下記のサイトでご確認ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/tetsuduki/syushinaitei.html>

14. 2026年度入学生初年度学費及びその他諸納金

(単位 円)

費 目	研 究 科	文学研究科		経済学研究科		法学研究科		工学研究科		看護学研究科
		博士前期課程	博士後期課程	博士前期課程	博士後期課程	修士課程・博士前期課程	博士後期課程	博士前期課程	博士後期課程	修士課程
学 費	入 学 金	※(1) 150,000		※(1) 150,000		※(1) 150,000		※(1) 150,000		※(1) 150,000
	授 業 料	500,000	610,000	500,000	610,000	500,000	610,000	580,000	730,000	750,000
	施 設 費	62,000		62,000		62,000		82,000		100,000
	実験実習費	—		—		—		120,000		120,000
諸 納 金	学 会 費	10,000		9,000		9,000		7,000		6,000
	学生教育研究災害傷害保険料	※ 2,430	※ 3,620	※ 2,430	※ 3,620	※ 2,430	※ 3,620	※ 2,430	※ 3,620	※ 2,430
	委託徴収金 同窓会費	※ 60,000		※ 60,000		※ 60,000		※ 60,000		※ 60,000
合 計	入 学 時 納 入 金 額	498,430	554,620	497,930	554,120	497,930	554,120	606,930	683,120	700,430
	1 年 次 10 月 納 入 金 額	286,000	341,000	285,500	340,500	285,500	340,500	394,500	469,500	488,000
	合 計	784,430	895,620	783,430	894,620	783,430	894,620	1,001,430	1,152,620	1,188,430

〔注〕

1. 本学大学院修士課程若しくは博士前期課程または法務研究科を修了した者が、他の研究科を含む博士後期課程に進学した場合は、入学金を必要としない。
2. 本学学部を卒業した者または本学専攻科を修了した者が、大学院修士課程若しくは博士前期課程または博士後期課程に入学した場合は、入学金を3分の1とする。
3. 本学大学院修士課程または博士前期課程を修了した者が、他の研究科(専攻を含む)修士課程または博士前期課程に再び入学した場合は、入学金を2分の1とする。
4. 授業料、施設費、実験実習費及び学会費は、入学手続時と10月とに2分の1ずつ納入するものとする。
5. ※印は、入学時のみ納入とし、翌年度以降は納入不要とする。
6. 本学学部を卒業した者または本学専攻科若しくは本学大学院修士課程若しくは本学大学院博士前期課程を修了した者は、同窓会費の納入は不要とする。
7. 上記学費・諸納金以外に入学時の寄付金・学債は、徴収しない。ただし、入学後任意の寄付金を募集することがある。
8. 在学中の学費は、社会情勢等の変化に応じて、改定する場合がある。

関東学院大学における個人情報保護について

出願に際して関東学院大学にお知らせいただいた住所、氏名その他個人情報は、
本学院の個人情報保護に関する規程に則り、
大学入試事務の範囲内においてのみ利用いたします。

関東学院における個人情報保護の取り組みについて

<https://univ.kanto-gakuin.ac.jp/about-university/privacy-policy.html>

15. 長期履修学生制度について

(1) 制度の概要

長期履修学生制度とは、学生が、**職業を有している等の事情**により標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度です。

たとえば、2年間で修了するためには、1週間につき数回（日）の登校が必要になるところを、3年または4年計画で1週間あたりの登校を減らして、計画的に履修し、仕事との両立を図りながら修了を目指すことができます。

なお、この制度は、**単位の修得状況や学位論文の審査過程による修了が延期となる（いわゆる留年）者を救済するものではありません**。また、療養、出産、海外留学等一定の期間履修することができない場合には、長期履修学生制度ではなく、休学の対象となります。

(2) 対象者

職業を有している者または長期履修が必要となる相当の理由を有する者を対象とします。

(3) 長期履修期間

在学年限（博士前期課程・修士課程4年、博士後期課程6年）の範囲内で、1年単位で長期履修期間を定めることができます。

(4) 授業料・施設費（工学研究科、看護学研究科は実験実習費も含む）

文学研究科 経済学研究科 法学研究科	通常の授業料・施設費の年額×標準修業年限÷長期履修許可年限
工学研究科 看護学研究科	通常の授業料・施設費・実験実習費の年額×標準修業年限÷長期履修許可年限

長期履修期間を終了してもなお修了できずに在学する場合の授業料・施設費・実験実習費の額は、通常の授業料・施設費・実験実習費の額と同額になります。

(5) 申請の時期

入学を希望する者については出願期間内とします。

在学生は、適用を受けようとする前年度の1月末日とします。

したがって在学生のうち最終年次に在学する者は申請することができません。

(6) 申請書類

申請時には、次の書類が必要となります。

- ① 長期履修申請書（本要項巻末の用紙を使用すること）
- ② 長期履修計画書（自由書式。ただし経済学研究科のみ、本要項巻末の長期履修計画書を使用すること）
- ③ 長期履修が必要であることを証明する書類（自由書式。ただし経済学研究科のみ、本要項巻末の在職証明書を使用すること）
- ④ その他、学長が必要と認める書類

※上記②③の様式については、アドミッションズセンター（045-786-7019）にご相談ください。

(7) 採用可否の通知

長期履修としての採用可否の通知は、大学院入試の合格発表とは別に通知します。

(8) 長期履修期間の変更

長期履修期間中に、修業環境の変化等により必要が生じた場合には、1回に限り長期履修期間の変更（短縮または延長）を申請することができます。この場合の授業料・施設費・実験実習費（工学、看護学研究科のみ）は、在学期間と長期履修期間に応じ、修了までに「通常の授業料・施設費・実験実習費（工学、看護学研究科のみ）の年額×標準修業年限」の合計額が納入されるよう再計算します。

1. 募集人数

研究科	課程	専攻	入学定員
文学研究科	博士前期課程	英語英米文学専攻	8
		比較日本文化専攻	8
		社会学専攻	8
	博士後期課程	英語英米文学専攻	3
		比較日本文化専攻	2
		社会学専攻	2

注] 上記入学定員を一般入学試験、学内推薦入学試験、社会人入学試験、社会人推薦入学試験（博士前期課程：社会学専攻のみ）、外国人留学生入学試験、英語検定有資格者特別入学試験（博士前期課程：英語英米文学専攻のみ）で募集します。

2. 出願資格

【博士前期課程】

(1) 一般入学試験

P. 4～5「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験

- ① 本学を卒業見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該学科より推薦され、本研究科が出願を認めた者
 - ② 本学を卒業後、5年以内の者で、研究意欲及び人物ともに優れ、出願に先立って在学時の所属学科より推薦され、本研究科が出願を認めた者
- ※受験希望者は出願前にアドミッションセンターへお問い合わせください。

(3) 社会人入学試験

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し（ただし、見込みの者を除く）、職務経歴書を提出できる者〔ただし、大学卒業後1年以上経過した者もしくは満25歳に達した者で、在職経験のある者または現在在職している者（家事専従者を含む）〕

(4) 社会人推薦入学試験（社会学専攻のみ）

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、地方自治体等の公的機関、学校教育法に基づく教育機関、医療法人または社会福祉法人等に勤務し、所属する当該機関の長により推薦された者

(5) 外国人留学生入学試験

外国籍を有し、入学後在留資格（「留学」）を取得できる者で、以下のいずれかに該当する者

- ① 外国人留学生として大学を卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者
- ② 一般入学試験の出願資格（2）～（10）のいずれかに該当する者

(6) 英語検定有資格者特別入学試験（英語英米文学専攻のみ）

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、以下のいずれかの資格を有していること

- ① TOEFL ITP550点以上（iBT79点以上）
- ② 英検準1級以上
- ③ TOEIC（L&R）800点以上

注] 「出願資格審査」希望者は、P. 5に記載の期日までにアドミッションセンターへ申し出てください。

【博士後期課程】

(1) 一般入学試験

P. 4～5「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験（1月募集のみ）

本学文学研究科博士前期課程を修了後5年以内の者、または修了見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該専攻より推薦され、本研究科が出願を認めた者

※受験希望者は出願前にアドミッションズセンターへお問い合わせください。

(3) 社会人入学試験

・英語英米文学専攻

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、職務経験書を提出できる者で、原則として志望する専攻またはそれに関連ある修士の学位を有する者

・比較日本文化専攻、社会学専攻

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、職務経験書を提出できる者

(4) 外国人留学生入学試験

外国籍を有し、入学後在留資格（「留学」）を取得できる者で、一般入学試験の出願資格のいずれかに該当する者（ただし、日本語を第一言語としていないこと〔※社会学専攻のみ〕）

注〕「出願資格審査」希望者は、P. 5に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

3. 事前協議（対象者のみ）

出願に先立ち、志望する研究分野の指導教授と事前協議を行います。対象者等詳細は以下を確認してください。

事前協議の結果については、後日「事前協議申込書」に記入したメールアドレス宛にご連絡します。

対象者	必要書類		提出方法／申込締切日	事前協議日／実施方法
博士前期課程 志望者 (学内推薦入学 試験は除く)	1	事前協議申込書 ※巻末の用紙(1)	提出方法 巻末の「事前協議申込書」の 欄外に記載の通り、メールま たは郵送にて	実施日は個別に日程等調 整いたします。なお、オ ンラインで実施します。
	2	履歴票の写し ※巻末の用紙(2) ※出願時に原本を提出		
	3	研究計画書 ※巻末の用紙(5)		
博士後期課程 志望者 (本研究科博士 前期課程修了者 (見込み者含む) は除く)	1	事前協議申込書 ※巻末の用紙(1)	申込締切日 8月募集： 7月2日（水）必着 1月募集： 12月1日（月）必着	
	2	履歴票の写し ※巻末の用紙(2) ※出願時に原本を提出		
	3	研究計画書 ※巻末の用紙(5)		
	4	修士学位論文(またはこれ に準ずるもの)の写し1部		

4. 出願書類

各証明書は、原則として出願受付開始日前3ヶ月以内に発行されたものを提出してください。

(国外で発行された証明書については、発行日を問いません)

国外で発行された成績証明書・卒業証明書等は、日本語または英語で記載されたもの（もしくは、公的機関・公的翻訳資格を有する者が行った日本語訳または英語訳が添付されたもの）を提出してください。

【博士前期課程】（※印は本要項巻末の用紙を使用）

出願書類		備考	一般入学試験	学内推薦入学試験	社会人入学試験	社会人推薦入学試験	外国人留学生入学試験	英語検定有資格者特別入学試験
1	志願票	本学受験生サイトより資料請求もしくは、アドミッションズセンターの窓口で受け取り P.114～115「志願票記入例」参照	○	○	○	○	○	○
2	※ 履歴票	巻末の用紙（2）	○	○	○	○	○	○
3	写真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm（カラー） 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○	○	○	○
4	成績証明書	注1、3]	○	—	○	○	○	○
5	卒業証明書もしくは 卒業見込証明書または 学位（称号）授与証明書	注1、2、3] 短期大学または高等専門学校 の専攻科修了見込みの者は、修了見込証明書及び学位授与申請書 専修学校の専門課程修了（見込み）の者は、修了（見込み）証明書及び高度専門士の称号を取得することを証明する書類	○	—	○	○	○	○
6	※ 研究計画書	巻末の用紙（5）	○	○	○	○	○	○
7	※ 職務経歴書	2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 巻末の表紙（4）をつけて提出	—	—	○	—	—	—
8	※ 推薦状	在職する機関等の長の推薦状（6）	—	—	—	○	—	—
9	資格取得証明書	スコアを証明する書類（写し可） 一般入学試験（比較日本文化専攻：「外国語」、社会学専攻：「英語」）の科目免除を希望する者の対象資格はP.22～23参照	○ (の該当者)	—	—	—	—	○
10	内諾書	志望する研究分野の希望指導教授が作成したもの	○	—	○	○	○	○

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類（戸籍抄本等）を添付してください。

注2] 外国の大学の卒業（見込み）者は、学位授与（見込み）証明書を提出してください。

注3] 関東学院大学（大学院・法科大学院含む）を卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者は上記書類4、5は提出する必要はありません。

注4] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

注5] 書類が複数ページあるものは、クリップ留めしてください（ホチキス留め不可）。

【博士後期課程】（※印は必要項巻末の用紙を使用）

出願書類		備考	一般入学試験	学内推薦入学試験	社会人入学試験	外国人留学生入学試験
1	志願票	本学受験生サイトより資料請求もしくは、アドミSSIONズセンターの窓口で受け取り P.114～115「志願票記入例」参照	○	○	○	○
2	※ 履歴票	巻末の用紙（2）	○	○	○	○
3	写真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm（カラー） 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○	○
4	修士課程(博士前期課程) 成績証明書	注1、2]	○	—	○	○
5	修士課程(博士前期課程) 修了証明書または 修了見込証明書	注1、2]	○	—	○	○
6	修士学位論文または それに準ずるもの	写し1部及び要旨3部	○	○	○	○
7	※ 研究計画書	巻末の用紙（5）	○	○	○	○
8	※ 職務経歴書	2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 巻末の表紙（4）をつけて提出	—	—	○	—
9	内諾書	志望する研究分野の希望指導教授が作成したもの 本研究科博士前期課程修了者（見込み含む）は不要	○	—	○	○

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類（戸籍抄本等）を添付してください。

注2] 関東学院大学大学院・法科大学院を修了した者及び修了見込みの者は上記書類4、5は提出する必要はありません。

注3] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

注4] 書類が複数ページあるものは、クリップ留めしてください（ホチキス留め不可）。

5. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、筆記試験、面接、提出された書類を総合して行います。
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者については、(1)に加えて、日本語の能力を判定するために論文試験あるいは面接試験を課することがあります。

対象

課程	専攻	選抜区分
博士前期課程	英語英米文学専攻	一般入学試験、社会人入学試験
	比較日本文化専攻	一般入学試験、社会人入学試験
	社会学専攻	一般入学試験、社会人入学試験、社会人推薦入学試験
博士後期課程	英語英米文学専攻	一般入学試験、社会人入学試験
	社会学専攻	一般入学試験、社会人入学試験

6. 試験科目及び試験時間割

【博士前期課程】

(1) 英語英米文学専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語小論文	100点	9：00～10：00 (60分)	辞書使用不可
専攻科目	150点	10：20～11：50 (90分)	出願時に「英米文学」、「英語学（英語教育学を含む）」よりいずれか1科目を選択（辞書使用不可）
面接	100点	13：00～	研究計画書に基づく口頭試問

② 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13：00～	研究計画書に基づく口頭試問

③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	150点	10：20～11：50 (90分)	与えられた短い英文に関する日本語による小論文（辞書使用不可）
面接	100点	13：00～	研究計画書に基づく口頭試問

④ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語小論文	50点	9：00～10：00 (60分)	辞書使用不可
専攻科目	150点	10：20～11：50 (90分)	出願時に「英米文学」、「英語学（英語教育学を含む）」よりいずれか1科目を選択（辞書使用不可）
面接	100点	13：00～	研究計画書に基づく口頭試問

⑤ 英語検定有資格者特別入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	100点	13：00～	研究計画書に基づく口頭試問

(2) 比較日本文化専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
外国語	100点	9：00～10：00 (60分)	出願時に「英語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語・朝鮮語」の中から第一言語を除く 1 科目を選択 辞書使用可（ただし、電子辞書を除く） 以下の外国語について、所定の能力資格を有する者は、外国語を免除する。 英語 ① TOEFL ITP550点以上 (iBT79点以上) ② TOEIC (L&R) 730点以上 中国語 ① 中国語検定 3 級以上 ② HSK 4 級以上 フランス語 ① 仏検準 1 級以上 ② DELF B2 以上 韓国語・朝鮮語 ① ハングル能力試験準 2 級以上 ② 韓国語能力試験 4 級以上
専攻科目	100点	10：20～11：50 (90分)	出願時に別表①「専門科目・小論文 試験科目（分野）表」から 1 分野を選択
面接	100点	13：00～	研究計画書に基づく口頭試問

② 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13：00～	研究計画書に基づく口頭試問

③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	10：20～11：50 (90分)	出願時に別表①「専門科目・小論文 試験科目（分野）表」から 1 分野を選択
面接	100点	13：00～	研究計画書に基づく口頭試問

④ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	10：20～11：50 (90分)	日本語による小論文 出願時に別表①「専門科目・小論文 試験科目（分野）表」から 1 分野を選択
面接	100点	13：00～	研究計画書に基づく口頭試問

(別表①) 専攻科目・小論文 試験科目（分野）表

分野	
欧米文化	比較史学
日本文化	比較文化
アジア文化	日本語教育学

(3) 社会学専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	9：00～10：00 (60分)	英語辞書使用可（ただし、電子辞書を除く） 以下のいずれかに該当する者は、英語を免除する。 ① TOEFL ITP550点以上（iBT79点以上） ② TOEIC（L&R）730点以上
専攻科目	100点	10：20～11：50 (90分)	出願時に「社会学」、「社会福祉学」よりいずれか1科目を選択
面接	100点	13：00～	研究計画書に基づく口頭試験

② 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13：00～	研究計画書に基づく口頭試験

③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	200点	10：20～11：50 (90分)	出願時に「社会学」、「社会福祉学」よりいずれか1科目を選択
面接	100点	13：00～	研究計画書に基づく口頭試験

④ 社会人推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	100点	13：00～	研究計画書に基づく口頭試験

⑤ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	200点	10：20～11：50 (90分)	専門分野に関する日本語による小論文
面接	100点	13：00～	研究計画書に基づく口頭試験

【博士後期課程】

(1) 英語英米文学専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専攻科目	200点	10：20～12：20 (120分)	出願時に「英米文学」、「英語学（英語教育学を含む）」よりいずれか1科目を選択（辞書使用不可）
面接	100点	13：30～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

② 学内推薦入学試験（1月募集のみ）

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13：30～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	150点	10：20～11：50 (90分)	与えられた短い英文に関する日本語による小論文（辞書使用不可）
面接	100点	13：30～	研究計画書に基づく口頭試問

④ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語小論文	50点	9：00～10：00 (60分)	辞書使用不可
専攻科目	150点	10：20～11：50 (90分)	出願時に「英米文学」、「英語学（英語教育学を含む）」よりいずれか1科目を選択（辞書使用不可）
面接	100点	13：30～	研究計画書に基づく口頭試問

(2) 比較日本文化専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
外国語	100点	9：00～10：00 (60分)	出願時に「英語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語・朝鮮語」の中から第一言語を除く1科目を選択 辞書使用可（ただし、電子辞書を除く）
専攻科目	150点	10：20～11：50 (90分)	出願時に別表②「専攻分野表」（次頁）から1分野を選択
面接	100点	13：00～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

② 学内推薦入学試験（1月募集のみ）

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13：00～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	10：20～11：50 (90分)	出願時に別表②「専攻分野表」から1分野を選択
面接	100点	13：00～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

④ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	10：20～11：50 (90分)	日本語による小論文 出願時に別表②「専攻分野表」から1分野を選択
面接	100点	13：00～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

(別表②) 専攻分野表

分野
欧米文化 日本文化 アジア文化 比較史学 比較文化 日本語教育学

(3) 社会学専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	9：00～10：00 (60分)	辞書使用可（ただし、電子辞書を除く）
専攻科目	150点	10：20～11：50 (90分)	研究課題に関する問題
面接	100点	13：00～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

② 学内推薦入学試験（1月募集のみ）

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13：00～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	9：00～10：00 (60分)	辞書使用可（ただし、電子辞書を除く）
小論文	100点	10：20～11：50 (90分)	研究課題に関する問題
面接	100点	13：00～	研究計画書に基づく口頭試問

④ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	200点	10：20～11：50 (90分)	専門分野に関する日本語による小論文
面接	100点	13：00～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

7. 試験場（P.11参照）

関東学院大学 金沢八景キャンパス

〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1

◎ 文学研究科授業科目表

【博士前期課程】

英語英米文学専攻

分類		科目名	単位数	配当年次	担当者
選択必修科目	A群研究科目	英文学研究Ⅰ－１（英国小説）	2	1・2	（2025年度休講）
		英文学研究Ⅰ－２（英国小説）	2	1・2	（2025年度休講）
		英文学研究Ⅱ－１（中世英文学）	2	1・2	（2025年度休講）
		英文学研究Ⅱ－２（中世英文学）	2	1・2	（2025年度休講）
		英文学研究Ⅲ－１（イギリス詩）	2	1・2	（2025年度休講）
		英文学研究Ⅲ－２（イギリス詩）	2	1・2	（2025年度休講）
		米文学研究Ⅰ－１（アメリカ詩）	2	1・2	教授 アラン ボツフォード
		米文学研究Ⅰ－２（アメリカ詩）	2	1・2	教授 アラン ボツフォード
		米文学研究Ⅱ－１（アメリカ小説）	2	1・2	（2025年度休講）
		米文学研究Ⅱ－２（アメリカ小説）	2	1・2	（2025年度休講）
		英語学研究Ⅰ－１（言語心理）	2	1・2	教授 吉田 広毅
		英語学研究Ⅰ－２（言語心理）	2	1・2	教授 吉田 広毅
		英語学研究Ⅱ－１（言語教育）	2	1・2	（2025年度休講）
		英語学研究Ⅱ－２（言語教育）	2	1・2	（2025年度休講）
		英語学研究Ⅱ－１（語用論・認知言語学）	2	1・2	教授 草山 学
		英語学研究Ⅱ－２（語用論・認知言語学）	2	1・2	教授 草山 学
		英語学研究Ⅲ－１（音声学）	2	1・2	教授 平坂 文男
		英語学研究Ⅲ－２（音声学）	2	1・2	教授 平坂 文男
		英語学研究Ⅳ－１（意味論・統語論）	2	1・2	（2025年度休講）
		英語学研究Ⅳ－２（意味論・統語論）	2	1・2	（2025年度休講）
	B群演習科目	英文学演習Ⅰ－１（英国小説）	2	1・2	教授 松村 聡子
		英文学演習Ⅰ－２（英国小説）	2	1・2	教授 松村 聡子
		英文学演習Ⅱ－１（中世英文学）	2	1・2	（2025年度休講）
		英文学演習Ⅱ－２（中世英文学）	2	1・2	（2025年度休講）
		英文学演習Ⅲ－１（イギリス詩）	2	1・2	（2025年度休講）
		英文学演習Ⅲ－２（イギリス詩）	2	1・2	（2025年度休講）
		米文学演習Ⅰ－１（アメリカ詩）	2	1・2	（2025年度休講）
		米文学演習Ⅰ－２（アメリカ詩）	2	1・2	（2025年度休講）
		米文学演習Ⅱ－１（アメリカ小説）	2	1・2	教授 入江 識元
		米文学演習Ⅱ－２（アメリカ小説）	2	1・2	教授 入江 識元
		英語学演習Ⅰ－１（言語心理）	2	1・2	教授 吉田 広毅
		英語学演習Ⅰ－２（言語心理）	2	1・2	教授 吉田 広毅
		英語学演習Ⅱ－１（言語教育）	2	1・2	（2025年度休講）
		英語学演習Ⅱ－２（言語教育）	2	1・2	（2025年度休講）
		英語学演習Ⅱ－１（語用論・認知言語学）	2	1・2	（2025年度休講）
		英語学演習Ⅱ－２（語用論・認知言語学）	2	1・2	（2025年度休講）
		英語学演習Ⅲ－１（意味論・統語論）	2	1・2	（2025年度休講）
		英語学演習Ⅲ－２（意味論・統語論）	2	1・2	（2025年度休講）

分類		科目名	単位数	配当年次	担当者		
選択必修科目	C群特論科目	英国戯曲特論Ⅰ	2	1・2	教授	福圓	容子
		英国戯曲特論Ⅱ	2	1・2	教授	福圓	容子
		英米批評文学特論Ⅰ	2	1・2	准教授	児玉	晃二
		英米批評文学特論Ⅱ	2	1・2	(2025年度休講)		
		英語圏文化特論Ⅰ	2	1・2	准教授	村岡	美奈
		英語圏文化特論Ⅱ	2	1・2	准教授	四條	真也
		アメリカ詩特論Ⅰ	2	1・2	(2025年度休講)		
		アメリカ詩特論Ⅱ	2	1・2	(2025年度休講)		
		現代アメリカ文学特論	2	1・2	(2025年度休講)		
		イギリス小説特論Ⅰ	2	1・2	教授	松村	聡子
		イギリス小説特論Ⅱ	2	1・2	教授	萩原	美津
		アメリカ小説特論	2	1・2	教授	入江	識元
		言語文化論	2	1・2	教授	ヒース	デビッド ジョン
		社会言語学	2	1・2	准教授	角田	麻里
		英語教育特論Ⅰ	2	1・2	教授	宇野	光範
		英語教育特論Ⅱ	2	1・2	教授	宇野	光範
		第二言語習得論	2	1・2	准教授	ジェイソン パイプ	
		英語文法教育特論	2	1・2	(2025年度休講)		
		英語意味論特論	2	1・2	教授	草山	学
		English Communication	2	1・2	准教授	ジェイソン パイプ	
		Thesis Writing	2	2	教授	ジョセフ T.マキーム	

【修了要件】

- ア 入学の際、3専攻分野「英文学、米文学、英語学（英語教育学を含む）」より1専攻を選択すること。
- イ 各専攻分野とも、A群研究科目、B群演習科目、C群特論科目の各群より、それぞれ4科目8単位を選択必修とし、合計16科目32単位以上を修得すること。なお、A群及びB群の科目については、原則として同名の1、2を春学期及び秋学期で連続して履修すること。
- ウ 大学院に2年以上在学して所定の単位を修得し、研究上必要な指導を受けて、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

文学研究科 英語英米文学専攻 博士前期課程 指導教授一覧

教授 アラン ボツフォード	教授 草山 学	教授 入江 識元
教授 吉田 広毅	教授 平坂 文男	教授 松村 聡子

【博士前期課程】

比較日本文化専攻

分類		科目名	専攻分野	単位	配当年次	担当者	
選択必修科目	A群研究科目	比較日本文化研究Ⅰ－１（思想）	欧米文化 日本文化 比較史学	2	1・2	准教授	八幡 恵一
		比較日本文化研究Ⅰ－２（思想）	欧米文化 日本文化 比較史学	2	1・2	准教授	八幡 恵一
		比較日本文化研究Ⅱ－１（文学）	欧米文化 日本文化 比較文学	2	1・2	（2025年度休講）	
		比較日本文化研究Ⅱ－２（文学）	欧米文化 日本文化 比較文学	2	1・2	（2025年度休講）	
		比較日本文化研究Ⅲ－１（欧米史）	欧米文化 比較史学	2	1・2	准教授	小滝 陽
		比較日本文化研究Ⅲ－２（欧米史）	欧米文化 比較史学	2	1・2	准教授	小滝 陽
		比較日本文化研究Ⅳ－１（宗教）	欧米文化 比較史学 比較文学	2	1・2	（2025年度休講）	
		比較日本文化研究Ⅳ－２（宗教）	欧米文化 比較史学 比較文学	2	1・2	（2025年度休講）	
		比較日本文化研究Ⅴ－１（民族誌学）	日本文化 比較文学	2	1・2	准教授	相原 健志
		比較日本文化研究Ⅴ－２（民族誌学）	日本文化 比較文学	2	1・2	准教授	相原 健志
		比較日本文化研究Ⅵ－１（表象文化）	欧米文化 日本文化	2	1・2	教授	碓井 みちこ
		比較日本文化研究Ⅵ－２（表象文化）	欧米文化 日本文化	2	1・2	教授	碓井 みちこ
		日本文化研究Ⅰ－１（中世）	日本文化 アジア文化 比較史学	2	1・2	（2025年度休講）	
		日本文化研究Ⅰ－２（中世）	日本文化 アジア文化 比較史学	2	1・2	（2025年度休講）	
		日本文化研究Ⅱ－１（近世）	日本文化 アジア文化 比較文学	2	1・2	教授	井上 和人
		日本文化研究Ⅱ－２（近世）	日本文化 アジア文化 比較文学	2	1・2	教授	井上 和人
		日本語教育学研究Ⅰ－１	日本語教育学	2	1・2	教授	楊 廷延
		日本語教育学研究Ⅰ－２	日本語教育学	2	1・2	教授	楊 廷延
		日本語教育学研究Ⅱ－１	日本語教育学	2	1・2	教授	伊藤 健人
		日本語教育学研究Ⅱ－２	日本語教育学	2	1・2	教授	伊藤 健人
		日本周辺文化研究Ⅰ－１（近代中国）	アジア文化 日本語教育学	2	1・2	（2025年度休講）	
		日本周辺文化研究Ⅰ－２（近代中国）	アジア文化 日本語教育学	2	1・2	（2025年度休講）	
		日本周辺文化研究Ⅱ－１（朝鮮半島）	アジア文化 日本語教育学	2	1・2	准教授	呉 世蓮
		日本周辺文化研究Ⅱ－２（朝鮮半島）	アジア文化 日本語教育学	2	1・2	准教授	呉 世蓮
		日本周辺文化研究Ⅲ－１（東南アジア）	アジア文化 日本語教育学	2	1・2	准教授	柏崎 梢
		日本周辺文化研究Ⅲ－２（東南アジア）	アジア文化 日本語教育学	2	1・2	准教授	柏崎 梢
		日本周辺文化研究Ⅳ－１（古代中国）	アジア文化 比較史学	2	1・2	（2025年度休講）	
		日本周辺文化研究Ⅳ－２（古代中国）	アジア文化 比較史学	2	1・2	（2025年度休講）	

分類		科目名	専攻分野	単位	配当年次	担当者
選択必修科目	B群演習科目	比較日本文化演習Ⅰ－１（思想）	欧米文化 日本文化 比較史学	2	1・2	(2025年度休講)
		比較日本文化演習Ⅰ－２（思想）	日本語教育学	2	1・2	(2025年度休講)
		比較日本文化演習Ⅱ－１（文学）	欧米文化 日本文化 比較文学	2	1・2	教授 富岡 幸一郎
		比較日本文化演習Ⅱ－２（文学）	欧米文化 日本文化 比較文学	2	1・2	教授 富岡 幸一郎
		比較日本文化演習Ⅲ－１（欧米史）	欧米文化 比較史学	2	1・2	(2025年度休講)
		比較日本文化演習Ⅲ－２（欧米史）	欧米文化 比較史学	2	1・2	(2025年度休講)
		比較日本文化演習Ⅳ－１（宗教）	欧米文化 比較史学 比較文学	2	1・2	教授 高井 啓介
		比較日本文化演習Ⅳ－２（宗教）	欧米文化 比較史学 比較文学	2	1・2	教授 高井 啓介
		比較日本文化演習Ⅴ－１（民族誌学）	日本文化 比較文学	2	1・2	(2025年度休講)
		比較日本文化演習Ⅴ－２（民族誌学）	日本文化 比較文学	2	1・2	(2025年度休講)
		比較日本文化演習Ⅵ－１（表象文化）	欧米文化 日本文化	2	1・2	(2025年度休講)
		比較日本文化演習Ⅵ－２（表象文化）	欧米文化 日本文化	2	1・2	(2025年度休講)
		日本文化演習Ⅰ－１（中世）	日本文化 アジア文化 比較史学	2	1・2	教授 西尾 知己
		日本文化演習Ⅰ－２（中世）	日本文化 アジア文化 比較史学	2	1・2	教授 西尾 知己
		日本文化演習Ⅱ－１（近世）	日本文化 アジア文化 比較文学	2	1・2	(2025年度休講)
		日本文化演習Ⅱ－２（近世）	日本文化 アジア文化 比較文学	2	1・2	(2025年度休講)
		日本語教育学演習Ⅰ－１	日本語教育学	2	1・2	教授 伊藤 健人
		日本語教育学演習Ⅰ－２	日本語教育学	2	1・2	教授 伊藤 健人
		日本語教育学演習Ⅱ－１	日本語教育学	2	1・2	准教授 楊 廷延
		日本語教育学演習Ⅱ－２	日本語教育学	2	1・2	准教授 楊 廷延
		日本周辺文化演習Ⅰ－１（近代中国）	アジア文化 日本語教育学	2	1・2	教授 鄧 捷
		日本周辺文化演習Ⅰ－２（近代中国）	アジア文化 日本語教育学	2	1・2	教授 鄧 捷
		日本周辺文化演習Ⅱ－１（朝鮮半島）	アジア文化 日本語教育学	2	1・2	(2025年度休講)
		日本周辺文化演習Ⅱ－２（朝鮮半島）	アジア文化 日本語教育学	2	1・2	(2025年度休講)
		日本周辺文化演習Ⅲ－１（東南アジア）	アジア文化 日本語教育学	2	1・2	(2025年度休講)
		日本周辺文化演習Ⅲ－２（東南アジア）	アジア文化 日本語教育学	2	1・2	(2025年度休講)
		日本周辺文化演習Ⅳ－１（古代中国）	アジア文化 比較史学	2	1・2	(2025年度休講)
		日本周辺文化演習Ⅳ－２（古代中国）	アジア文化 比較史学	2	1・2	(2025年度休講)

分類	科目名	専攻分野	単位	配当年次	担当者
選択必修科目	比較言語特講Ⅰ	日本語教育学	2	1・2	教授 草山 学
	比較言語特講Ⅱ	日本語教育学	2	1・2	教授 草山 学
	比較フランス文化特講Ⅰ	欧米文化 比較文学	2	1・2	准教授 八幡 恵一
	比較フランス文化特講Ⅱ	欧米文化 比較文学	2	1・2	准教授 八幡 恵一
	文化人類学特講Ⅰ	欧米文化 日本文化 比較文学	2	1・2	准教授 相原 健志
	文化人類学特講Ⅱ	欧米文化 日本文化 比較文学	2	1・2	准教授 相原 健志
	日本近代文化特講Ⅰ	日本文化 比較史学	2	1・2	講師 高江洲 昌哉
	日本近代文化特講Ⅱ	日本文化 比較史学	2	1・2	講師 高江洲 昌哉
	日本語学特講Ⅰ（対照言語学）	日本語教育学	2	1・2	教授 伊藤 健人
	日本語学特講Ⅱ（社会言語学）	日本語教育学	2	1・2	教授 伊藤 健人
	日本古代文化特講Ⅰ	日本文化 比較史学 比較文学	2	1・2	講師 草野 勝
	日本古代文化特講Ⅱ	日本文化 比較史学 比較文学	2	1・2	講師 草野 勝
	日本語学特講Ⅰ		2	1・2	(2023年度廃止)
	日本語学特講Ⅱ		2	1・2	(2023年度廃止)
	応用言語学特講Ⅰ	日本語教育学	2	1・2	准教授 楊 廷延
	応用言語学特講Ⅱ	日本語教育学	2	1・2	准教授 楊 廷延
	アジア社会文化論特講	-	2	1・2	(2025年度休講)
	アジア政治文化論特講Ⅰ	-	2	1・2	(2025年度休講)
	アジア政治文化論特講Ⅱ	-	2	1・2	(2025年度休講)
	国際交流論特講Ⅰ	比較文学 アジア文化	2	1・2	准教授 柏崎 梢
	国際交流論特講Ⅱ	比較文学 アジア文化	2	1・2	准教授 柏崎 梢
	国際社会システム論特講Ⅰ		2	1・2	(2023年度廃止)
	国際社会システム論特講Ⅱ		2	1・2	(2023年度廃止)
	国語学論特講Ⅰ	日本語教育学	2	1・2	講師 伊東 光浩
	国語学論特講Ⅱ	日本語教育学	2	1・2	講師 伊東 光浩
	比較アメリカ文化特講Ⅰ	欧米文化 比較史学	2	1・2	准教授 小滝 陽
	比較アメリカ文化特講Ⅱ	欧米文化 比較史学	2	1・2	准教授 小滝 陽
	中国古代文化特講Ⅰ	アジア文化 比較史学	2	1・2	教授 菅野 恵美
	中国古代文化特講Ⅱ	アジア文化 比較史学	2	1・2	教授 菅野 恵美

【修了要件】

- ア 入学の際、6専攻分野「欧米文化、日本文化、アジア文化、比較史学、比較文学、日本語教育学」より1専攻を選択すること。
- イ 各専攻分野とも、A群研究科目、B群演習科目、C群特論科目の各群より、それぞれ4科目8単位を選択必修とし、合計16科目32単位以上を修得すること。なお、A群及びB群の科目については、原則として同名の1、2を春学期及び秋学期で連続して履修すること。
- ウ 大学院に2年以上在学して所定の単位を修得し、研究上必要な指導を受けて、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

文学研究科 比較日本文化専攻 博士前期課程 指導教授一覧

教授 井上 和人	教授 高井 啓介	准教授 八幡 恵一
教授 伊藤 健人	教授 西尾 知己	准教授 楊 廷延
教授 富岡 幸一郎	教授 鄧 捷	

【博士前期課程】

社会学専攻

分類		科目名	単位	配当年次	担当者
選択必修科目	A群研究科目	社会学研究Ⅰ－１（社会学史）	2	1・2	（2025年度休講）
		社会学研究Ⅰ－２（社会学史）	2	1・2	（2025年度休講）
		社会学研究Ⅱ－１（教育社会学）	2	1・2	准教授 藤根 雅之
		社会学研究Ⅱ－２（教育社会学）	2	1・2	准教授 藤根 雅之
		社会学研究Ⅲ－１（国際社会学）	2	1・2	准教授 藤浪 海
		社会学研究Ⅲ－２（国際社会学）	2	1・2	准教授 藤浪 海
		社会学研究Ⅳ－１（メディア）	2	1・2	教授 新井 克弥
		社会学研究Ⅳ－２（メディア）	2	1・2	教授 新井 克弥
		社会学研究Ⅴ－１（環境社会学）	2	1・2	（2025年度休講）
		社会学研究Ⅴ－２（環境社会学）	2	1・2	（2025年度休講）
		社会学研究Ⅵ－１（都市と地域）	2	1・2	（2025年度休講）
		社会学研究Ⅵ－２（都市と地域）	2	1・2	（2025年度休講）
		社会学研究Ⅶ－１（家族社会学）	2	1・2	教授 井田 瑞江
		社会学研究Ⅶ－２（家族社会学）	2	1・2	教授 井田 瑞江
		社会学研究Ⅷ－１（都市社会学）	2	1・2	（2025年度休講）
		社会学研究Ⅷ－２（都市社会学）	2	1・2	（2025年度休講）
		社会学研究Ⅸ－１（歴史社会学）	2	1・2	（2025年度休講）
		社会学研究Ⅸ－２（歴史社会学）	2	1・2	（2025年度休講）
		社会福祉学研究Ⅰ－１（高齢者福祉）	2	1・2	（2025年度休講）
		社会福祉学研究Ⅰ－２（高齢者福祉）	2	1・2	（2025年度休講）
		社会福祉学研究Ⅱ－１（障害学）	2	1・2	（2025年度休講）
		社会福祉学研究Ⅱ－２（障害学）	2	1・2	（2025年度休講）
		社会福祉学研究Ⅲ－１（地域福祉）	2	1・2	（2025年度休講）
		社会福祉学研究Ⅲ－２（地域福祉）	2	1・2	（2025年度休講）
		社会福祉学研究Ⅳ－１（児童家庭福祉）	2	1・2	教授 澁谷 昌史
		社会福祉学研究Ⅳ－２（児童家庭福祉）	2	1・2	教授 澁谷 昌史
		社会福祉学研究Ⅴ－１（公的扶助）	2	1・2	教授 西村 貴直
		社会福祉学研究Ⅴ－２（公的扶助）	2	1・2	教授 西村 貴直
		社会福祉学研究Ⅵ－１（ソーシャルワーク）	2	1・2	（2025年度休講）
		社会福祉学研究Ⅵ－２（ソーシャルワーク）	2	1・2	（2025年度休講）
		産業・組織心理学研究 1	2	1・2	教授 細田 聡
		産業・組織心理学研究 2	2	1・2	教授 細田 聡

分類		科目名	単位	配当年次	担当者	
選択必修科目	B群演習科目	社会学演習Ⅰ－１（社会学史）	2	1・2	（2025年度休講）	
		社会学演習Ⅰ－２（社会学史）	2	1・2	（2025年度休講）	
		社会学演習Ⅱ－１（産業労働）	2	1・2	（2025年度休講）	
		社会学演習Ⅱ－２（産業労働）	2	1・2	（2025年度休講）	
		社会学演習Ⅲ－１（地域社会計画）	2	1・2	（2025年度休講）	
		社会学演習Ⅲ－２（地域社会計画）	2	1・2	（2025年度休講）	
		社会学演習Ⅳ－１（メディア）	2	1・2	（2025年度休講）	
		社会学演習Ⅳ－２（メディア）	2	1・2	（2025年度休講）	
		社会学演習Ⅴ－１（都市と地域）	2	1・2	（2025年度休講）	
		社会学演習Ⅴ－２（都市と地域）	2	1・2	（2025年度休講）	
		社会学演習Ⅵ－１（環境社会学）	2	1・2	教授 湯浅 陽一	
		社会学演習Ⅵ－２（環境社会学）	2	1・2	教授 湯浅 陽一	
		社会福祉学演習Ⅰ－１（高齢者福祉）	2	1・2	（2025年度休講）	
		社会福祉学演習Ⅰ－２（高齢者福祉）	2	1・2	（2025年度休講）	
		社会福祉学演習Ⅱ－１（障害学）	2	1・2	教授 麦倉 泰子	
		社会福祉学演習Ⅱ－２（障害学）	2	1・2	教授 麦倉 泰子	
		社会福祉学演習Ⅲ－１（地域福祉）	2	1・2	教授 小沼 春日	
		社会福祉学演習Ⅲ－２（地域福祉）	2	1・2	教授 小沼 春日	
		社会福祉学演習Ⅳ－１（児童家庭福祉）	2	1・2	（2025年度休講）	
		社会福祉学演習Ⅳ－２（児童家庭福祉）	2	1・2	（2025年度休講）	
		C群特論科目	社会学特講Ⅰ－１（外書講読）	2	1・2	准教授 三原 武司
			社会学特講Ⅰ－２（外書講読）	2	1・2	准教授 三原 武司
	社会学特講Ⅱ－１（原典講読）		2	1・2	（2025年度休講）	
	社会学特講Ⅱ－２（原典講読）		2	1・2	（2025年度休講）	
	社会学特講Ⅲ－１（教育社会学）		2	1・2	（2025年度休講）	
	社会学特講Ⅲ－２（教育社会学）		2	1・2	（2025年度休講）	
	社会学特講Ⅳ－１（家族社会学）		2	1・2	（2025年度休講）	
	社会学特講Ⅳ－２（家族社会学）		2	1・2	（2025年度休講）	
	社会学特講Ⅴ－１（市民社会論）		2	1・2	准教授 上野 淳子	
	社会学特講Ⅴ－２（市民社会論）		2	1・2	准教授 上野 淳子	
	社会学特講Ⅵ－１（歴史社会学）		2	1・2	准教授 矢崎 千華	
	社会学特講Ⅵ－２（歴史社会学）		2	1・2	准教授 矢崎 千華	
	社会福祉学特講Ⅰ－１（ソーシャルワーク）		2	1・2	教授 石川 時子	
	社会福祉学特講Ⅰ－２（ソーシャルワーク）		2	1・2	（2025年度休講）	
	社会福祉学特講Ⅱ－１（外書講読）		2	1・2	准教授 鄭 熙聖	
	社会福祉学特講Ⅱ－２（外書講読）		2	1・2	准教授 鄭 熙聖	
	社会福祉学特講Ⅲ（児童家庭福祉）		2	1・2	（2025年度休講）	
	社会福祉学特講Ⅳ（NPO論）		2	1・2	（2025年度休講）	
	社会福祉学特講Ⅵ－１（貧困問題）		2	1・2	（2025年度休講）	
	社会福祉学特講Ⅵ－２（貧困問題）		2	1・2	（2025年度休講）	
	社会人類学特講		2	1・2	講師 岩淵 聡文	
	図書館情報学特講		2	1・2	教授 中村 克明	
	公共図書館論		2	1・2	教授 中村 克明	
	学校図書館論		2	1・2	教授 千 錫烈	
	図書館情報メディア論		2	1・2	教授 千 錫烈	
	教育学特講		2	1・2	教授 久保田 英助	
	教育実践学特講		2	1・2	教授 久保田 英助	
	産業・組織心理学特講 1	2	1・2	（2025年度休講）		
	産業・組織心理学特講 2	2	1・2	（2025年度休講）		

【修了要件】

- ア 入学の際、2専攻分野「社会学、社会福祉学」より1専攻を選択すること。
- イ 各専攻分野とも、A群研究科目、B群演習科目、C群特論科目の各群より、それぞれ4科目8単位を選択必修とし、合計16科目32単位以上を修得すること。なお、A群及びB群の科目については、原則として同名の1、2を春学期及び秋学期で連続して履修すること。
- ウ 大学院に2年以上在学して所定の単位を修得し、研究上必要な指導を受けて、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

文学研究科 社会学専攻 博士前期課程 指導教授一覧

教授 新井 克弥	教授 小沼 春日
教授 澁谷 昌史	教授 千 錫烈
教授 湯浅 陽一	教授 小山 弘美
教授 麦倉 泰子	

【博士後期課程】

英語英米文学専攻

科目名		単位	配当年次	担当者	
A 群 研 究 科 目	英米文学特殊研究Ⅰ－１（英国小説）	2	1-3	教 授	松村 聡子
	英米文学特殊研究Ⅰ－２（英国小説）	2	1-3	教 授	松村 聡子
	英米文学特殊研究Ⅱ－１（イギリス詩）	2	1-3	(2025年度休講)	
	英米文学特殊研究Ⅱ－２（イギリス詩）	2	1-3	(2025年度休講)	
	英米文学特殊研究Ⅲ－１（中世英文学）	2	1-3	(2025年度休講)	
	英米文学特殊研究Ⅲ－２（中世英文学）	2	1-3	(2025年度休講)	
	英米文学特殊研究Ⅳ－１（アメリカ小説）	2	1-3	教 授	入江 識元
	英米文学特殊研究Ⅳ－２（アメリカ小説）	2	1-3	教 授	入江 識元
	英米文学特殊研究Ⅴ－１（19世紀アメリカ詩）	2	1-3	(2025年度休講)	
	英米文学特殊研究Ⅴ－２（19世紀アメリカ詩）	2	1-3	(2025年度休講)	
	英語学特殊研究Ⅰ－１（英語学・英語史）	2	1-3	(2025年度休講)	
	英語学特殊研究Ⅰ－２（英語学・英語史）	2	1-3	(2025年度休講)	
	英語学特殊研究Ⅱ－１（音声学）	2	1-3	教 授	平坂 文男
	英語学特殊研究Ⅱ－２（音声学）	2	1-3	教 授	平坂 文男
	英語学特殊研究Ⅲ－１（英語学・英語教育）	2	1-3	教 授	吉田 広毅
	英語学特殊研究Ⅲ－２（英語学・英語教育）	2	1-3	教 授	吉田 広毅
	英語学特殊研究Ⅳ－１（語用論・認知言語学）	2	1-3	(2025年度休講)	
	英語学特殊研究Ⅳ－２（語用論・認知言語学）	2	1-3	(2025年度休講)	
B 群 講 義 科 目	英米文学特殊講義Ⅰ－１（英国小説）	2	1-3	(2025年度休講)	
	英米文学特殊講義Ⅰ－２（英国小説）	2	1-3	(2025年度休講)	
	英米文学特殊講義Ⅱ－１（20世紀アメリカ詩）	2	1-3	(2025年度休講)	
	英米文学特殊講義Ⅱ－２（20世紀アメリカ詩）	2	1-3	(2025年度休講)	
	英米文学特殊講義Ⅲ－１（19世紀アメリカ詩）	2	1-3	教 授	アラン ボツフォード
	英米文学特殊講義Ⅲ－２（19世紀アメリカ詩）	2	1-3	教 授	アラン ボツフォード
	英米文学特殊講義Ⅳ－１（アメリカ小説）	2	1-3	(2025年度休講)	
	英米文学特殊講義Ⅳ－２（アメリカ小説）	2	1-3	(2025年度休講)	
	英語学特殊講義Ⅰ－１（意味論・統語論）	2	1-3	(2025年度休講)	
	英語学特殊講義Ⅰ－２（意味論・統語論）	2	1-3	(2025年度休講)	
	英語学特殊講義Ⅱ－１（英語学・英語教育）	2	1-3	教 授	吉田 広毅
	英語学特殊講義Ⅱ－２（英語学・英語教育）	2	1-3	教 授	吉田 広毅
	英語学特殊講義Ⅲ－１（語用論・認知言語学）	2	1-3	教 授	草山 学
	英語学特殊講義Ⅲ－２（語用論・認知言語学）	2	1-3	教 授	草山 学
	Dissertaion Writing	2	1-3	教 授	ジョセフ T.マキーム

【修了要件】

- ① 授業科目の中から各年次最低２科目４単位（３年間で計12単位）以上を履修すること。
なお、履修科目は原則として同名の１、２を春学期及び秋学期で連続して履修するものとする。
- ② 授業科目の履修のほか、学位論文作成のため、指導教授を定め各自の研究主題に応じて指導を受けること。
- ③ 博士の学位を得ようとする者は、３年以上在学し、各専攻分野ともA群研究科目から６科目12単位以上、B群講義科目から２科目４単位以上を修得し、かつ研究上必要な指導を受けた上、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格しなければならない。
なお、３年次末に博士論文を提出しないで単位修得満期退学をしようとする者は、博士予備論文を提出しなければならない。

文学研究科 英語英米文学専攻 博士後期課程 指導教授一覧

教授 アラン ボツフォード	教授 草山 学	教授 入江 識元
教授 吉田 広毅	教授 平坂 文男	教授 松村 聡子

【博士後期課程】

比較日本文化専攻

科目名		単位	配当年次	担当者	
A 群 研 究 科 目	比較日本文化特殊研究Ⅰ－１（比較文化）	2	1-3	教授	富岡 幸一郎
	比較日本文化特殊研究Ⅰ－２（比較文化）	2	1-3	教授	富岡 幸一郎
	比較日本文化特殊研究Ⅱ－１（文化史）	2	1-3	教授	西尾 知己
	比較日本文化特殊研究Ⅱ－２（文化史）	2	1-3	教授	西尾 知己
	比較日本文化特殊研究Ⅲ－１（文学）	2	1-3	教授	井上 和人
	比較日本文化特殊研究Ⅲ－２（文学）	2	1-3	教授	井上 和人
	比較日本文化特殊研究Ⅳ－１（東アジア）	2	1-3	(2025年度休講)	
	比較日本文化特殊研究Ⅳ－２（東アジア）	2	1-3	(2025年度休講)	
	比較日本文化特殊研究Ⅴ－１（キリスト教史）	2	1-3	(2025年度休講)	
	比較日本文化特殊研究Ⅴ－２（キリスト教史）	2	1-3	(2025年度休講)	
	比較日本文化特殊研究Ⅵ－１（欧米文化）	2	1-3	(2025年度休講)	
	比較日本文化特殊研究Ⅵ－２（欧米文化）	2	1-3	(2025年度休講)	
	比較日本文化特殊研究Ⅶ－１（思想）	2	1-3	准教授	八幡 恵一
	比較日本文化特殊研究Ⅶ－２（思想）	2	1-3	准教授	八幡 恵一
	比較日本文化特殊研究Ⅷ－１（日本語教育学）	2	1-3	准教授	楊 廷延
	比較日本文化特殊研究Ⅷ－２（日本語教育学）	2	1-3	准教授	楊 廷延
B 群 講 義 科 目	比較日本文化特殊講義Ⅰ－１（東アジア）	2	1-3	(2025年度休講)	
	比較日本文化特殊講義Ⅰ－２（東アジア）	2	1-3	(2025年度休講)	
	比較日本文化特殊講義Ⅱ（アジア社会文化論）	2	1-3	(2025年度休講)	
	比較日本文化特殊講義Ⅲ－１（日本近世文化）	2	1-3	(2025年度休講)	
	比較日本文化特殊講義Ⅲ－２（日本近世文化）	2	1-3	(2025年度休講)	
	比較日本文化特殊講義Ⅳ－１（日中比較文学）	2	1-3	教授	鄧 捷
	比較日本文化特殊講義Ⅳ－２（日中比較文学）	2	1-3	教授	鄧 捷
	比較日本文化特殊講義Ⅴ－１（日本語学）	2	1-3	教授	伊藤 健人
	比較日本文化特殊講義Ⅴ－２（日本語学）	2	1-3	教授	伊藤 健人
	比較日本文化特殊講義Ⅵ－１（キリスト教史）	2	1-3	教授	高井 啓介
	比較日本文化特殊講義Ⅵ－２（キリスト教史）	2	1-3	教授	高井 啓介
	比較日本文化特殊講義Ⅶ－１（文化史）	2	1-3	(2025年度休講)	
	比較日本文化特殊講義Ⅶ－２（文化史）	2	1-3	(2025年度休講)	

【修了要件】

- ① 授業科目の中から各年次最低２科目４単位（３年間で計12単位）以上を履修すること。
なお、履修科目は原則として同名の１、２を春学期及び秋学期で連続して履修するものとする。
- ② 授業科目の履修のほか、学位論文作成のため、指導教授を定め各自の研究主題に応じて指導を受けること。
- ③ 博士の学位を得ようとする者は、３年以上在学し、各専攻分野ともA群研究科目から６科目12単位以上、B群講義科目から２科目４単位以上を修得し、かつ研究上必要な指導を受けた上、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格しなければならない。
なお、３年次末に博士論文を提出しないで単位修得満期退学をしようとする者は、博士予備論文を提出しなければならない。

文学研究科 比較日本文化専攻 博士後期課程 指導教授一覧

教授 井上 和人 教授 伊藤 健人	教授 富岡 幸一郎 教授 高井 啓介	教授 西尾 知己 教授 鄧 捷
----------------------	-----------------------	--------------------

【博士後期課程】

社会学専攻

科目名		単位	配当年次	担当者
A 群 研 究 科 目	社会学特殊研究Ⅰ－１（社会学史）	2	1-3	(2025年度休講)
	社会学特殊研究Ⅰ－２（社会学史）	2	1-3	(2025年度休講)
	社会学特殊研究Ⅱ－１（地域社会計画）	2	1-3	(2025年度休講)
	社会学特殊研究Ⅱ－２（地域社会計画）	2	1-3	(2025年度休講)
	社会学特殊研究Ⅲ－１（社会心理）	2	1-3	教授 新井 克弥
	社会学特殊研究Ⅲ－２（社会心理）	2	1-3	教授 新井 克弥
	社会学特殊研究Ⅳ－１（環境社会学）	2	1-3	教授 湯浅 陽一
	社会学特殊研究Ⅳ－２（環境社会学）	2	1-3	教授 湯浅 陽一
	社会学特殊研究Ⅴ－１	2	1-3	(2025年度休講)
	社会学特殊研究Ⅴ－２	2	1-3	(2025年度休講)
	社会福祉学特殊研究Ⅰ－１（高齢者福祉）	2	1-3	(2025年度休講)
	社会福祉学特殊研究Ⅰ－２（高齢者福祉）	2	1-3	(2025年度休講)
	社会福祉学特殊研究Ⅱ－１（障害学）	2	1-3	教授 麦倉 泰子
	社会福祉学特殊研究Ⅱ－２（障害学）	2	1-3	教授 麦倉 泰子
	社会福祉学特殊研究Ⅲ－１（地域福祉）	2	1-3	(2025年度休講)
	社会福祉学特殊研究Ⅲ－２（地域福祉）	2	1-3	(2025年度休講)
B 群 講 義 科 目	社会学特殊講義Ⅰ－１（都市と地域）	2	1-3	(2025年度休講)
	社会学特殊講義Ⅰ－２（都市と地域）	2	1-3	(2025年度休講)
	図書館情報学特殊講義 1	2	1-3	教授 中村 克明
	図書館情報学特殊講義 2	2	1-3	教授 中村 克明
	図書館情報メディア特殊講義 1	2	1-3	教授 千 錫烈
	図書館情報メディア特殊講義 2	2	1-3	教授 千 錫烈
	教育学特殊講義 1	2	1-3	(2025年度休講)
	教育学特殊講義 2	2	1-3	(2025年度休講)
	社会福祉学特殊講義Ⅰ（高齢者福祉）	2	1-3	(2025年度休講)
	社会福祉学特殊講義Ⅱ－１（児童家庭福祉）	2	1-3	教授 澁谷 昌史
	社会福祉学特殊講義Ⅱ－２（児童家庭福祉）	2	1-3	教授 澁谷 昌史
	社会福祉学特殊講義Ⅲ－１（地域福祉）	2	1-3	教授 小沼 春日
	社会福祉学特殊講義Ⅲ－２（地域福祉）	2	1-3	教授 小沼 春日

【修了要件】

- ① 授業科目の中から各年次最低２科目４単位（３年間で計12単位）以上を履修すること。
なお、履修科目は原則として同名の１、２を春学期及び秋学期で連続して履修するものとする。
- ② 授業科目の履修のほか、学位論文作成のため、指導教授を定め各自の研究主題に応じて指導を受けること。
- ③ 博士の学位を得ようとする者は、３年以上在学し、各専攻分野ともA群研究科目から６科目12単位以上、B群講義科目から２科目４単位以上を修得し、かつ研究上必要な指導を受けた上、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格しなければならない。
なお、３年次末に博士論文を提出しないで単位修得満期退学をしようとする者は、博士予備論文を提出しなければならない。

文学研究科 社会学専攻 博士後期課程 指導教授一覧

教授 新井 克弥
教授 湯浅 陽一
教授 麦倉 泰子

3 経済学研究科(昼夜開講制)

1. 募集人数

研究科	課程	専攻	入学定員
経済学研究科	博士前期課程	経済学専攻	10
		経営学専攻	10
	博士後期課程	経済学専攻	5
		経営学専攻	5

注] 上記入学定員を一般入学試験、学内推薦入学試験、社会人入学試験、外国人留学生入学試験（博士前期課程のみ）で募集します。

2. 出願資格

【博士前期課程】

(1) 一般入学試験

P. 4～5「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験

本学を卒業見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該学科より推薦され、本研究科が出願を認めた者

(3) 社会人入学試験

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、以下のいずれかの要件を満たす者

- ① 会社、官庁、教育機関、研究機関等に在職していること
- ② 当該専攻と関連する職種に従事しているか、または従事したことがあること
- ③ 本研究科において、大学卒業後3年以上経過し、かつ②に準ずると認めた者
- ④ 医療機関等において正看護師として5年以上の実務経験及び実践的な知見を有し、かつ当該年度4月1日現在、満年齢が28歳に達する者

(4) 外国人留学生入学試験

外国籍を有し、入学後在留資格（「留学」）を取得できる者で、以下のいずれかに該当する者

- ① 外国人留学生として大学を卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者
- ② 一般入学試験の出願資格（2）～（10）のいずれかに該当する者

注] 「出願資格審査」希望者は、P. 5に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

【博士後期課程】

(1) 一般入学試験

P. 4～5「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験（1月募集のみ）

本学経済学研究科博士前期課程を修了見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該専攻より推薦され、本研究科が出願を認めた者

(3) 社会人入学試験

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、以下のいずれかの要件を満たす者

- ① 会社、官庁、教育機関、研究機関等に在職していること
- ② 当該専攻と関連する職種に従事しているか、または従事したことがあること

注] 「出願資格審査」希望者は、P. 5に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

3. 事前協議（対象者のみ）

出願に先立ち、志望する研究分野の指導教授と事前協議を行います。対象者等詳細は以下を確認してください。

事前協議の結果については、後日「事前協議申込書」に記入したメールアドレス宛にご連絡します。

対象者	必要書類	提出方法／申込締切日	事前協議日／実施方法
博士前期課程 の以下に出願 する者 ・社会人入学 試験 ・外国人留学生 入学試験	1 事前協議申込書 ※巻末の用紙(1)	提出方法 巻末の「事前協議申込書」の 欄外に記載の通り、メールま たは郵送にて 申込締切日 8月募集： 7月2日（水）必着 1月募集： 12月1日（月）必着	実施日は個別に日程等調 整いたします。なお、オ ンラインで実施します。
	2 履歴票の写し ※巻末の用紙(2) ※出願時に原本を提出		
	3 研究計画書 ※表紙は巻末の用紙(3) を使用すること		
博士後期課程 志望者 (本研究科博士 前期課程修了者 (見込み者含む) は除く)	1 事前協議申込書 ※巻末の用紙(1)		
	2 履歴票の写し ※巻末の用紙(2) ※出願時に原本を提出		
	3 研究計画書 ※表紙は巻末の用紙(3) を使用すること		
	4 修士学位論文の写し1部 (または修士学位論文がな い者はそれに代わる20,000 字程度の論文(本人署名の 学会投稿印刷論文でも可) 1部)		

4. 出願書類

各証明書は、原則として出願受付開始日前3ヶ月以内に発行されたものを提出してください。

(国外で発行された証明書については、発行日を問いません)

国外で発行された成績証明書・卒業証明書等は、日本語または英語で記載されたもの（もしくは、公的機関・公的翻訳資格を有する者が行った日本語訳または英語訳が添付されたもの）を提出してください。

【博士前期課程】（※印は本要項巻末の用紙を使用）

出願書類		備考	一般入学試験	学内推薦入学試験	社会人入学試験	外国人留学生入学試験
1	志願票	本学受験生サイトより資料請求もしくは、アドミSSIONSセンターの窓口で受け取り P.114～115「志願票記入例」参照	○	○	○	○
2	※ 履歴票	巻末の用紙（2）	○	○	○	○
3	写真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm（カラー） 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○	○
4	成績証明書	注1、3]	○	—	○	○
5	卒業証明書もしくは 卒業見込証明書または 学位（称号）授与証明書	注1、2、3] 短期大学または高等専門学校の専攻科修了見込みの者は、修了見込証明書及び学位授与申請書 専修学校の専門課程修了（見込み）の者は、修了（見込み）証明書及び高度専門士の称号を取得することを証明する書類	○	—	○	○
6	※ 研究計画書	2,000字程度、修了後の研究計画を含む 巻末の表紙（3）をつけて提出	○	○	○	○
7	※ 職務経歴書	2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 巻末の表紙（4）をつけて提出	—	—	○	—
8	資格取得証明書	スコアを証明する書類（写し可） 一般入学試験のうち「英語」の試験が免除となる者のみ提出	○ （の該当者）	—	—	—
9	内諾書	志望する研究分野の希望指導教授が作成したもの	—	—	○	○

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類（戸籍抄本等）を添付してください。

注2] 外国の大学の卒業（見込み）者は、学位授与（見込み）証明書を提出してください。

注3] 関東学院大学（大学院・法科大学院含む）を卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者は上記書類4、5は提出する必要はありません。

注4] 一般入学試験の志願者のうち、TOEFL ITP550点以上（TOEFL iBT79点以上）またはTOEIC（L&R）730点以上で英語の試験が免除となる者は、出願時に資格取得証明書（写し可）を提出してください。

注5] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

注6] 書類が複数ページあるものは、クリップ留めしてください（ホチキス留め不可）。

【博士後期課程】（※印は本要項巻末の用紙を使用）

出願書類		備考	一般入学試験	学内推薦入学試験	社会人入学試験
1	志願票	本学受験生サイトより資料請求もしくは、アドミッションセンターの窓口で受け取り P.114～115「志願票記入例」参照	○	○	○
2	※ 履歴票	巻末の用紙（2）	○	○	○
3	写真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○
4	修士課程(博士前期課程) 成績証明書	注1、2〕	○	—	○
5	修士課程(博士前期課程) 修了証明書または 修了見込証明書	注1、2〕	○	—	○
6	修士学位論文または それに代わる20,000字 程度の論文	写し1部及び要旨3部 本人署名の学会投稿印刷論文でも可	○	○	○
7	※ 研究計画書	2,000字程度、修了後の研究計画を含む 巻末の表紙（3）をつけて提出	○	○	○
8	※ 職務経歴書	2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 巻末の表紙（4）をつけて提出	—	—	○
9	内諾書	志望する研究分野の希望指導教授が作成したもの 本研究科博士前期課程修了者（見込み含む）は不要	○	—	○

注1〕婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類（戸籍抄本等）を添付してください。

注2〕関東学院大学大学院・法科大学院を修了した者及び修了見込みの者は上記書類4、5は提出する必要はありません。

注3〕出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

注4〕書類が複数ページあるものは、クリップ留めしてください（ホチキス留め不可）。

5. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、面接、成績証明書及び博士後期課程の場合は修士学位論文等を総合して行います。

6. 試験科目及び試験時間割

【博士前期課程】

(1) 経済学専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専門科目	100点	10：00～11：00 (60分)	「経済理論・経済学史」、「近代経済学」、「応用経済」、「経済史・世界経済」、「税法」、「前近代史」、「メディア文化論」の7分野から出願時に希望指導教授の属する1分野を選択。
英語	100点	11：20～12：20 (60分)	辞書使用可（ただし、電子辞書を除く） ※ TOEFL ITP550点以上(TOEFL iBT79点以上) または TOEIC (L&R) 730点以上の者は英語の試験を免除する。
面接	100点	13：00～	研究計画書等に基づく口頭試問

② 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13：00～	研究計画書等に基づく口頭試問

③ 社会人入学試験※

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	100点	13：00～ ※他研究科との併願者は10：00～	研究計画書等に基づく口頭試問 ※併願者は試験場が異なる

④ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専門科目	100点	10：00～11：00 (60分)	「経済理論・経済学史」、「近代経済学」、「応用経済」、「経済史・世界経済」、「税法」、「前近代史」、「メディア文化論」の7分野から出願時に希望指導教授の属する1分野を選択。
外国語	100点	11：20～12：20 (60分)	「英語」、「日本語」から1カ国語を出願時に選択（母国語以外から選択） 辞書使用可（ただし、電子辞書を除く）
面接	100点	13：00～	研究計画書等に基づく口頭試問

(2) 経営学専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専門科目	100点	10：00～11：00 (60分)	「経営学」、「経営情報」、「流通・マーケティング」、「会計学」の4分野から専攻する分野を出願時に選択。ただし、共通分野所属の教員を希望指導教授とする場合は、出願に先立ちアドミッションズセンターに問い合わせること。
英語	100点	11：20～12：20 (60分)	辞書使用可（ただし、電子辞書を除く） ※ TOEFL ITP550点以上(TOEFL iBT79点以上)または TOEIC (L&R) 730点以上の者は英語の試験を免除する。
面接	100点	13：00～	研究計画書等に基づく口頭試問

② 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13：00～	研究計画書等に基づく口頭試問

③ 社会人入学試験※

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	100点	13：00～ ※他研究科との併願者は10：00～	研究計画書等に基づく口頭試問 ※併願者は試験場が異なる

④ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専門科目	100点	10：00～11：00 (60分)	「経営学」、「経営情報」、「流通・マーケティング」、「会計学」の4分野から専攻する分野を出願時に選択。ただし、共通分野所属の教員を希望指導教授とする場合は、出願に先立ちアドミッションズセンターに問い合わせること。
外国語	100点	11：20～12：20 (60分)	「英語」、「日本語」から1カ国語を出願時に選択（母国語以外から選択） 辞書使用可（ただし、電子辞書を除く）
面接	100点	13：00～	研究計画書等に基づく口頭試問

【博士後期課程】

(1) 経済学専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
論文 (2科目)	各100点 計200点	9:30～11:00 (90分)	「経済理論・経済学史」、「近代経済学」、「応用経済」、「経済史・世界経済」、「税法」、「前近代史」、「メディア文化論」の7分野から希望指導教授の属する1分野を含む2分野を出願時に選択。
英語	100点	11:20～12:20 (60分)	辞書使用可（ただし、電子辞書を除く）
面接	100点	13:00～	研究計画書等に基づく口頭試問

② 学内推薦入学試験（1月募集のみ）

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13:00～	研究計画書等に基づく口頭試問

③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	11:20～12:20 (60分)	辞書使用可（ただし、電子辞書を除く） ※本学のいずれかの学部を卒業した者で、本学または他大学大学院博士前期課程を修了し修士の学位を有する者及び2026年3月までに取得見込みの者は、英語の試験を免除する。
面接	100点	13:00～	研究計画書等に基づく口頭試問

(2) 経営学専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
論文 (2科目)	各100点 計200点	9:30～11:00 (90分)	「経営学」、「経営情報」、「流通・マーケティング」、「会計学」の4分野から希望指導教授の属する1分野を含む2分野を出願時に選択。ただし、共通分野所属の教員を希望指導教授とする場合は、出願に先立ちアドミSSIONズセンターに問い合わせること。
英語	100点	11:20～12:20 (60分)	辞書使用可（ただし、電子辞書を除く）
面接	100点	13:00～	研究計画書等に基づく口頭試問

② 学内推薦入学試験（1月募集のみ）

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13:00～	研究計画書等に基づく口頭試問

③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	11:20～12:20 (60分)	辞書使用可（ただし、電子辞書を除く） ※本学のいずれかの学部を卒業した者で、本学または他大学大学院博士前期課程を修了し修士の学位を有する者及び2026年3月までに取得見込みの者は、英語の試験を免除する。
面接	100点	13:00～	研究計画書等に基づく口頭試問

7. 試験場（P.11参照）

[経済学専攻・経営学専攻]

関東学院大学 金沢八景キャンパス

〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1

※社会人入学試験（博士前期課程）において他研究科と併願する場合

関東学院大学 関内キャンパス

〒231-0031 横浜市中区万代町1-1-1

◎ 経済学研究科授業科目表

【経済学専攻 博士前期課程】

A 群（講義科目）

分野	講義種別	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
経済理論・経済学史	特殊講義	経済理論特殊講義	2	1-2	(2025年度休講)	
		経済学史特殊講義	2	1-2	教授 石井 穰	○
	特論	再生産・蓄積論	2	1-2	(2025年度休講)	
		古典派資本蓄積論	2	1-2	教授 石井 穰	○
近代経済学	特殊講義	マクロ経済学特殊講義	2	1-2	教授 吟谷 泰裕	○
		ミクロ経済学特殊講義	2	1-2	准教授 上代 雄介	○
		理論経済学特殊講義	2	1-2	准教授 野口 雄一	○
		現代経済特殊講義	2	1-2	教授 中泉 拓也	○
		統計学特殊講義	2	1-2	(2025年度休講)	
		情報経済論特殊講義	2	1-2	教授 野中 康生	○
		計量経済学特殊講義	2	1-2	准教授 中村 亮介	
		環境経済学特殊講義	2	1-2	准教授 宮本 拓郎	
	特論	ゲームの理論研究	2	1-2	准教授 野口 雄一	○
		契約の経済理論	2	1-2	教授 中泉 拓也	○
		経済動学の理論	2	1-2	教授 野中 康生	○
		動学の一般均衡理論	2	1-2	(2025年度休講)	
		協力ゲームの理論	2	1-2	(2025年度休講)	
		空間統計学	2	1-2	准教授 平野 敏弘	
		教育経済学特論	2	1-2	(2025年度休講)	
		環境政策の経済学	2	1-2	准教授 宮本 拓郎	
応用経済	特殊講義	経済政策論特殊講義	2	1-2	准教授 福田 紫	
		財政理論特殊講義	2	1-2	教授 島澤 諭	○
		地方財政特殊講義	2	1-2	准教授 豊田 奈穂	
		金融論特殊講義	2	1-2	(2025年度休講)	
		国際金融論特殊講義	2	1-2	教授 黒川 洋行	○
		労働経済論特殊講義	2	1-2	教授 吉田 千鶴	○
		公共政策特殊講義	2	1-2	教授 松本 武洋	○
	特論	医療経済学	2	1-2	非常勤講師 金城 悠貴	
		証券投資論	2	1-2	(2025年度休講)	
		家族と人口の経済学	2	1-2	(2025年度休講)	
		政治経済学	2	1-2	(2025年度休講)	
		都市マネジメント論	2	1-2	(2025年度休講)	
		社会政策特論	2	1-2	教授 松本 武洋	○
		現代日本経済論	2	1-2	准教授 福田 紫	
経済史・世界経済	特殊講義	経済史特殊講義	2	1-2	教授 柏倉 知秀	○
		日本経済史特殊講義	2	1-2	教授 名武 なつ紀	○
		アメリカ経済論特殊講義	2	1-2	(2025年度休講)	
		国際経済学特殊講義	2	1-2	教授 山本 勝造	○
		開発経済学特殊講義	2	1-2	(2025年度休講)	
	特論	グローバリゼーションの経済学	2	1-2	(2025年度休講)	
		日本都市経済史	2	1-2	(2025年度休講)	
		西洋都市経済史	2	1-2	(2025年度休講)	
		国際政治経済の数理分析	2	1-2	(2025年度休講)	
		開発途上国特論	2	1-2	(2025年度休講)	

分野	講義種別	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
共通	特殊講義	現代政治論特殊講義	2	1-2	(2025年度休講)	
		前近代史特殊講義	2	1-2	教授 河内 春人	○
		ジェンダー論特殊講義	2	1-2	教授 細谷 実	
		メディア文化論特殊講義	2	1-2	教授 伊藤 明己	○
		環境学特殊講義	2	1-2	准教授 田林 雄	
		地域・在宅健康支援学特講Ⅰ	1	1-2	准教授 若林 和枝	
		地域・在宅健康支援学特講Ⅱ	2	1-2	准教授 若林 和枝	
		地域・在宅健康支援学特講Ⅲ	2	1-2	准教授 若林 和枝	
		老年支援学特講Ⅰ	1	1-2	教授 青木 由美恵	
		成育支援学特講Ⅰ	1	1-2	准教授 飯尾 美沙	
		成育支援学特講Ⅱ	2	1-2	准教授 飯尾 美沙	
		成育支援学特講Ⅲ	2	1-2	准教授 飯尾 美沙	
		女性支援学特講Ⅰ	1	1-2	教授 ケニヨン 充子	
		女性支援学特講Ⅱ	2	1-2	教授 ケニヨン 充子	
		女性支援学特講Ⅲ	2	1-2	教授 ケニヨン 充子	
		療養生活支援学特講Ⅰ	1	1-2	教授 木下 里美	
		療養生活支援学特講Ⅱ	2	1-2	教授 木下 里美	
		療養生活支援学特講Ⅲ	2	1-2	教授 木下 里美	
		看護実践支援学特講Ⅰ	1	1-2	教授 島田 多佳子	
		税法基礎講義	2	1-2	教授 山田 有人	
		税法特殊講義	2	1-2	教授 山田 有人	
		国際租税法基礎講義	2	1-2	教授 山田 有人	
		国際租税法特殊講義	2	1-2	教授 山田 有人	
	特論	租税法	2	1-2	非常勤講師 菅沼 哲矢	
		所得税法	2	1-2	非常勤講師 菅沼 哲矢	
		法人税法	2	1-2	非常勤講師 石渡 晃子	
		国際政治の諸問題	2	1-2	(2025年度休講)	
		前近代の交易と東アジア	2	1-2	(2025年度休講)	
		ジェンダーと経済	2	1-2	(2025年度休講)	
		メディアと社会思想	2	1-2	(2025年度休講)	
		地球環境学特論	2	1-2	(2025年度休講)	

B群（演習科目）

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
経済理論・経済学史	演習Ⅰ（経済理論）	4	1	(2025年度休講)	
	演習Ⅱ（経済理論）	4	2	(2025年度休講)	
	演習Ⅰ（経済学史）	4	1	教授 石井 穰	○
	演習Ⅱ（経済学史）	4	2	教授 石井 穰	○
近代経済学	演習Ⅰ（マクロ経済学）	4	1	教授 吟谷 泰裕	○
	演習Ⅱ（マクロ経済学）	4	2	教授 吟谷 泰裕	○
	演習Ⅰ（ミクロ経済学）	4	1	准教授 上代 雄介	○
	演習Ⅱ（ミクロ経済学）	4	2	准教授 上代 雄介	○
	演習Ⅰ（現代経済）	4	1	教授 中泉 拓也	○
	演習Ⅱ（現代経済）	4	2	教授 中泉 拓也	○
	演習Ⅰ（理論経済学）	4	1	准教授 野口 雄一	○
	演習Ⅱ（理論経済学）	4	2	准教授 野口 雄一	○
	演習Ⅰ（環境経済学）	4	1	(2025年度休講)	
	演習Ⅱ（環境経済学）	4	2	(2025年度休講)	
	演習Ⅰ（情報経済論）	4	1	教授 野中 康生	○
	演習Ⅱ（情報経済論）	4	2	教授 野中 康生	○

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
応用経済	演習Ⅰ（経済政策論）	4	1	(2025年度休講)	
	演習Ⅱ（経済政策論）	4	2	(2025年度休講)	
	演習Ⅰ（財政理論）	4	1	教授 島澤 諭	○
	演習Ⅱ（財政理論）	4	2	教授 島澤 諭	○
	演習Ⅰ（地方財政）	4	1	(2025年度休講)	
	演習Ⅱ（地方財政）	4	2	(2025年度休講)	
	演習Ⅰ（金融論）	4	1	(2025年度休講)	
	演習Ⅱ（金融論）	4	2	(2025年度休講)	
	演習Ⅰ（国際金融論）	4	1	教授 黒川 洋行	○
	演習Ⅱ（国際金融論）	4	2	教授 黒川 洋行	○
	演習Ⅰ（労働経済論）	4	1	教授 吉田 千鶴	○
	演習Ⅱ（労働経済論）	4	2	教授 吉田 千鶴	○
	演習Ⅰ（公共政策）	4	1	教授 松本 武洋	○
	演習Ⅱ（公共政策）	4	2	教授 松本 武洋	○
経済史・世界経済	演習Ⅰ（日本経済史）	4	1	教授 名武 なつ紀	○
	演習Ⅱ（日本経済史）	4	2	教授 名武 なつ紀	○
	演習Ⅰ（西洋経済史）	4	1	教授 柏倉 知秀	○
	演習Ⅱ（西洋経済史）	4	2	教授 柏倉 知秀	○
	演習Ⅰ（アメリカ経済論）	4	1	(2025年度休講)	
	演習Ⅱ（アメリカ経済論）	4	2	(2025年度休講)	
	演習Ⅰ（国際経済学）	4	1	教授 山本 勝造	○
	演習Ⅱ（国際経済学）	4	2	教授 山本 勝造	○
共通	演習Ⅰ（現代政治論）	4	1	(2025年度休講)	
	演習Ⅱ（現代政治論）	4	2	(2025年度休講)	
	演習Ⅰ（メディア文化論）	4	1	教授 伊藤 明己	○
	演習Ⅱ（メディア文化論）	4	2	教授 伊藤 明己	○
	演習Ⅰ（税法）	4	1	客員教授 長島 弘	○
	演習Ⅱ（税法）	4	2	客員教授 長島 弘	○
	演習Ⅰ（前近代史）	4	1	教授 河内 春人	○
	演習Ⅱ（前近代史）	4	2	教授 河内 春人	○

経済学専攻履修方法

(1) A群（講義科目）

- ① 専攻する分野の講義科目を2科目4単位必修。
- ② ①の他に18単位以上。（B群②の要件で修得した4単位及びC群の要件で修得した8単位を含む）

(2) B群（演習科目）

- ① 指導教授の演習Ⅰ・Ⅱ（各年次4単位）計8単位必修。
- ② ①の他に、分野を問わず演習Ⅰの中から1科目4単位を履修することができる。
その修得した単位はA群②の単位とみなすことができる。

(3) C群（他専攻科目、他研究科科目及び他大学院科目）

以下の①から③までの科目を履修して修得した単位は、合わせて8単位までA群②の単位とみなすことができる。ただし、②の場合には、指導教授並びに当該科目担当教員、③の場合には指導教授並びに当該大学の事前承認を得なければならない。

- ① 他専攻講義科目から4単位。
- ② 本学の他研究科開講科目で、専攻する分野の科目と関連する講義科目から4単位。
- ③ 神奈川県内の大学間における学術交流協定大学の大学院で特別聴講学生として履修した単位。

【経営学専攻 博士前期課程】

A 群（講義科目）

分野	講義種別	科目名	単位	配当 年次	担当者	研究 指導
経営学	特殊 講義	経営史特殊講義	2	1-2	教授 四宮 正親	○
		経営管理論特殊講義	2	1-2	(2025年度休講)	
		現代企業論特殊講義	2	1-2	教授 小山 厳也	○
		経営組織論特殊講義	2	1-2	准教授 吉村 大吾	○
		経営財務論特殊講義	2	1-2	教授 辻 聖二	○
		経営戦略論特殊講義	2	1-2	准教授 真保 智行	
		現代ツーリズム特殊講義	2	1-2	教授 才原 清一郎	○
		スポーツ・マネジメント論特殊講義	2	1-2	准教授 奈良 堂史	○
	特論	自動車産業史	2	1-2	(2025年度休講)	
		企業と社会	2	1-2	教授 小山 厳也	○
		企業評価論	2	1-2	教授 辻 聖二	○
		イノベーション・マネジメント	2	1-2	(2025年度休講)	
		観光まちづくり	2	1-2	(2025年度休講)	
		プロスポーツビジネス論	2	1-2	(2025年度休講)	
		人材管理	2	1-2	(2025年度休講)	
		組織における人間行動	2	1-2	(2025年度休講)	
経営情報	特殊 講義	意思決定論特殊講義	2	1-2	教授 渡邊 光一	○
		組織とIT経営特殊講義	2	1-2	教授 荒川 一彦	○
	特論	コラボレーションシステム論	2	1-2	(2025年度休講)	
		ナレッジワーク論	2	1-2	教授 荒川 一彦	○
流通・ マーケティング	特殊 講義	マーケティング論特殊講義	2	1-2	教授 天野 恵美子	○
		流通システム論特殊講義	2	1-2	教授 福田 敦	○
		消費者行動論特殊講義	2	1-2	准教授 佐藤 志乃	
		マーケティング・コミュニケーション論特殊講義	2	1-2	教授 岩崎 達也	○
		国際マーケティング論特殊講義	2	1-2	教授 唐沢 龍也	○
	特論	グローバルマーケティング	2	1-2	(2025年度休講)	
		地域商業論	2	1-2	(2025年度休講)	
		ブランド・コミュニケーション	2	1-2	准教授 佐藤 志乃	
		マーケティングと国際知識移転	2	1-2	教授 唐沢 龍也	○
		ブランド・マネジメント特論	2	1-2	(2025年度休講)	
会計学	特殊 講義	会計学特殊講義	2	1-2	教授 水谷 文宣	○
		管理会計論特殊講義	2	1-2	教授 江頭 幸代	○
		制度会計論特殊講義	2	1-2	教授 渡辺 竜介	○
		財務会計論特殊講義	2	1-2	教授 越智 信仁	○
		税務会計論特殊講義	2	1-2	非常勤講師 古川 雅司	
		コストマネジメント論特殊講義	2	1-2	教授 山北 晴雄	○
	特論	監査制度論	2	1-2	教授 越智 信仁	○
		国際会計論	2	1-2	教授 渡辺 竜介	○
		民間非営利組織会計	2	1-2	教授 水谷 文宣	○
		キャパシティ・マネジメント	2	1-2	(2025年度休講)	
		地方財務会計論	2	1-2	教授 江頭 幸代	○
		中小企業の会計と税務	2	1-2	非常勤講師 古川 雅司	

分野	講義種別	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
共通	特殊講義	現代政治論特殊講義	2	1-2	(2025年度休講)	
		前近代史特殊講義	2	1-2	教授 河内 春人	
		ジェンダー論特殊講義	2	1-2	教授 細谷 実	○
		メディア文化論特殊講義	2	1-2	教授 伊藤 明己	
		環境学特殊講義	2	1-2	准教授 田林 雄	○
		地域・在宅健康支援学特講Ⅰ	1	1-2	准教授 若林 和枝	
		地域・在宅健康支援学特講Ⅱ	2	1-2	准教授 若林 和枝	
		地域・在宅健康支援学特講Ⅲ	2	1-2	准教授 若林 和枝	
		老年支援学特講Ⅰ	1	1-2	教授 青木 由美恵	
		成育支援学特講Ⅰ	1	1-2	准教授 飯尾 美沙	
		成育支援学特講Ⅱ	2	1-2	准教授 飯尾 美沙	
		成育支援学特講Ⅲ	2	1-2	准教授 飯尾 美沙	
		女性支援学特講Ⅰ	1	1-2	教授 ケニヨン 充子	
		女性支援学特講Ⅱ	2	1-2	教授 ケニヨン 充子	
		女性支援学特講Ⅲ	2	1-2	教授 ケニヨン 充子	
		療養生活支援学特講Ⅰ	1	1-2	教授 木下 里美	
		療養生活支援学特講Ⅱ	2	1-2	教授 木下 里美	
		療養生活支援学特講Ⅲ	2	1-2	教授 木下 里美	
		看護実践支援学特講Ⅰ	1	1-2	教授 島田 多佳子	
		税法基礎講義	2	1-2	教授 山田 有人	
		税法特殊講義	2	1-2	教授 山田 有人	
		国際租税法基礎講義	2	1-2	教授 山田 有人	
		国際租税法特殊講義	2	1-2	教授 山田 有人	
	特論	租税法	2	1-2	非常勤講師 菅沼 哲矢	
		所得税法	2	1-2	非常勤講師 菅沼 哲矢	
		法人税法	2	1-2	非常勤講師 石渡 晃子	
		国際政治の諸問題	2	1-2	(2025年度休講)	
		前近代の交易と東アジア	2	1-2	(2025年度休講)	
		ジェンダーと経済	2	1-2	(2025年度休講)	
		メディアと社会思想	2	1-2	(2025年度休講)	
		地球環境学特論	2	1-2	(2025年度休講)	

B群（演習科目）

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
経営学	演習Ⅰ（経営史）	4	1	教授 四宮 正親	○
	演習Ⅱ（経営史）	4	2	教授 四宮 正親	○
	演習Ⅰ（現代企業論）	4	1	教授 小山 巖也	○
	演習Ⅱ（現代企業論）	4	2	教授 小山 巖也	○
	演習Ⅰ（経営組織論）	4	1	准教授 吉村 大吾	○
	演習Ⅱ（経営組織論）	4	2	准教授 吉村 大吾	○
	演習Ⅰ（経営財務論）	4	1	教授 辻 聖二	○
	演習Ⅱ（経営財務論）	4	2	教授 辻 聖二	○
	演習Ⅰ（現代ツーリズム）	4	1	教授 才原 清一郎	○
	演習Ⅱ（現代ツーリズム）	4	2	教授 才原 清一郎	○
	演習Ⅰ（スポーツ・マネジメント論）	4	1	准教授 奈良 堂史	○
	演習Ⅱ（スポーツ・マネジメント論）	4	2	准教授 奈良 堂史	○

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
経営情報	演習Ⅰ（意思決定論）	4	1	教授 渡邊 光一	○
	演習Ⅱ（意思決定論）	4	2	教授 渡邊 光一	○
	演習Ⅰ（組織とIT経営）	4	1	教授 荒川 一彦	○
	演習Ⅱ（組織とIT経営）	4	2	教授 荒川 一彦	○
流通・マーケティング	演習Ⅰ（マーケティング論）	4	1	(2025年度休講)	
	演習Ⅱ（マーケティング論）	4	2	(2025年度休講)	
	演習Ⅰ（流通システム論）	4	1	教授 福田 敦	○
	演習Ⅱ（流通システム論）	4	2	教授 福田 敦	○
	演習Ⅰ（マーケティング・コミュニケーション論）	4	1	教授 岩崎 達也	○
	演習Ⅱ（マーケティング・コミュニケーション論）	4	2	教授 岩崎 達也	○
	演習Ⅰ（国際マーケティング論）	4	1	准教授 唐沢 龍也	○
	演習Ⅱ（国際マーケティング論）	4	2	准教授 唐沢 龍也	○
会計学	演習Ⅰ（会計学）	4	1	教授 水谷 文宣	○
	演習Ⅱ（会計学）	4	2	教授 水谷 文宣	○
	演習Ⅰ（管理会計論）	4	1	教授 江頭 幸代	○
	演習Ⅱ（管理会計論）	4	2	教授 江頭 幸代	○
	演習Ⅰ（制度会計論）	4	1	教授 渡辺 竜介	○
	演習Ⅱ（制度会計論）	4	2	教授 渡辺 竜介	○
	演習Ⅰ（財務会計論）	4	1	教授 越智 信仁	○
	演習Ⅱ（財務会計論）	4	2	教授 越智 信仁	○
	演習Ⅰ（コストマネジメント論）	4	1	教授 山北 晴雄	○
	演習Ⅱ（コストマネジメント論）	4	2	教授 山北 晴雄	○
共通	演習Ⅰ（ジェンダー論）	4	1	教授 細谷 実	○
	演習Ⅱ（ジェンダー論）	4	2	教授 細谷 実	○

経営学専攻履修方法

(1) A群（講義科目）

- ① 専攻する分野の講義科目を2科目4単位必修。
- ② ①の他に18単位以上。（B群②の要件で修得した4単位及びC群の要件で修得した8単位を含む）

(2) B群（演習科目）

- ① 指導教授の演習Ⅰ・Ⅱ（各年次4単位）計8単位必修。
- ② ①の他に、分野を問わず演習Ⅰの中から1科目4単位を履修することができる。
その修得した単位はA群②の単位とみなすことができる。

(3) C群（他専攻科目、他研究科科目及び他大学院科目）

以下の①から③までの科目を履修して修得した単位は、合わせて8単位までA群②の単位とみなすことができる。ただし、②の場合には、指導教授並びに当該科目担当教員、③の場合には指導教授並びに当該大学の事前承認を得なければならない。

- ① 他専攻講義科目から4単位。
- ② 本学の他研究科開講科目で、専攻する分野の科目と関連する講義科目から4単位。
- ③ 神奈川県内の大学間における学術交流協定大学の大学院で特別聴講学生として履修した単位。

【経済学専攻 博士後期課程】

講義科目

分野	科目名	単位	配当 年次	担当者	研究 指導
経済理論・ 経済学史	経済理論特殊研究	4	1-3	(2025年度休講)	
	経済学史特殊研究	4	1-3	教授 石井 穰	○
近代経済学	現代経済特殊研究	4	1-3	教授 中泉 拓也	○
応用経済	経済政策論特殊研究	4	1-3	(2025年度休講)	
	財政理論特殊研究	4	1-3	(2025年度休講)	
	地方財政特殊研究	4	1-3	(2025年度休講)	
	金融論特殊研究	4	1-3	(2025年度休講)	
	国際金融論特殊研究	4	1-3	教授 黒川 洋行	○
	労働経済論特殊研究	4	1-3	教授 吉田 千鶴	○
経済史・世界経済	日本経済史特殊研究	4	1-3	教授 名武 なつ紀	○
	アメリカ経済論特殊研究	4	1-3	(2025年度休講)	
	国際経済学特殊研究	4	1-3	教授 山本 勝造	
共通	現代政治論特殊研究	4	1-3	(2025年度休講)	
	ジェンダー論特殊研究	4	1-3	教授 細谷 実	○
	前近代史特殊研究	4	1-3	教授 河内 春人	○
	メディア文化論特殊研究	4	1-3	教授 伊藤 明己	○

演習科目

分野	科目名	単位	配当 年次	担当者	研究 指導
経済理論・ 経済学史	演習Ⅰ	4	1	教授 石井 穰	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 石井 穰	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 石井 穰	○
近代経済学	演習Ⅰ	4	1	教授 中泉 拓也	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 中泉 拓也	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 中泉 拓也	○
	演習Ⅰ	4	1	教授 野中 康生	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 野中 康生	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 野中 康生	○
応用経済	演習Ⅰ	4	1	教授 松本 武洋	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 松本 武洋	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 松本 武洋	○
	演習Ⅰ	4	1	教授 島澤 論	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 島澤 論	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 島澤 論	○
	演習Ⅰ	4	1	教授 黒川 洋行	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 黒川 洋行	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 黒川 洋行	○
	演習Ⅰ	4	1	教授 吉田 千鶴	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 吉田 千鶴	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 吉田 千鶴	○
経済史・世界経済	演習Ⅰ	4	1	教授 柏倉 知秀	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 柏倉 知秀	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 柏倉 知秀	○
	演習Ⅰ	4	1	教授 名武 なつ紀	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 名武 なつ紀	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 名武 なつ紀	○

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
共通	演習Ⅰ	4	1	教授 伊藤 明己	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 伊藤 明己	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 伊藤 明己	○
	演習Ⅰ	4	1	教授 河内 春人	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 河内 春人	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 河内 春人	○

経済学専攻履修方法

1. 学位論文作成のため、各自の研究主題に応じて、指導教授による必要な研究指導を受けなければならない。
2. 研究指導のほか、授業科目の中から、講義科目1科目4単位以上を修得しなければならない。
3. 演習科目は、指導教授が担当する科目に限り、演習Ⅰから順に、各年次1科目ずつ計3科目12単位を修得しなければならない。

【経営学専攻 博士後期課程】

講義科目

分野	科目名	単位	配当 年次	担当者	研究 指導
経営学	経営史特殊研究	4	1-3	教授 四宮 正親	○
	経営財務論特殊研究	4	1-3	教授 辻 聖二	○
	現代企業論特殊研究	4	1-3	教授 小山 巖也	○
経営情報	意思決定論特殊研究	4	1-3	教授 渡邊 光一	○
流通・ マーケティング	流通システム論特殊研究	4	1-3	教授 福田 敦	○
	マーケティング・コミュニケーション論特殊研究	4	1-3	教授 岩崎 達也	○
	マーケティング論特殊研究	4	1-3	(2025年度休講)	
会計学	会計学特殊研究	4	1-3	教授 渡辺 竜介	○
	管理会計論特殊研究	4	1-3	教授 江頭 幸代	○
	財務会計論特殊研究	4	1-3	教授 越智 信仁	○
	原価管理論特殊研究	4	1-3	教授 山北 晴雄	○
共通	現代政治論特殊研究	4	1-3	(2025年度休講)	
	ジェンダー論特殊研究	4	1-3	教授 細谷 実	○
	メディア文化論特殊研究	4	1-3	教授 伊藤 明己	○

演習科目

分野	科目名	単位	配当 年次	担当者	研究 指導
経営学	演習Ⅰ	4	1	教授 四宮 正親	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 四宮 正親	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 四宮 正親	○
	演習Ⅰ	4	1	教授 辻 聖二	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 辻 聖二	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 辻 聖二	○
	演習Ⅰ	4	1	教授 小山 巖也	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 小山 巖也	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 小山 巖也	○
経営情報	演習Ⅰ	4	1	教授 渡邊 光一	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 渡邊 光一	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 渡邊 光一	○
流通・ マーケティング	演習Ⅰ	4	1	教授 福田 敦	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 福田 敦	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 福田 敦	○
	演習Ⅰ	4	1	教授 岩崎 達也	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 岩崎 達也	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 岩崎 達也	○

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
会計学	演習Ⅰ	4	1	教授 渡辺 竜介	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 渡辺 竜介	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 渡辺 竜介	○
	演習Ⅰ	4	1	教授 江頭 幸代	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 江頭 幸代	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 江頭 幸代	○
	演習Ⅰ	4	1	教授 山北 晴雄	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 山北 晴雄	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 山北 晴雄	○
	演習Ⅰ	4	1	教授 越智 信仁	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 越智 信仁	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 越智 信仁	○
	演習Ⅰ	4	1	教授 水谷 文宣	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 水谷 文宣	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 水谷 文宣	○
共通	演習Ⅰ	4	1	教授 細谷 実	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 細谷 実	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 細谷 実	○

経営学専攻履修方法

1. 学位論文作成のため、各自の研究主題に応じて、指導教授による必要な研究指導を受けなければならない。
2. 研究指導のほか、授業科目の中から、講義科目1科目4単位以上を修得しなければならない。
3. 演習科目は、指導教授が担当する科目に限り、演習Ⅰから順に、各年次1科目ずつ計3科目12単位を修得しなければならない。

1. 募集人数

研究科	課程	専攻	入学定員
法学研究科	博士前期課程	法学専攻(研究者養成コース)	5
		法学専攻(専修コース)	
	修士課程	地域創生専攻	3
	博士後期課程	法学専攻(法学コース)	2
		法学専攻(地域創生コース)	

注1] 博士前期課程法学専攻「研究者養成コース」は一般入学試験のみの募集です。なお、入学する学生には、原則として博士後期課程に進学するよう指導します。

注2] 博士前期課程法学専攻「専修コース」は、一般入学試験、学内推薦入学試験、社会人入学試験、外国人留学生入学試験で募集します。

注3] 地域創生専攻は、一般入学試験、学内推薦入学試験、社会人入学試験、自治体等推薦入学試験、外国人留学生入学試験で募集します。

注4] 博士後期課程法学専攻「法学コース」は、一般入学試験、学内推薦入学試験、社会人入学試験、外国人留学生入学試験、法科大学院修了者特別選抜試験、新司法試験合格者特別選抜試験で募集します。

注5] 博士後期課程法学専攻「地域創生コース」は、一般入学試験、社会人入学試験、外国人留学生入学試験で募集します。

2. 出願資格

【博士前期課程(法学専攻)】

(1) 一般入学試験(研究者養成コース・専修コース)

P. 4～5「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験(専修コースのみ)

関東学院大学を2026年3月までに卒業見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該学部より推薦され、本研究科が出願を認めた者

(3) 社会人入学試験(専修コースのみ)

以下の①または②に該当し、在職経験がある者または現在在職している者(家事専従者を含む)

① 学校教育法に定める大学を2023年3月以前に卒業した者

② 2026年4月1日時点で満25歳以上の者で、一般入学試験の出願資格のいずれかに該当する者(ただし、卒業(修了)見込みの者を除く)

(4) 外国人留学生入学試験(専修コースのみ)

外国籍を有し、入学後在留資格(「留学」)を取得できる者で、以下のいずれかに該当する者

① 外国人留学生として大学を卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者

② 一般入学試験の出願資格(2)～(10)のいずれかに該当する者

注] 「出願資格審査」希望者は、P. 5に記載の期日までにアドミッションセンターへ申し出てください。

【修士課程（地域創生専攻）】

(1) 一般入学試験

P. 4～5「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験

関東学院大学を2026年3月までに卒業見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該学部より推薦され、本研究科が出願を認めた者

(3) 社会人入学試験

以下の①または②に該当し、在職経験がある者または現在在職している者（家事専従者を含む）

- ① 学校教育法に定める大学を2023年3月以前に卒業した者
- ② 2026年4月1日時点で満25歳以上の者で、一般入学試験の出願資格のいずれかに該当する者（ただし、卒業（修了）見込みの者を除く）

(4) 自治体等推薦入学試験

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当する者で、関東学院大学または関東学院大学法学部が包括連携協定を締結している地方公共団体等※からの推薦を受けた職員（特別職を含む）及び議員

※〈対象となる地方公共団体等は以下の通り〉

神奈川県、横浜市、横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町、茅ヶ崎市、小田原市、相模原市、岩手県、福島県、東京都東大和市、群馬県上野村、沖縄県西原町、沖縄県与那原町、長崎市、横須賀市議会、横須賀商工会議所（2024年12月時点）

(5) 外国人留学生入学試験

外国籍を有し、入学後在留資格（「留学」）を取得できる者で、以下のいずれかに該当する者

- ① 外国人留学生として大学を卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者
- ② 一般入学試験の出願資格（2）～（10）のいずれかに該当する者

注〕「出願資格審査」希望者は、P. 5に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

【博士後期課程（法学専攻）法学コース・地域創生コース】

(1) 一般入学試験

P. 4～5「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験（法学コースのみ）（1月募集のみ）

本研究科博士前期課程（研究者養成コース）を2026年3月までに修了見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って指導教授の推挙により本研究科が出願を認めた者

(3) 社会人入学試験

以下のいずれかに該当する社会人

- ① 職業の有無にかかわらず、2026年3月末日時点で、大学院修士課程・博士前期課程修了後2年以上経過している者
- ② 本研究科博士前期課程に社会人入学試験または社会人推薦入学試験で入学し、同課程を修了または修了見込みの者
- ③ 2026年3月末日時点で、大学卒業後5年以上を経過し、かつ修士学位論文に準ずる研究業績のある者

(4) 外国人留学生入学試験

外国籍を有し、入学後在留資格（「留学」）を取得できる者で、以下のいずれかに該当する者

- ① 外国の大学院で修士の学位または専門職学位を有する者及び2026年3月までに修士の学位または専門職学位を取得見込みの者
- ② 日本の大学院で修士の学位または専門職学位を有する者及び2026年3月までに修士の学位または専門職学位を取得見込みの者

(5) 法科大学院修了者特別選抜試験（法学コースのみ）

法務博士（専門職）学位取得者または2026年3月取得見込みの者

(6) 新司法試験合格者特別選抜試験（法学コースのみ）

法務博士（専門職）学位取得者で、かつ新司法試験合格者

注〕「出願資格審査」希望者は、P. 5に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

3. 事前協議（対象者のみ）

出願に先立ち、志望する研究分野の指導教授と事前協議を行います。対象者等詳細は以下を確認してください。

事前協議の結果については、後日「事前協議申込書」に記入したメールアドレス宛にご連絡します。

対象者	必要書類		提出方法／申込締切日	事前協議日／実施方法
修士課程 地域創生専攻の 以下に出願 するもの ・外国人留学生 入学試験	1	事前協議申込書 ※巻末の用紙(1)	提出方法 巻末の「事前協議申込書」 の欄外に記載の通り、メー ルまたは郵送にて 申込締切日 8月募集： 7月2日（水）必着 1月募集： 12月1日（月）必着	実施日は個別に日程 等調整いたします。 なお、オンラインで 実施します。
	2	履歴票の写し ※巻末の用紙(2) ※出願時に原本を提出		
	3	研究計画書 ※表紙は巻末の用紙(3)を使用 すること		
博士後期課程 志望者 (本研究科博士 前期課程・修士 課程修了者 (見込み者含む) は除く)	1	事前協議申込書 ※巻末の用紙(1)		
	2	履歴票の写し ※巻末の用紙(2) ※出願時に原本を提出		
	3	研究計画書 ※表紙は巻末の用紙(3)を使用 すること		
	4	修士学位論文の写し1部 (またはこれに準ずるもの1部))		
	5	【法科大学院修了者特別選抜試験・新 司法試験合格者特別選抜試験のみ】 リサーチペーパー ※表紙は巻末の用紙(8)を使用 すること		
	6	【新司法試験合格者特別選抜試験 のみ】 新司法試験合格証書(または合格 通知書)の写し		

4. 出願書類

各証明書は、原則として出願受付開始日前3ヶ月以内に発行されたものを提出してください。

(国外で発行された証明書については、発行日を問いません)

国外で発行された成績証明書・卒業証明書等は、日本語または英語で記載されたもの（もしくは、公的機関・公的翻訳資格を有する者が行った日本語訳または英語訳が添付されたもの）を提出してください。

【博士前期課程（法学専攻）】（※印は本要項巻末の用紙を使用）

出願書類		備考	一般入学試験	学内推薦入学試験	社会人入学試験	外国人留学生入学試験
1	志願票	本学受験生サイトより資料請求もしくは、アドミッションズセンターの窓口で受け取り P.114～115「志願票記入例」参照	○	○	○	○
2	※ 履歴票	巻末の用紙（2）	○	○	○	○
3	写真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm（カラー） 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○	○
4	成績証明書	注1、3]	○	—	○	○
5	卒業証明書もしくは 卒業見込証明書または 学位（称号）授与証明書	注1、2、3] 短期大学または高等専門学校の 専攻科修了見込みの者は、修了見込証明書及び 学位授与申請書 専修学校の専門課程修了（見込み）の者は、 修了（見込み）証明書及び高度専門士の称号 を取得することを証明する書類	○	—	○	○
6	※ 研究計画書	2,000字程度 巻末の用紙（3）をつけて提出	○	○	○	○
7	※ 職務経歴書	2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 巻末の表紙（4）をつけて提出	—	—	○	—
8	※ 自己推薦状	巻末の用紙（9）	—	—	○	—
9	資格取得を証明する書類	注4] 写し可	○ (の該当者)	—	○ (の該当者)	—

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類（戸籍抄本等）を添付してください。

注2] 外国の大学の卒業（見込み）者は、学位授与（見込み）証明書を提出してください。

注3] 関東学院大学（大学院・法科大学院含む）を卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者は、出願時に上記書類4、5は提出する必要はありません。

注4] ●社会人入試の志願者のうち、自己推薦状もしくは職務経歴書に資格を記入した場合は、資格取得を証明する書類を提出してください。（資格の記入は任意）

●資格取得例：公認会計士（短答式試験、論文式試験）、日本商工会議所簿記検定1級、全国経理教育協会簿記能力検定上級、税理士試験（科目合格も可）、司法書士試験、不動産鑑定士等。

●一般入試（研究者養成コース）の志願者のうち、外国語科目の免除を希望する者は、該当する資格試験の合格証明書または成績証明書を提出してください。

注5] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

注6] 書類が複数ページあるものは、クリップ留めしてください（ホチキス留め不可）。

【修士課程（地域創生専攻）】（※印は本要項巻末の用紙を使用）

出願書類		備考	一般入学試験	学内推薦入学試験	社会人入学試験	自治体等推薦入学試験	外国人留学生入学試験
1	志願票	本学受験生サイトより資料請求もしくは、アドミッションセンターの窓口で受け取り P.114～115「志願票記入例」参照	○	○	○	○	○
2	※ 履歴票	巻末の用紙（2）	○	○	○	○	○
3	写真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm（カラー） 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○	○	○
4	成績証明書	注1、3〕	○	—	○	○	○
5	卒業証明書もしくは 卒業見込証明書または 学位（称号）授与証明書	注1、2、3〕 短期大学または高等専門学校の 専攻科修了見込みの者は、修了見込証明書及び 学位授与申請書 専修学校の専門課程修了（見込）の者は、修了 （見込）証明書及び高度専門士の称号を取得 することを証明する書類	○	—	○	○	○
6	※ 研究計画書	2,000字程度 巻末の表紙（3）をつけて提出	○	○	○	○	○
7	※ 職務経歴書	2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 巻末の表紙（4）をつけて提出	—	—	○	○	—
8	※ 推薦状	自治体等推薦入学試験で受験する者のみ提出 任命権者等による推薦状 巻末の用紙（10）	—	—	—	○	—
9	※ 自己推薦状	巻末の用紙（9）	—	—	○	—	—
10	資格取得を証明する書類	注4〕 写し可	—	—	○ （該 み 者）	—	—

注1〕 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類（戸籍抄本等）を添付してください。

注2〕 外国の大学の卒業（見込み）者は、学位授与（見込み）証明書を提出してください。

注3〕 関東学院大学（大学院・法科大学院含む）を卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者は、出願時に上記書類4、5は提出する必要はありません。

注4〕 ●社会人入試の志願者のうち、自己推薦状もしくは職務経歴書に資格を記入した場合は、資格取得を証明する書類を提出してください。（資格の記入は任意）

●資格取得例：公認会計士（短答式試験、論文式試験）、日本商工会議所簿記検定1級、全国経理教育協会簿記能力検定上級、税理士試験（科目合格も可）、司法書士試験、不動産鑑定士等。

注5〕 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

注6〕 書類が複数ページあるものは、クリップ留めしてください（ホチキス留め不可）。

【博士後期課程（法学専攻）法学コース・地域創生コース】（※印は本要項巻末の用紙を使用）

出 願 書 類		備 考	一般入学試験	学内推薦入学試験	社会人入学試験	外国人留学生入学試験	法科大学院特別選抜試験	新司法試験特別選抜試験合格者
1	志願票	本学受験生サイトより資料請求もしくは、アドミッションセンターの窓口で受け取り P.114～115「志願票記入例」参照	○	○	○	○	○	○
2	※ 履歴票	巻末の用紙（2）	○	○	○	○	○	○
3	写真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm（カラー） 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○	○	○	○
4	修士課程（博士前期課程）成績証明書	注1、2]	○	—	○	○	—	—
5	修士課程（博士前期課程）修了証明書または修了見込証明書	注1、2]	○	—	○	○	—	—
6	法科大学院成績証明書	注1、2]	—	—	—	—	○	○
7	法科大学院修了証明書または修了見込証明書 法務博士学位取得証明書	注1、2]	—	—	—	—	○	○
8	修士学位論文またはそれに準ずるもの	写し3部、要旨3部 修士学位論文に準ずるものは、40,000字程度、欧文の場合は80,000字程度の論文とする 外国人留学生入学試験に出願する者で外国語で書かれた論文を提出する場合は、日本語による要旨を添付すること	○	○	○	○	—	—
9	※ 研究計画書	2,000字程度 巻末の表紙（3）をつけて提出	○	○	○	○	—	—
10	※ 職務経歴書	2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 巻末の表紙(4)をつけて提出	—	—	○	—	—	—
11	内諾書	志望する専修分野の希望指導教授が作成したもの 本研究科博士前期課程・修士課程修了者（見込み含む）は不要	○	—	○	○	○	○
12	※ 自己推薦状	巻末の用紙（9）	—	—	○	—	—	—
13	新司法試験合格証書(写) または合格通知書(写)		—	—	—	—	—	○
14	※ リサーチペーパー	3部（A4版） 主に志望する研究分野における任意の研究テーマに関する日本語で執筆された論文(15,000字程度) 巻末の表紙(8)	—	—	—	—	○	○

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類（戸籍抄本等）を添付してください。

注2] 関東学院大学大学院・法科大学院を修了した者及び修了見込みの者は上記書類4～7は提出する必要はありません。

注3] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

注4] 書類が複数ページあるものは、クリップ留めしてください（ホチキス留め不可）。

5. 既修得単位の事前照会

〈目的〉

法学研究科では、他の大学院や他研究科等を修了していたり、過去に科目等履修生などの制度を利用したりして、大学院における修得単位を持つ状態の受験希望者に対し、入学前に入学後単位認定できる科目と単位数を示すことによって、計画的な履修計画をすみやかに立てることができるようにするため、既修得単位の事前照会を実施します。

希望者は、下記の提出期限までに、巻末（11）の「既修得単位事前照会願」に必要事項を記入し、該当科目の成績表及びシラバス等講義内容がわかる関連資料とともに、下記宛先に郵送してください。

〒236-8501

神奈川県横浜市金沢区六浦東1-50-1 関東学院大学アドミSSIONズセンター 宛
(封筒の表面に「既修得単位事前照会願 在中」と朱書きしてください)

〈提出期限〉

8月募集 2025年8月1日（金）

1月募集 2026年1月16日（金）

〈認定可能な単位数〉

上限15単位まで

〈結果の通知〉

結果の通知は、合格発表後に郵送いたします。

なお、通知書は、入学後の履修登録の際に必要なとなりますので、大切に保管くださいますようお願いいたします。

6. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、面接、成績証明書及び博士後期課程の場合は修士学位論文等を総合して行います。

7. 試験科目及び試験時間割

【博士前期課程】法学専攻（研究者養成コース・専修コース）

(1) 一般入学試験（研究者養成コース）

試験科目	配点	試験時間	備考
外国語	100点	13：30～15：00 (90分)	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」の3科目から1ヵ国語を出願時に選択。標準辞書使用可（ただし、電子辞書を除く） ※以下に示す、一定の外国語能力があると認められる者に対しては外国語科目を免除する ●英語 TOEFL iBT79点以上もしくはITP550点以上、またはTOEIC (L&R) 730点以上 ●ドイツ語 ドイツ語技能検定試験(独検)準1級以上またはゲーテ・インスティトゥートドイツ語検定試験B2以上 ●フランス語 実用フランス語技能検定試験(仏検)準1級以上またはフランス国民教育省認定フランス語検定試験(DELF) B2以上
小論文 (2科目)	各100点 計200点	10：00～12：00 (120分)	志望する専修分野において、希望する指導教授に応じて指定された科目の中から、1科目を「主要科目」とし、同分野の残りの科目から1科目を「選択科目」として、2科目を出願時に選択。注] P.65の別表参照
面接	—	15：30～	研究計画、将来の進路等についての口頭試問

(2) 一般入学試験（専修コース）

試験科目	配点	試験時間	備考
法学に関する 小論文 または 法律科目	100点	10：00～12：00 (120分)	「法学に関する小論文」または別表に掲げる法律科目1科目 ※別表（P.65）に掲げる法律科目については、志望する専修分野において、希望する指導教授に応じて指定された科目の中から1科目を出願時に選択
面接	—	13：00～	研究計画、将来の進路等についての口頭試問

(3) 学内推薦入学試験（専修コースのみ）

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13：00～	研究計画書等に基づく口頭試問

(4) 社会人入学試験（専修コースのみ）

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13：00～	研究計画、将来の進路等について

(5) 外国人留学生入学試験（専修コースのみ）

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	11：00～12：00 (60分)	志望する専修分野において指定された科目のうち、希望する指導教授が担当する1科目を出願時に選択 注] P.65の別表参照
面接	—	13：00～	研究計画、将来の進路等についての口頭試問

(別表) 専修分野別受験指定科目一覧表

専修分野	指導教授	担当科目	受験指定科目
公共関係法	吉田 仁美	憲法	憲法
	山田 有人	税法	税法
	鳥澤 円	法哲学	法哲学
	村上 裕	西洋法制史	西洋法制史
	武藤 達夫	国際法	国際法
	宮本 弘典	刑法	刑法
	川島 健治	刑法 刑事訴訟法	刑法 刑事訴訟法
	藤田 潤一郎	政治学	政治学
	浅野 俊哉	社会思想史	社会思想史
経済関係法	志村 武	民法(財産法)	民法(財産法)
	徳永 江利子	家族法	民法(家族法)
	河村 好彦	民事訴訟法	※民事訴訟法
	三原 園子	企業取引法 企業組織法 有価証券法	※商法
	本田 直志	経済法 国際経済法	経済法 国際経済法
	長谷川 新	金融・資本市場法	会社法
	山田 有人	国際租税法	税法

- 注1] 一般入学試験(研究者養成コース)受験者は、履歴票に記入した論文科目(2科目)の、それぞれの「設問1」について論述する。
一般入学試験(専修コース)受験者は、履歴票に記入した論文科目(1科目)の、それぞれの「設問1・設問2」について論述する。
- 注2] ※指導教授を河村好彦教授とする場合は、履歴票には「民事訴訟法」と記載し、試験当日に「民事訴訟法」「倒産法」からいずれか1科目を任意に選択する。
※指導教授を三原園子教授とする場合は、履歴票には「商法」と記載し、試験当日に「商法(総則・商行為)」「会社法」「手形法・小切手法」からいずれか1科目を任意に選択する。

【修士課程】地域創生専攻

(1) 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
地域創生に関する小論文	100点	11：00～12：00 (60分)	
面接	—	13：00～	研究計画書等に基づく口頭試問

(2) 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13：00～	研究計画、将来の進路等についての口頭試問

(3) 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13：00～	研究計画書等に基づく口頭試問

(4) 自治体等推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13：00～	研究計画書等に基づく口頭試問

(5) 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
地域創生に関する小論文	100点	11：00～12：00 (60分)	
面接	—	13：00～	研究計画、将来の進路等についての口頭試問

【博士後期課程】法学専攻（法学コース・地域創生コース）

(1) 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
外国語 (2科目)	各100点 計200点	10:00～12:00 (120分)	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」の3科目から2科目を出願時に選択。標準辞書使用可（ただし、電子辞書を除く）
面接	—	13:00～	修士学位論文またはそれに準ずるもの及び研究計画書に関する口頭試問

(2) 学内推薦入学試験（法学コースのみ）※1月募集のみ

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13:00～	修士学位論文及び研究計画書に関する口頭試問

(3) 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専門分野に関する 小論文	100点	11:00～12:00 (60分)	
面接	—	13:00～	修士学位論文またはそれに準ずるもの及び研究計画書に関する口頭試問

(4) 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
日本語	100点	10:00～12:00 (120分)	標準辞書使用可（ただし、電子辞書を除く）
面接	—	13:00～	修士学位論文及び研究計画書に関する口頭試問

(5) 法科大学院修了者特別選抜試験（法学コースのみ）

試験科目	配点	試験時間	備考
外国語	100点	11:00～12:00 (60分)	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」の3科目から1科目を出願時に選択。標準辞書使用可（ただし、電子辞書を除く）
面接	—	13:00～	提出されたりサーチペーパー及び研究計画書に関する口頭試問

(6) 新司法試験合格者特別選抜試験（法学コースのみ）

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13:00～	提出されたりサーチペーパー及び研究計画書に関する口頭試問

7. 試験場（P.11参照）

関東学院大学 関内キャンパス
〒231-0031 横浜市中区万代町1-1-1

◎ 法 学 研 究 科 授 業 科 目 表

【博士前期課程（法学専攻）】

講義科目（基礎講義）

分野	科目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	担当者
					春	秋		
公共関係法	憲法Ⅰ基礎講義	2	△	1・2	○		講義	吉田 仁美
	憲法Ⅱ基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2025年度休講
	行政法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	釵持 麻衣
	環境法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2025年度休講
	税法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	山田 有人
	法哲学基礎講義	2	△	1・2	○		講義	鳥澤 円
	西洋法制史基礎講義	2	△	1・2	○		講義	村上 裕
	国際法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	武藤 達夫
	地方自治法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	出石 稔
	刑法Ⅰ基礎講義	2	△	1・2	○		講義	宮本 弘典
	刑法Ⅱ基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2025年度休講
	経済刑法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2025年度休講
	刑事訴訟法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	川島 健治
	刑事政策基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2025年度休講
	刑事法史学基礎講義	2	△	1・2	○		講義	宮本 弘典
	政治学基礎講義	2	△	1・2	○		講義	藤田 潤一郎
	国際政治基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2025年度休講
	社会思想史基礎講義	2	△	1・2	○		講義	浅野 俊哉
経済関係法	民法（財産法Ⅰ）基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2025年度休講
	民法（財産法Ⅱ）基礎講義	2	△	1・2	○		講義	小島 庸輔
	民法（財産法Ⅲ）基礎講義	2	△	1・2	○		講義	志村 武
	家族法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	徳永 江利子
	民事訴訟法Ⅰ基礎講義	2	△	1・2	○		講義	宇都宮 遼平
	民事訴訟法Ⅱ基礎講義	2	△	1・2	○		講義	河村 好彦
	企業取引法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2025年度休講
	企業組織法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	三原 園子
	有価証券法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2025年度休講
	経済法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	本田 直志
	金融・資本市場法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	長谷川 新
	国際経済法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	本田 直志
	労働法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2025年度休講
	社会保障法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	大原 利夫
	国際金融制度論基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2025年度休講
	国際租税法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	山田 有人

△：専攻する分野の科目について必修となる

講義科目（特殊講義）

分野	科目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	担当者
					春	秋		
公共関係法	憲法Ⅰ特殊講義	2	△	1・2		○	講義	吉田 仁美
	憲法Ⅱ特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2025年度休講
	行政法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	釵持 麻衣
	環境法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2025年度休講
	税法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	山田 有人
	法哲学特殊講義	2	△	1・2		○	講義	鳥澤 円
	西洋法制史特殊講義	2	△	1・2		○	講義	村上 裕
	国際法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	武藤 達夫
	地方自治法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	出石 稔
	刑法Ⅰ特殊講義	2	△	1・2		○	講義	宮本 弘典
	刑法Ⅱ特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2025年度休講
	経済刑法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2025年度休講
	刑事訴訟法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	川島 健治
	刑事政策特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2025年度休講
	刑事法史学特殊講義	2	△	1・2		○	講義	宮本 弘典
	政治学特殊講義	2	△	1・2		○	講義	藤田 潤一郎
	国際政治特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2025年度休講
	社会思想史特殊講義	2	△	1・2		○	講義	浅野 俊哉
	公共関係法文献研究	2	△	1・2		○	講義	浅野 俊哉 川島 健治 山田 有人 藤田 潤一郎 宮本 弘典 武藤 達夫 村上 裕 吉田 仁美

△：専攻する分野の科目について必修となる

分野	科目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	担当者
					春	秋		
経済関係法	民法（財産法Ⅰ）特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2025年度休講
	民法（財産法Ⅱ）特殊講義	2	△	1・2		○	講義	小島 庸輔
	民法（財産法Ⅲ）特殊講義	2	△	1・2		○	講義	志村 武
	家族法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	徳永 江利子
	民事訴訟法Ⅰ特殊講義	2	△	1・2		○	講義	宇都宮 遼平
	民事訴訟法Ⅱ特殊講義	2	△	1・2		○	講義	河村 好彦
	企業取引法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2025年度休講
	企業組織法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	三原 園子
	有価証券法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2025年度休講
	経済法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	本田 直志
	金融・資本市場法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	長谷川 新
	国際経済法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	本田 直志
	労働法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2025年度休講
	社会保障法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	大原 利夫
	国際金融制度論特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2025年度休講
	国際租税法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	山田 有人
	経済関係法文献研究	2	△	1・2		○	講義	河村 好彦 徳永 江利子 本田 直志 志村 武 三原 園子 長谷川 新 山田 有人

△：専攻する分野の科目について必修となる

演習科目

分野	科目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	担当者
					春	秋		
公共関係法	憲法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	吉田 仁美
	憲法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	吉田 仁美
	行政法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	2025年度休講
	行政法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	2025年度休講
	税法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	山田 有人
	税法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	山田 有人
	法哲学専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	鳥澤 円
	法哲学専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	鳥澤 円
	西洋法制史専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	村上 裕
	西洋法制史専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	村上 裕
	国際法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	武藤 達夫
	国際法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	武藤 達夫
	地方自治法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	出石 稔
	地方自治法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	出石 稔
	刑法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	宮本 弘典
	刑法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	宮本 弘典
	刑法専門応用（演習）3	1	△	1・2	○		演習	川島 健治
	刑法専門応用（演習）4	1	△	1・2		○	演習	川島 健治
	経済刑法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	2025年度休講
	経済刑法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	2025年度休講
	刑事訴訟法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	川島 健治
	刑事訴訟法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	川島 健治
	刑事政策専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	2025年度休講
	刑事政策専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	2025年度休講
	政治学専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	藤田 潤一郎
	政治学専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	藤田 潤一郎
	国際政治専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	2025年度休講
	国際政治専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	2025年度休講
	社会思想史専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	2025年度休講
	社会思想史専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	浅野 俊哉

△：専攻する分野の科目について必修となる

分野	科目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	担当者
					春	秋		
経済関係法	民法（財産法）専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	志村 武
	民法（財産法）専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	志村 武
	民法（財産法）専門応用（演習）3	1	△	1・2	○		演習	2025年度休講
	民法（財産法）専門応用（演習）4	1	△	1・2		○	演習	2025年度休講
	家族法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	徳永 江利子
	家族法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	徳永 江利子
	民事訴訟法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	2025年度休講
	民事訴訟法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	2025年度休講
	民事訴訟法専門応用（演習）3	1	△	1・2	○		演習	河村 好彦
	民事訴訟法専門応用（演習）4	1	△	1・2		○	演習	河村 好彦
	企業活動法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	2025年度休講
	企業活動法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	2025年度休講
	企業組織法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	三原 園子
	企業組織法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	三原 園子
	有価証券法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	2025年度休講
	有価証券法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	2025年度休講
	経済法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	本田 直志
	経済法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	本田 直志
	金融・資本市場法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	長谷川 新
	金融・資本市場法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	長谷川 新
	国際経済法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	本田 直志
	国際経済法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	本田 直志
	労働法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	2025年度休講
	労働法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	2025年度休講
	社会保障法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	大原 利夫
	社会保障法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	大原 利夫
	国際金融制度論専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	2025年度休講
	国際金融制度論専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	2025年度休講
	国際租税法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	山田 有人
	国際租税法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	山田 有人

△：専攻する分野の科目について必修となる

研究指導科目

科目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	担当者
				春	秋		
合同論文指導Ⅰ	1	○	1	○		演習	浅野 俊哉 川島 健治 河村 好彦 志村 武 徳永 江利子 鳥澤 円 長谷川 新 藤田 潤一郎 本田 直志 三原 園子 宮本 弘典 武藤 達夫 村上 裕 山田 有人 吉田 仁美
合同論文指導Ⅱ	1	○	1		○	演習	浅野 俊哉 川島 健治 河村 好彦 志村 武 徳永 江利子 鳥澤 円 長谷川 新 本田 直志 三原 園子 宮本 弘典 武藤 達夫 村上 裕 山田 有人 吉田 仁美
合同論文指導Ⅲ	2	○	2	○		演習	浅野 俊哉 川島 健治 河村 好彦 志村 武 徳永 江利子 鳥澤 円 長谷川 新 藤田 潤一郎 本田 直志 三原 園子 宮本 弘典 武藤 達夫 村上 裕 山田 有人 吉田 仁美

科目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	担当者
				春	秋		
合同論文指導Ⅳ	2	○	2		○	演習	浅野 俊哉 川島 健治 河村 好彦 志村 武 徳永 江利子 鳥澤 円 長谷川 新 藤田 潤一郎 本田 直志 三原 園子 宮本 弘典 武藤 達夫 村上 裕 山田 有人 吉田 仁美

履修方法及び修了要件

- ① 入学の際、専修分野を1つ選択すること。
- ② 開講科目の中から条件にしたがって、2年以上にわたって30単位以上を修得すること。
- ③ 大学院に2年以上在学して所定の単位を修得し、研究上必要な指導を受けて、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

法学研究科 法学専攻 博士前期課程 指導教授一覧

浅野 俊哉 川島 健治 河村 好彦 志村 武	徳永 江利子 鳥澤 円 長谷川 新 藤田 潤一郎	本田 直志 三原 園子 宮本 弘典 武藤 達夫	村上 裕 山田 有人 吉田 仁美
---------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------	------------------------

【修士課程（地域創生専攻）】

講義科目

分野	科目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	担当者
					春	秋		
専攻主要科目	地域創生論講義（自治体行政）	2	△	1・2	○		講義	出石 稔
	地域創生論講義（社会保障）	2	△	1・2	○		講義	大原 利夫
	地域創生論講義（コミュニティ）	2	△	1・2	○		講義	籠谷 和弘
	地域創生論講義（社会システム）	2	△	1・2	○		講義	木村 乃
	地域創生論講義（政策法務）	2	△	1・2	○		講義	津軽石 昭彦
	地域創生論講義（地方創生）	2	△	1・2	○		講義	牧瀬 稔
	地域創生論講義（行政法）	2	△	1・2	○		講義	釵持 麻衣
地域創生系科目	行政学講義	2	△	1・2		○	講義	牧瀬 稔
	地域社会論講義	2	△	1・2		○	講義	籠谷 和弘
	地域環境政策論講義	2	△	1・2	○		講義	千葉 実
	地域DX推進論講義	2	△	1・2	○		講義	廣川 聡美
	ソーシャルビジネス論講義	2	△	1・2	○		講義	木村 乃
	防災・復興論講義	2	△	1・2		○	講義	津軽石 昭彦
	SDGs実践論講義	2	△	1・2	○		講義	大塚 哲雄
	地域安全政策論講義	2	△	1・2		○	講義	江崎 澄孝
	地方財務会計論（特論）	2	△	1・2		○	講義	江頭 幸代
	地方議会論講義	2	△	1・2		○	講義	牧瀬 稔 出石 稔 津軽石 昭彦
公法系科目	地方自治法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	出石 稔
	地方自治法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	出石 稔
	行政法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	釵持 麻衣
	行政法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	釵持 麻衣
	社会保障法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	大原 利夫
	社会保障法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	大原 利夫
マネジメント系科目	現代企業論特殊講義	2	△	1・2	○		講義	小山 巖也
	経営財務論特殊講義	2	△	1・2		○	講義	辻 聖二
	現代ツーリズム特殊講義	2	△	1・2		○	講義	才原 清一郎
	地域商業論（特論）	2	△	1・2		○	講義	2025年度休講
	マーケティング・コミュニケーション論特殊講義	2	△	1・2	○		講義	岩崎 達也
	コストマネジメント論特殊講義	2	△	1・2		○	講義	山北 晴雄

△：専攻する分野の科目について必修となる

演習科目

科目	単位	必選別	配当 年次	配当期		講義 形態	担当者
				春	秋		
地方自治法専門応用（演習） 1	1	△	1・2	○		演習	出石 稔
地方自治法専門応用（演習） 2	1	△	1・2		○	演習	出石 稔
社会保障法専門応用（演習） 1	1	△	1・2	○		演習	大原 利夫
社会保障法専門応用（演習） 2	1	△	1・2		○	演習	大原 利夫
地域社会論専門応用（演習） 1	1	△	1・2	○		演習	籠谷 和弘
地域社会論専門応用（演習） 2	1	△	1・2		○	演習	籠谷 和弘
ソーシャルビジネス論専門応用（演習） 1	1	△	1・2	○		演習	木村 乃
ソーシャルビジネス論専門応用（演習） 2	1	△	1・2		○	演習	木村 乃
防災・復興論専門応用（演習） 1	1	△	1・2	○		演習	津軽石 昭彦
防災・復興論専門応用（演習） 2	1	△	1・2		○	演習	津軽石 昭彦
地方議会論専門応用（演習） 1	1	△	1・2	○		演習	津軽石 昭彦 出石 稔 牧瀬 稔
地方議会論専門応用（演習） 2	1	△	1・2		○	演習	出石 稔 津軽石 昭彦 牧瀬 稔
行政学専門応用（演習） 1	1	△	1・2	○		演習	牧瀬 稔
行政学専門応用（演習） 2	1	△	1・2		○	演習	牧瀬 稔

△：専攻する分野の科目について必修となる

研究指導科目（修士論文を選択）

科目	単位	必選別	配当 年次	配当期		講義 形態	担当者
				春	秋		
合同論文指導Ⅰ	1	○	1	○		演習	出石 稔 大原 利夫 籠谷 和弘 木村 乃 津軽石 昭彦 牧瀬 稔
合同論文指導Ⅱ	1	○	1		○	演習	出石 稔 大原 利夫 籠谷 和弘 木村 乃 津軽石 昭彦 牧瀬 稔
合同論文指導Ⅲ	2	○	2	○		演習	出石 稔 大原 利夫 籠谷 和弘 木村 乃 津軽石 昭彦 牧瀬 稔
合同論文指導Ⅳ	2	○	2		○	演習	出石 稔 大原 利夫 籠谷 和弘 木村 乃 津軽石 昭彦 牧瀬 稔

研究指導科目（特定課題研究を選択）

科 目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	担 当 者
				春	秋		
特定課題研究Ⅰ	1	○	1	○		演習	出石 稔 大原 利夫 籠谷 和弘 木村 乃 津軽石 昭彦 牧瀬 稔
特定課題研究Ⅱ	1	○	1		○	演習	出石 稔 大原 利夫 籠谷 和弘 木村 乃 津軽石 昭彦 牧瀬 稔
合同リサーチペーパー指導Ⅰ	2	○	2	○		演習	出石 稔 大原 利夫 籠谷 和弘 木村 乃 津軽石 昭彦 牧瀬 稔
合同リサーチペーパー指導Ⅱ	2	○	2		○	演習	出石 稔 大原 利夫 籠谷 和弘 木村 乃 津軽石 昭彦 牧瀬 稔

法学研究科 地域創生専攻 指導教授一覧

出石 稔 木村 乃	大原 利夫 津軽石 昭彦	籠谷 和弘 牧瀬 稔
--------------	-----------------	---------------

【博士後期課程（法学専攻）法学コース・地域創生コース】

演習科目

科目	単位	必修別	配当 年次	配当期		講義 形態	コース	担当者
				春	秋			
憲法特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習	共通	吉田 仁美
憲法特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		吉田 仁美
行政法特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		2025年度休講
行政法特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		2025年度休講
行政学特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		牧瀬 稔
行政学特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		牧瀬 稔
防災・復興政策論特殊研究	2	△	1-3	○		演習		津軽石 昭彦
地方議会論特殊研究	2	△	1-3		○	演習		津軽石 昭彦
法哲学特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		2025年度休講
法哲学特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		2025年度休講
税法特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		山田 有人
税法特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		山田 有人
国際法特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		2025年度休講
国際法特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		2025年度休講
地方自治法特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		出石 稔
地方自治法特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		出石 稔
環境法特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		2025年度休講
環境法特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		2025年度休講
刑法特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		宮本 弘典
刑法特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		宮本 弘典
刑事訴訟法特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		川島 健治
刑事訴訟法特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		川島 健治
政治学特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		藤田 潤一郎
政治学特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		藤田 潤一郎
社会思想史特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		浅野 俊哉
社会思想史特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		浅野 俊哉
国際政治学特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		2025年度休講
国際政治学特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		2025年度休講
民法（財産法）特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		志村 武
民法（財産法）特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		志村 武
民法（財産法）特殊研究 3	2	△	1-3	○		演習		2025年度休講
民法（財産法）特殊研究 4	2	△	1-3		○	演習		2025年度休講
家族法特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		2025年度休講
家族法特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		2025年度休講
民事訴訟法特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		2025年度休講
民事訴訟法特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		2025年度休講
企業活動法特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		2025年度休講
企業活動法特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		2025年度休講
企業組織法特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		三原 園子
企業組織法特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		三原 園子
有価証券法特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		三原 園子
有価証券法特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		三原 園子

科目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	コース	担当者
				春	秋			
競争法特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習	共通	本田 直志
競争法特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		本田 直志
金融・資本市場法特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		長谷川 新
金融・資本市場法特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		長谷川 新
国際経済法特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		本田 直志
国際経済法特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		本田 直志
労働法特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		2025年度休講
労働法特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		2025年度休講
社会保障法特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		大原 利夫
社会保障法特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		大原 利夫
国際金融制度論特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		2025年度休講
国際金融制度論特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		2025年度休講
国際租税法特殊研究 1	2	△	1-3	○		演習		山田 有人
国際租税法特殊研究 2	2	△	1-3		○	演習		山田 有人

△：専攻する分野の科目について必修となる

研究指導科目

科目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	コース	担当者
				春	秋			
合同論文指導Ⅴ	2	○	1	○		演習	法学	浅野 俊哉 川島 健治 志村 武 長谷川 新 藤田 潤一郎 本田 直志 三原 園子 宮本 弘典 吉田 仁美 山田 有人
							地域創生	出石 稔 大原 利夫 津軽石 昭彦 牧瀬 稔
合同論文指導Ⅵ	2	○	1		○	演習	法学	浅野 俊哉 川島 健治 志村 武 長谷川 新 藤田 潤一郎 本田 直志 三原 園子 宮本 弘典 吉田 仁美 山田 有人
							地域創生	出石 稔 大原 利夫 津軽石 昭彦 牧瀬 稔
合同論文指導Ⅶ	2	○	2	○		演習	法学	浅野 俊哉 川島 健治 志村 武 長谷川 新 藤田 潤一郎 本田 直志 三原 園子 宮本 弘典 吉田 仁美 山田 有人
							地域創生	出石 稔 大原 利夫 津軽石 昭彦 牧瀬 稔

科目	単位	必選別	配当 年次	配当期		講義 形態	コース	担当者
				春	秋			
合同論文指導Ⅶ	2	○	2		○	演習	法学	浅野 俊哉 川島 健治 志村 武 長谷川 新 藤田 潤一郎 本田 直志 三原 園子 宮本 弘典 吉田 仁美 山田 有人
							地域 創生	出石 稔 大原 利夫 津軽石 昭彦 牧瀬 稔
合同論文指導Ⅷ	2	○	3	○		演習	法学	浅野 俊哉 川島 健治 志村 武 長谷川 新 藤田 潤一郎 本田 直志 三原 園子 宮本 弘典 吉田 仁美 山田 有人
							地域 創生	出石 稔 大原 利夫 津軽石 昭彦 牧瀬 稔
合同論文指導Ⅸ	2	○	3	○		演習	法学	浅野 俊哉 川島 健治 志村 武 長谷川 新 藤田 潤一郎 本田 直志 三原 園子 宮本 弘典 吉田 仁美 山田 有人
							地域 創生	出石 稔 大原 利夫 津軽石 昭彦 牧瀬 稔

履修方法及び修了要件

- ① 学位論文作成のため、各自の研究主題に応じて、専攻する専修分野の研究指導科目 6 科目 12 単位を修得すること。
- ② 博士の学位を受けようとする者は、3 年以上在学し、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格すること。

法学研究科 博士後期課程 指導教授一覧

法学		地域創生
浅野 俊哉 川島 健治 志村 武 長谷川 新 藤田 潤一郎	本田 直志 三原 園子 宮本 弘典 吉田 仁美 山田 有人	出石 稔 大原 利夫 津軽石 昭彦 牧瀬 稔

1. 募集人数

研究科	課程	専攻	入学定員
工学研究科	博士前期課程	機械工学専攻	7
		電気工学専攻	7
		情報学専攻	3
		建築学専攻	10
		土木工学専攻	5
		物質生命科学専攻	12
	博士後期課程	建築学専攻	3
		総合工学専攻	専攻全体 (全専修合計) 7
		機械工学専修、電気工学専修、 健康・人間医工学専修、 数物科学専修、情報学専修、 土木工学専修、応用化学専修、 生命科学専修、材料・表面工学専修	

注1〕上記入学定員を一般入学試験、学内推薦入学試験、公募制推薦入学試験（博士前期課程のみ）、社会人入学試験、外国人留学生入学試験（博士前期課程のみ）で募集します。

注2〕博士後期課程総合工学専攻は、募集は専攻で行いますが、出願時に希望した指導教授により専修が決定します。

2. 出願資格

【博士前期課程】

(1) 一般入学試験

P. 4～5 「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験

本学を卒業見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該学科より推薦され、本研究科が出願を認めた者

(3) 公募制推薦入学試験

以下のいずれかに該当し、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って在学しているまたは在学していた学校における学部長（学部長に準ずる者）あるいは指導教員から推薦された者。ただし、本学を卒業した者及び本学を卒業見込みの者は除く

- ① 大学を卒業した者及び卒業見込みの者
- ② 学校教育法の規定により学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者
- ③ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者

(4) 社会人入学試験

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し（ただし、見込みの者を除く）、大学を卒業した後、教育・研究機関、官庁、会社等において、大学院入学時までに2年以上職務に従事したことがある者

(5) 外国人留学生入学試験

外国籍を有し、入学後在留資格（「留学」）を取得できる者で、以下のいずれかに該当する者

- ① 外国人留学生として大学を卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者
- ② 一般入学試験の出願資格（2）～（10）いずれかに該当する者

注〕「出願資格審査」希望者は、P. 5に記載の期日までにアドミッションセンターへ申し出てください。

【博士後期課程】

(1) 一般入学試験

P. 4～5「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験（1月募集のみ）

本学工学研究科博士前期課程を修了見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該専攻より推薦された者

(3) 社会人入学試験

以下のいずれかに該当する者

- ① 一般入学試験の出願資格（1）、（2）のいずれかに該当し、博士前期課程を修了した後、教育・研究機関、官庁、会社等において、大学院入学時までに2年以上職務に従事したことがある者
- ② 一般入学試験の出願資格（6）に該当し、教育・研究機関、官庁、会社等において、大学院入学時までに2年以上職務に従事したことがある者

注〕「出願資格審査」希望者は、P. 5に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

3. 事前協議（対象者のみ）

出願に先立ち、志望専攻の専攻主任または希望する専修科目の指導教授と事前協議を行い、内諾書（出願時に提出）の交付を受けてください。

なお、専攻主任または指導教授より追加資料の提出を求められる場合があります。

事前協議の対象者等詳細は以下の表を確認してください。

★なお、本学理工学部及び建築・環境学部卒業見込みの者又は本学大学院工学研究科博士前期課程修了見込みの者（申込締切日時点において春学期卒業見込み又は修了見込みを含む）は、事前協議の必要はありません。必要書類の提出も不要です。ただし、必ず希望指導教授と相談し、了承を得た上で、内諾書（出願時に提出）の交付を受けてください。

事前協議の結果については、後日「事前協議申込書」に記入したメールアドレス宛にご連絡します。

対象者	必要書類	提出方法／申込締切日	事前協議日／実施方法
博士前期課程の以下に出願する者および博士前期課程に出願する外国籍の者*（ただし、上記★の者は除く） ・一般入学試験 ・公募制推薦入学試験 ・社会人入学試験 ・外国人留学生入学試験	1 事前協議申込書 ※巻末の用紙(1)	提出方法 巻末の「事前協議申込書」の欄外に記載の通り、メールまたは郵送にて 申込締切日 8月募集： 7月2日（水）必着 1月募集： 12月1日（月）必着	必ず事前協議を実施する必要があります。 実施日は個別に日程調整した上で、オンラインにて実施します。
	2 履歴票の写し ※巻末の用紙(2) ※出願時に原本を提出		
	3 研究計画書		
博士後期課程の以下に出願する者および博士後期課程に出願する外国籍の者*（ただし、上記★の者は除く） ・一般入学試験 ・社会人入学試験	1 事前協議申込書 ※巻末の用紙(1)		
	2 履歴票の写し ※巻末の用紙(2) ※出願時に原本を提出		
	3 研究計画書		

※外国籍を有する出願者は、出願する試験区分に関わらず、P.83「4.安全保障輸出管理」に基づき、出願前の希望指導教授との事前協議（上記★に該当する者は希望指導教授との相談）が必須です。

4. 安全保障輸出管理

関東学院大学では、「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づき、「関東学院大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生等の受入れに際し厳格な審査を実施しています。規則事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

参考：経済産業省「安全保障貿易管理」 <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/index.html>

（安全保障輸出管理の「みなし輸出」に係る手続きについて）

安全保障に関する機微技術流出の防止強化として、「みなし輸出管理」の明確化がなされ、関係法令が改正されました（令和4年5月1日施行）。これに伴い、外国籍を有する出願者に対しては、出願前の希望指導教授との事前協議（P.82の★に該当する外国籍の者は希望指導教授との相談）を必須とし、事前確認シートに基づき、特定類型の確認を求めます。

5. 出願書類

各証明書は、原則として出願受付開始日前3ヶ月以内に発行されたものを提出してください。

（国外で発行された証明書については、発行日を問いません）

国外で発行された成績証明書・卒業証明書等は、日本語または英語で記載されたもの（もしくは、公的機関・公的翻訳資格を有する者が行った日本語訳または英語訳が添付されたもの）を提出してください。

【博士前期課程】（※印は本要項巻末の用紙を使用）

出願書類		備考	一般入学試験	学内推薦入学試験	公募制推薦入学試験	社会人入学試験	外国人留学生入学試験
1	志願票	本学受験生サイトより資料請求もしくは、アドミッションセンターの窓口で受け取り P.114～115「志願票記入例」参照	○	○	○	○	○
2	※ 履歴票	巻末の用紙（2）	○	○	○	○	○
3	写真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm（カラー） 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○	○	○
4	成績証明書	注1、3〕	○	—	○	○	○
5	卒業証明書もしくは 卒業見込証明書または 学位（称号）授与証明書	注1、2、3〕 短期大学または高等専門学校の専攻科修了見込みの者は、修了見込証明書及び学位授与申請書 専修学校の専門課程修了（見込み）の者は、修了（見込み）証明書及び高度専門士の称号を取得することを証明する書類	○	—	○	○	○
6	※ 職務経歴書	2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 巻末の表紙（4）をつけて提出	—	—	—	○	—
7	※ 推薦状	在学中または在学していた学校の指導教員（指導教授等）の推薦状 巻末の用紙（12）	—	—	○	—	—
8	内諾書	希望する専修科目の指導教授または専攻主任が作成したもの	○	—	○	○	○
9	資格試験に関する 証明書	一般入学試験の志願者で、英語試験の免除を希望する者は、P.85の試験時間割の英語の備考欄に指定された資格に関する証明書（写し可）を提出すること。	○ （の該当者）	—	—	—	—

- 注1〕婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類（戸籍抄本等）を添付してください。
- 注2〕外国の大学の卒業（見込み）者は、学位授与（見込み）証明書を提出してください。
- 注3〕関東学院大学（大学院・法科大学院含む）を卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者は、上記書類4、5は提出する必要はありません。
- 注4〕出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。
- 注5〕一般入学試験及び外国人留学生入学試験で建築学専攻を受験する者で、建築・都市計画専攻を希望する者は、面接の際、本人の作品であることを証明するもの（例えば、指導教授による証明等）を添付した建築設計作品2点以上を持参してください。
- 注6〕書類が複数ページあるものは、クリップ留めしてください（ホチキス留め不可）。

【博士後期課程】（※印は本要項巻末の用紙を使用）

出願書類		備考	一般入学試験	学内推薦入学試験	社会人入学試験
1	志願票	本学受験生サイトより資料請求もしくは、アドミッションセンターの窓口で受け取り P.114～115「志願票記入例」参照	○	○	○
2	※ 履歴票	巻末の用紙（2）	○	○	○
3	写真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm（カラー） 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○
4	修士課程(博士前期課程)成績証明書	注1、2〕	○	—	○
5	修士課程(博士前期課程)修了証明書または修了見込証明書	注1、2〕	○	—	○
6	修士学位論文またはそれに準ずるもの	写し1部及び要旨5部 ただし、修了見込みの者は、要旨5部を提出すること	○	○	○
7	※ 職務経歴書	社会人入学試験で受験する者のみ提出 2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 巻末の表紙（4）をつけて提出	—	—	○
8	内諾書	希望する専攻科目の指導教授または専攻主任が作成したもの	○	—	○
9	資格試験に関する証明書	一般入学試験の志願者で、英語試験の免除を希望する者は、P.87の試験時間割の英語の備考欄に指定された資格に関する証明書（写し可）を提出すること。	○ （談み者）	—	—

- 注1〕婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類（戸籍抄本等）を添付してください。
- 注2〕関東学院大学大学院・法科大学院を修了した者及び修了見込みの者は、上記書類4、5は提出する必要はありません。
- 注3〕出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。
- 注4〕書類が複数ページあるものは、クリップ留めしてください（ホチキス留め不可）。

6. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、面接、成績証明書及び博士後期課程の場合は修士学位論文等を総合して行います。

7. 試験科目及び試験時間割

【博士前期課程】

機械工学専攻・電気工学専攻・情報学専攻・建築学専攻・土木工学専攻・物質生命科学専攻

(1) 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	9：00～10：00 (60分)	大学が用意する英和・和英辞書の使用可 TOEFL ITP550点（iBT79点）以上または TOEIC (L&R) 730点以上の者は英語の試験を免除する。
専門基礎 科目 (2科目)	各100点 計200点	10：20～12：20 (120分)	出願時に2科目選択（次ページの別表参照） 大学が用意する電卓の使用可
小論文	100点	13：20～14：20 (60分)	
面接	—	14：50～	口頭試問

(2) 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	14：50～	口頭試問

(3) 公募制推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	13：20～14：20 (60分)	
面接	—	14：50～	口頭試問

(4) 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	13：20～14：20 (60分)	
面接	—	14：50～	外国文献読解力を含む口頭試問

(5) 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専門基礎 科目 (2科目)	各100点 計200点	10：20～12：20 (120分)	出願時に2科目選択（次ページの別表参照） 大学が用意する電卓の使用可 語学辞書使用可（ただし、電子辞書を除く）
小論文	100点	13：20～14：20 (60分)	語学辞書使用可（ただし、電子辞書を除く）
面接	—	14：50～	

(別表)

【博士前期課程】専門基礎科目 試験科目表（2科目選択）

専攻	試験科目	備考
機械工学	応用数学 機械工学一般 工業熱力学 材料力学 機械力学 水力学（含む流体工学）	「応用数学」、「機械工学一般」のいずれか1科目と、「工業熱力学」、「材料力学」、「機械力学」、「水力学（含む流体工学）」のうちから1科目を選択
電気工学	電子物性工学専修、 電気エネルギー工学専修、 情報システム工学専修希望者 [必須科目群] 回路理論 電磁気学 [選択科目群] コンピュータシステム 電気エネルギー工学 高電圧工学 電子物性 電波工学	必須科目群から1科目、ならびに選択科目群から1科目を選択
	健康・人間医工学専修希望者 解剖生理学 コンピュータシステム 人間・生体情報学	左記3科目から2科目を選択
	数物科学専修希望者 生物物理学 物理数学 量子力学 解析学 力学 理論電磁気学	左記6科目から2科目を選択
情報学	情報理論 プログラミング（Java） ネットワーク工学 情報数学 コンテンツクリエーション	左記5科目から2科目を選択
建築学	(1) 建築学一般 (2) 建築・都市計画 (3) 建築構造・生産 (4) 建築設備・環境工学	(1)の試験科目を必須とし、さらに(2)～(4)の試験科目から希望する専修に相当する1科目を選択すること。 (1)の試験科目では、「建築・都市計画」、「建築構造・生産」、「建築設備・環境工学」から各2問の合計6問を出題するので、そのうち4問を選択して解答する。
土木工学	(1) 構造工学 (2) 地盤工学 (3) 水理学 (4) コンクリート工学 (5) 防災工学	左記5科目から2科目を選択 (1)は構造力学と簡単な構造動力学も含む (2)は土質力学と地盤防災工学を含む (4)はコンクリート（その他の土木材料含む）に関する構造学及び材料学 (5)は地震防災を中心とする都市防災全般、一部土木工学一般を含む
物質生命科学	(1) 分析化学 (2) 無機化学 (3) 有機化学 (4) 物理化学 (5) 化学工学 (6) 生化学 (7) 分子生物学 (8) 細胞生物学 (9) 微生物学 (10) 生命有機化学	(1)～(10)の試験科目から2科目を選択すること。ただし、生命科学専修を希望する者以外は、(1)～(5)の試験科目から1科目以上、生命科学専修を希望する者は、(6)～(10)の試験科目から1科目以上を必ず選択すること。

注1〕履歴票に記入した試験科目2科目について解答すること。

履歴票に記入した科目以外のものについて解答すると、その部分は無効となる。

【博士後期課程】

建築学専攻・総合工学専攻

(1) 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	9：00～10：00 (60分)	辞書使用不可 TOEFL ITP550点（iBT79点）以上または TOEIC (L&R) 730点以上の者は英語の試験を免除する。 ※総合工学専攻の出題は専修ごとに行う。
面接	—	10：30～	修士学位論文またはそれに準ずるものに基づく口頭試問

(2) 学内推薦入学試験（1月募集のみ）

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	10：30～	修士学位論文またはそれに準ずるものに基づく口頭試問

(3) 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	10：30～	修士学位論文またはそれに準ずるものに基づく口頭試問

8. 試験場（P.11参照）

関東学院大学 金沢八景キャンパス

〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1

◎ 工 学 研 究 科 授 業 科 目 表

機械工学専攻 博士前期課程

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	※専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考		
							春学期	秋学期				
専修科目	計測・制御工学専修	計測・制御工学研究Ⅰ【J/E】	2	△	1	演習	2		教授 工学博士 金田 徹	指導教授		
		計測・制御工学研究Ⅱ【J/E】	2	△	1	演習		2				
	機械情報工学専修	機械情報工学研究Ⅰ【J/E】	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 小松 督	指導教授		
		機械情報工学研究Ⅱ【J/E】	2	△	1	演習		2				
	材料力学・設計工学専修	材料力学・設計工学研究Ⅰ【J/E】	2	△	1	演習	2		2025年度休講			
		材料力学・設計工学研究Ⅱ【J/E】	2	△	1	演習		2				
	流体工学専修	流体工学研究Ⅰ【J/E】	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 宮永 宜典	指導教授		
		流体工学研究Ⅱ【J/E】	2	△	1	演習		2				
	熱工学専修	熱工学研究Ⅰ【J/E】	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 辻森 淳	指導教授		
		熱工学研究Ⅱ【J/E】	2	△	1	演習		2	准教授 博士(工学) 武田 克彦	指導教員		
	材料・生産工学専修	材料・生産工学研究Ⅰ【J/E】	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 柳生 裕聖	指導教授		
		材料・生産工学研究Ⅱ【J/E】	2	△	1	演習		2	准教授 博士(工学) 堀田 智哉	指導教授		
								准教授 博士(工学) 鈴木 伸哉	指導教員			
								講師 博士(工学) 堀内 義夫	指導教員			
必修科目	全専修	文献研究ⅠA【J/E】	1	○	1	演習	2		教授 工学博士 金田 徹	指導教授		
		文献研究ⅠB【J/E】	2	○	1	演習		2			教授 博士(工学) 小松 督	指導教授
		文献研究ⅡA【J/E】	1	○	2	演習	2				教授 博士(工学) 辻森 淳	指導教授
		文献研究ⅡB【J/E】	2	○	2	演習		2			教授 博士(工学) 柳生 裕聖	指導教授
		研究実験ⅠA【J/E】	1	○	1	実験	2				教授 博士(工学) 宮永 宜典	指導教授
		研究実験ⅠB【J/E】	2	○	1	実験		4			准教授 博士(工学) 堀田 智哉	指導教授
		研究実験ⅡA【J/E】	1	○	2	実験	2				准教授 博士(工学) 武田 克彦	指導教員
		研究実験ⅡB【J/E】	2	○	2	実験		4			准教授 博士(工学) 鈴木 伸哉	指導教員
								講師 博士(工学) 堀内 義夫	指導教員			

科目名についての注意事項

【J/E】が表記されている科目は、授業の一部を英語で行う。

※出願書類の「履歴票」の“工学研究科希望専修”欄は、こちらを記入してください。

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
選択科目	全専修	機械工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 小松 督 非常勤講師 博士(工学) 野口 昭治	
		機械工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2	教授 博士(工学) 辻森 淳 非常勤講師 工学博士 野々下 知泰	
		精密計測システム特論	2		1・2	講義	2		教授 工学博士 金田 徹	
		計測情報処理特論	2		1・2	講義		2		
		機械情報工学特論【J/E】	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 小松 督	
		ロボット工学特論【J/E】	2		1・2	講義		2		
		システム工学特論Ⅰ【J/E】	2		1・2	講義	2			
		システム工学特論Ⅱ【J/E】	2		1・2	講義		2		
		機械振動学特論【J/E】	2		1・2	講義		2		
		機素材料特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 堀田 智哉	
		機素材料特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		設計工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		非常勤講師 博士(工学) 野口 昭治	
		設計工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		材料試験・評価特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 堀田 智哉	
		材料試験・評価特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		トライボロジー特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 宮永 宜典	
		トライボロジー特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		流体潤滑特論Ⅰ	2		1・2	講義	2			
		流体潤滑特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		内燃機関特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 武田 克彦	
		内燃機関特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		流体工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		非常勤講師 工学博士 野々下 知泰	
		流体工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		熱工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 辻森 淳	
		熱工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		マイクロ流体工学特論【J/E】	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 柳生 裕聖	旧科目名 「圧縮性流体工学特論」
		機械工作法特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度休講	
		機械工作法特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		機械材料特論Ⅰ【J/E】	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 柳生 裕聖	
		機械材料特論Ⅱ【J/E】	2		1・2	講義		2		
		生産管理特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 博士(工学) 野口 昭治	
		溶融加工工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度休講	
		溶融加工工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		材料・加工物理学特論Ⅰ【J/E】	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 柳生 裕聖	
		材料・加工物理学特論Ⅱ【J/E】	2		1・2	講義		2		
		モールド設計特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 鈴木 伸哉	
		モールド設計特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		材料表面科学特論Ⅰ【J/E】	2		1・2	講義	2		講師 博士(工学) 堀内 義夫	新設
		材料表面科学特論Ⅱ【J/E】	2		1・2	講義		2		

科目名についての注意事項

【J/E】が表記されている科目は、授業の一部を英語で行う。

電気工学専攻 博士前期課程

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	※専修	科目	単位	必修 選別	配当 年次	授業 形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
専修科目	電子物性工学専修	電子物性工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 島田 和宏	指導教授
		電子物性工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		
	電気エネルギー工学専修	電気エネルギー工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 植原 弘明	指導教授
		電気エネルギー工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2	教授 博士(工学) 中野 幸夫	指導教授
	情報システム工学専修	情報システム工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 学術博士 銭 飛	指導教授
		情報システム工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2	准教授 博士(工学) 石坂 雄平	指導教授
	健康・人間医工学専修	健康・人間医工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 簗 弘幸	指導教授
		健康・人間医工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2	教授 博士(体育科学) 高橋 健太郎	指導教授
	数物科学専修	数物科学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 工学博士 山田 泰一	指導教授
									准教授 博士(工学) 北村 美一郎	指導教授
									教授 博士(理学) 船木 靖郎	指導教授
		数物科学研究Ⅱ	2	△	1	演習	2		教授 博士(理学) 中嶋 大	指導教授
									准教授 博士(理学) 古澤 峻	指導教授
									准教授 博士(理学) 大谷 信一	指導教員
						准教授 博士(理学) 兼子 裕大	指導教員			
必修科目	全専修	文献研究Ⅰ A	1	○	1	演習	2		教授 学術博士 銭 飛	指導教授
		文献研究Ⅰ B	2	○	1	演習		2	教授 工学博士 山田 泰一	指導教授
		文献研究Ⅱ A	1	○	2	演習	2		教授 博士(工学) 簗 弘幸	指導教授
		文献研究Ⅱ B	2	○	2	演習		2	教授 博士(工学) 島田 和宏	指導教授
		研究実験Ⅰ A	1	○	1	実験	2		教授 博士(工学) 植原 弘明	指導教授
		研究実験Ⅰ B	2	○	1	実験		4	教授 博士(工学) 中野 幸夫	指導教授
		研究実験Ⅱ A	1	○	2	実験	2		教授 博士(体育科学) 高橋 健太郎	指導教授
		研究実験Ⅱ B	2	○	2	実験		4	准教授 博士(工学) 北村 美一郎	指導教授
									教授 博士(理学) 船木 靖郎	指導教授
									教授 博士(工学) 石坂 雄平	指導教授
							教授 博士(理学) 中嶋 大	指導教授		
							准教授 博士(理学) 古澤 峻	指導教授		
							准教授 博士(理学) 大谷 信一	指導教員		
							准教授 博士(理学) 兼子 裕大	指導教員		

※出願書類の「履歴票」の“工学研究科希望専修”欄は、こちらを記入してください。

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
選択科目	全専修	電波工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度より廃止	
		電波工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		電子デバイス工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度より廃止	
		電子デバイス工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		分子エレクトロニクス特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度より廃止	
		分子エレクトロニクス特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		計算物性工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 島田 和宏	
		計算物性工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		スマートグリッド工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 中野 幸夫	
		スマートグリッド工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		高電圧工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 植原 弘明	
		高電圧工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		インテリジェントシステム制御特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度より廃止	
		インテリジェントシステム制御特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		並列分散システム工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 学術博士 銭 飛	
		並列分散システム工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		光デバイス工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 石坂 雄平	
		光デバイス工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		情報システム運用学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度より廃止	
		情報システム運用学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		神経工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 簗 弘幸	
		神経工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		生体計測工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度より廃止	
		生体計測工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		バイオメカニクス特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(体育科学) 高橋 健太郎	
		バイオメカニクス特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		健康医科学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度より廃止	
		健康医科学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必修 選別	配当 年次	授業 形態	週時間数		担当者	備考	
							春学期	秋学期			
選択科目	全専修	原子核物理学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 工学博士 山田 泰一		
		原子核物理学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		神経生物物理学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 北村 美一郎		
		神経生物物理学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		量子物理学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(理学) 船木 靖郎		
		量子物理学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		高エネルギー天文学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(理学) 中嶋 大		旧科目名 「宇宙物理学特論Ⅰ」
		高エネルギー天文学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		理論宇宙物理学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(理学) 古澤 峻		
		理論宇宙物理学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		整数論特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度より廃止		
		整数論特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		可換代数学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度より廃止		
		可換代数学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		微分幾何学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度より廃止		
		微分幾何学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		代数幾何学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(理学) 大谷 信一		
		代数幾何学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		数理解析学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(理学) 兼子 裕大		
		数理解析学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			

情報学専攻 博士前期課程

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	※専修	科目	単位	必修 選別	配当 年次	授業 形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
専修科目	情報科学専修	情報科学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 塚田 恭章 准教授 博士(理学) 本橋 友江 准教授 博士(学術) 大墨 礼子	指導教授 指導教員 指導教員
		情報科学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		
	情報通信工学専修	情報通信工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 工学博士 水井 潔 准教授 博士(学術) 永長 知孝 講師 博士(工学) 平野 晃昭	指導教授 指導教員 指導教員
		情報通信工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		
	情報システムデザイン専修	情報システムデザイン研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 元木 誠 教授 博士(工学) 平澤 一樹	指導教授 指導教授
		情報システムデザイン研究Ⅱ	2	△	1	演習		2	准教授 博士(情報学) 海老根 秀之 教授 博士(デザイン工学) 小林 和彦	指導教員 指導教員
	情報メディア工学専修	情報メディア工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2024年度より廃止			
		情報メディア工学研究Ⅱ	2	△	1	演習				
	学際情報学専修	学際情報学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 工学博士 吉川 厚	指導教授
		学際情報学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		
必修科目	全専修	文献研究ⅠA	1	○	1	演習	2		教授 工学博士 水井 潔 教授 博士(工学) 元木 誠	指導教授 指導教授
		文献研究ⅠB	2	○	1	演習		2	教授 博士(工学) 塚田 恭章 教授 工学博士 吉川 厚	指導教授 指導教授
		文献研究ⅡA	1	○	2	演習	2		教授 博士(工学) 平澤 一樹 准教授 博士(理学) 本橋 友江	指導教授 指導教員
		文献研究ⅡB	2	○	2	演習		2	准教授 博士(学術) 永長 知孝 准教授 博士(情報学) 海老根 秀之	指導教員 指導教員
		研究実験ⅠA	1	○	1	実験	2		教授 博士(デザイン工学) 小林 和彦 教授 博士(学術) 大墨 礼子	指導教員 指導教員
		研究実験ⅠB	2	○	1	実験		4	講師 博士(工学) 平野 晃昭	指導教員
		研究実験ⅡA	1	○	2	実験	2			
		研究実験ⅡB	2	○	2	実験		4		

※出願書類の「履歴票」の“工学研究科希望専修”欄は、こちらを記入してください。

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
選択科目	全専修	ユビキタス情報技術特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 工学博士 水井 潔	
		ユビキタス情報技術特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		ネットワークセキュリティ特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 塚田 恭章	
		ネットワークセキュリティ特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		情報ネットワーク特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(学術) 永長 知孝	
		情報ネットワーク特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		情報通信システム工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2025年度より廃止			
		情報通信システム工学特論Ⅱ	2		1・2	講義				
		組込みシステム・ロボット学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 元木 誠	
		組込みシステム・ロボット学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		認知科学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 工学博士 吉川 厚	
		認知科学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		マイコンシステム特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 平澤 一樹	
		マイコンシステム特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		医用情報工学特論	2		1・2	講義	2025年度より廃止			
		映像メディア工学特論	2		1・2	講義	2		准教授 博士(情報学) 海老根 秀之	
		コンテンツクリエイション特論	2		1・2	講義		2		
		情報芸術特論	2		1・2	講義	2		教授 修士(デザイン工学) 小林 和彦	
		映像表現特論	2		1・2	講義		2		
		コンピューターグラフィックス特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		講師 博士(工学) 平野 晃昭	
		コンピューターグラフィックス特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		グラフ理論応用特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(理学) 本橋 友江	
		グラフ理論応用特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		計算特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(学術) 大墨 礼子	
		計算特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		知能システム特論Ⅰ	2		1・2	講義	2025年度より廃止			
		知能システム特論Ⅱ	2		1・2	講義				
		ソフトウェア品質管理特論	2		1・2	講義	2024年度より廃止			

建築学専攻 博士前期課程

設計・計画系

△印：専修科目

○印：必修科目

無印：選択科目

種別	※専修	科目	単位	必修 選別	配当 年次	授業 形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
専修科目		建築・都市計画研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(美術) 黒田 泰介 教授 博士(工学) 古賀 紀江 教授 修士(工学) 柳澤 潤 准教授 ML A 中津 秀之 准教授 修士(工学) 粕谷 淳司	指導教授 指導教授 指導教授 指導教員 指導教授
		建築・都市計画研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		
必修科目	建築・都市 計画専修	文献研究ⅠA	1	○	1	演習	2		教授 博士(美術) 黒田 泰介 教授 博士(工学) 古賀 紀江 教授 修士(工学) 柳澤 潤 准教授 ML A 中津 秀之 准教授 修士(工学) 粕谷 淳司	指導教授 指導教授 指導教授 指導教員 指導教授 指導教授 指導教員 指導教授
		文献研究ⅠB	2	○	1	演習		2		
		文献研究ⅡA	1	○	2	演習	2			
		文献研究ⅡB	2	○	2	演習		2		
		研究演習実験ⅠA	1	○	1	実験	2			
		研究演習実験ⅠB	2	○	1	実験		4		
		研究演習実験ⅡA	1	○	2	実験	2			
		研究演習実験ⅡB	2	○	2	実験		4		

構造・生産系

△印：専修科目

○印：必修科目

無印：選択科目

種別	※専修	科目	単位	必修 選別	配当 年次	授業 形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
専修科目		建築構造・生産研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 工学博士 高島 英幸 教授 博士(工学) 渡部 洋 教授 博士(工学) 神戸 渡 准教授 博士(工学) 李 祥準 講師 博士(学術) 藤沼 智洋	指導教授 指導教授 指導教授 指導教員 指導教員
		建築構造・生産研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		
必修科目	建築構造・ 生産専修	文献研究ⅠA	1	○	1	演習	2		教授 工学博士 高島 英幸 教授 博士(工学) 渡部 洋 教授 博士(工学) 神戸 渡 准教授 博士(工学) 李 祥準 講師 博士(学術) 藤沼 智洋	指導教授 指導教授 指導教授 指導教員 指導教授 指導教授 指導教員 指導教授
		文献研究ⅠB	2	○	1	演習		2		
		文献研究ⅡA	1	○	2	演習	2			
		文献研究ⅡB	2	○	2	演習		2		
		研究実験ⅠA	1	○	1	実験	2			
		研究実験ⅠB	2	○	1	実験		4		
		研究実験ⅡA	1	○	2	実験	2			
		研究実験ⅡB	2	○	2	実験		4		

※出願書類の「履歴票」の“工学研究科希望専修”欄は、こちらを記入してください。

種別	※専修	科目	単位	必修 選別	配当 年次	授業 形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
専修科目		建築設備・環境工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 工学博士 大塚 雅之 教授 博士(工学) 遠藤 智行 教授 博士(学術) 山口 温	指導教授 指導教授 指導教授
		建築設備・環境工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		
必修科目	建築設備・ 環境工学専修	文献研究ⅠA	1	○	1	演習	2		教授 工学博士 大塚 雅之 教授 博士(工学) 遠藤 智行 教授 博士(学術) 山口 温	指導教授 指導教授 指導教授
		文献研究ⅠB	2	○	1	演習		2		
		文献研究ⅡA	1	○	2	演習	2			
		文献研究ⅡB	2	○	2	演習		2		
		研究実験ⅠA	1	○	1	実験	2			
		研究実験ⅠB	2	○	1	実験		4		
		研究実験ⅡA	1	○	2	実験	2			
		研究実験ⅡB	2	○	2	実験		4		

※出願書類の「履歴票」の“工学研究科希望専修”欄は、こちらを記入してください。

選択科目	全専修	公共建築・公共空間特論	2		1・2	講義	2		教授 修士(工学) 柳澤 潤	旧科目名 「建築計画 特論A」
		建築計画特論	2		1・2	講義		2	教授 博士(工学) 古賀 紀江	旧科目名 「建築計画 特論B」
		行動デザイン特論	2		1・2	講義		2	2025年度休講	
		都市・地域計画特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 修士(都市工学) 片岡 公一	
		建築意匠特論	3		1・2	講義		4	准教授 修士(工学) 粕谷 淳司	
		建築・都市デザイン方法特論	2		1・2	講義	2		2025年度休講	
		日本と東アジアの建築と空間特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 修士(工学) 高野 恵子	旧科目名 「日本近住 宅史特論」
		ランドスケープ特論	2		1・2	講義	2		准教授 M L A 中津 秀之	
		建築再生計画特論	2		1・2	講義		2	教授 博士(美術) 黒田 泰介	
		デザINSTAジオⅠ	2		1・2	講義	4		教授 修士(工学) 柳澤 潤 非常勤講師 博士(工学) 酒谷 粹将 非常勤講師 工学修士 村松 基安	
		デザINSTAジオⅡ	2		1・2	講義		4	准教授 修士(工学) 粕谷 淳司 教授 修士(工学) 柳澤 潤 非常勤講師 修士(工学) 高橋 堅	
		建築構造計画特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 博士(工学) 瀧本 哲也	
		建築構造力学特論	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 渡部 洋	
		建築弾塑性学特論	2		1・2	講義		2	教授 工学博士 高島 英幸	
		建築構造設計特論	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 神戸 渡	
		建築構法学特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 博士(工学) 平井 健嗣	
		ファシリティマネジメント特論	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 李 祥準	
		建築施工学特論A	2		1・2	講義	2			
		建築生産マネジメント特論	2		1・2	講義		2		
		建築材料学特論A	2		1・2	講義	2		講師 博士(学術) 藤沼智洋	
		建築材料学特論B	2		1・2	講義	2025年度より廃止			
		建築振動学特論A	2		1・2	講義	2		2025年度休講	
		建築振動学特論B	2		1・2	講義		2	非常勤講師 工学修士 高坂 隆一	
		建築構造設計法令特論	2		1・2	講義	2		非常勤講師 学士(工学) 北村 丈晴	旧科目名 「鉄骨構造設計 特論」

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
選択科目	全専修	地震工学特論	2		1・2	講義	2		2025年度休講	
		複合構造特論	2		1・2	講義		2	2025年度休講	
		建築高耐久化学工学特論	2		1・2	講義	2		非常勤講師 博士(工学) 加藤 直樹	
		建築構造性能設計特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 博士(工学) 大村 哲矢	
		建築環境計画特論	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 遠藤 智行	
		環境衛生工学特論	2		1・2	講義		2	2025年度休講	
		建築熱・光環境工学特論	2		1・2	講義		2	教授 博士(学術) 山口 温	
		建築音響計画特論	2		1・2	講義	2		非常勤講師 博士(工学) 笹尾 博行	
		建築設備機械特論	2		1・2	講義		2	2025年度休講	
		空気調和計画特論	2		1・2	講義	2		非常勤講師 商船学士 鳥越 順之	
		建築給排水設備工学特論	2		1・2	講義	2		非常勤講師 博士(工学) 稲田 朝夫 非常勤講師 学士(工学) 大桃 元	
		建築給排水設備計画特論	2		1・2	講義		2	教授 工学博士 大塚 雅之	
		建築設備自動制御特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 博士(工学) 柴田 克彦	
		建築電気設備工学特論	2		1・2	講義		2	2025年度休講	
		環境管理特論	2		1・2	講義	2		2025年度休講	
		建築防災工学特論	2		1・2	講義		2	2025年度休講	
		建築士特論	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 古賀 紀江 教授 工学博士 高島 英幸 准教授 修士(工学) 粕谷 淳司 教授 博士(学術) 山口 温 准教授 博士(工学) 李 祥準	オムニバス 形式 夏期集中
		インターンシップ*	4	1・2	実習		春		教授 博士(工学) 遠藤 智行	春期集中
							秋		教授 博士(工学) 渡部 洋 准教授 M L A 中津 秀之	夏期集中

* インターンシップ履修上の注意事項

2～3月に実習体験をした者は、翌年度4月に「【春学期科目】インターンシップ（春期集中）」または「【秋学期科目】インターンシップ（秋期集中）」を履修登録する。

8～9月に実習体験を予定する者は、あらかじめ同年4月に「【秋学期科目】インターンシップ（秋期集中）」を履修登録する。

なお、春期集中科目と秋期集中科目を両方履修登録することはできないので、充分履修計画を立てること。

土木工学専攻 博士前期課程

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	※専修	科目	単位	必修 選別	配当 年次	授業 形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
専修科目	構造工学専修	構造工学研究Ⅰ【J/E】	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 北原 武嗣	指導教授
		構造工学研究Ⅱ【J/E】	2	△	1	演習		2	教授 博士(工学) 中藤 誠二	指導教授
	コンクリート工学専修	コンクリート工学研究Ⅰ【J/E】	2	△	1	演習	2		教授 工学博士 出雲 淳一	指導教授
		コンクリート工学研究Ⅱ【J/E】	2	△	1	演習		2		
	地盤工学専修	地盤工学研究Ⅰ【J/E】	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 規矩 大義	指導教授
		地盤工学研究Ⅱ【J/E】	2	△	1	演習		2		
	水工学専修	水工学研究Ⅰ【J/E】	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 福谷 陽	指導教授
		水工学研究Ⅱ【J/E】	2	△	1	演習		2		
	防災工学専修	防災工学研究Ⅰ【J/E】	2	△	1	演習	2		教授 理学修士 前田 直樹	指導教授
		防災工学研究Ⅱ【J/E】	2	△	1	演習		2	教授 博士(工学) 鳥澤 一晃	指導教授
必修科目	全専修	文献研究ⅠA【J/E】	1	○	1	演習	2		教授 博士(工学) 北原 武嗣 教授 博士(工学) 中藤 誠二 教授 工学博士 出雲 淳一 教授 博士(工学) 規矩 大義 教授 理学修士 前田 直樹 教授 博士(工学) 福谷 陽 教授 博士(工学) 鳥澤 一晃	指導教授
		文献研究ⅠB【J/E】	2	○	2	演習		2		指導教授
		文献研究ⅡA【J/E】	1	○	1	演習	2			指導教授
		文献研究ⅡB【J/E】	2	○	2	演習		2		指導教授
		研究実験ⅠA【J/E】	1	○	1	実験	2			指導教授
		研究実験ⅠB【J/E】	2	○	1	実験		4		指導教授
		研究実験ⅡA【J/E】	1	○	1	実験	2			指導教授
		研究実験ⅡB【J/E】	2	○	2	実験		4		指導教授

科目名についての注意事項

【J/E】が表記されている科目は、授業の一部を英語で行う。

※出願書類の「履歴票」の“工学研究科希望専修”欄は、こちらを記入してください。

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考	
							春学期	秋学期			
選択科目	全専修	耐震構造学特論【J／E】	2		1・2	講義		2	教授 博士(工学) 北原 武嗣	旧科目名 「構造設計学特論」	
		構造設計学特論【J／E】	2		1・2	講義	2				
		橋梁工学特論	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 中藤 誠二		
		風工学特論	2		1・2	講義		2			
		コンクリート工学特論	2		1・2	講義	2		教授 工学博士 出雲 淳一		
		コンクリート構造特論	2		1・2	講義		2			
		地盤耐震工学特論	2		1・2	講義		2	2025年度休講		
		地盤防災工学特論【J／E】	2		1・2	講義		2	客員教授 工学博士 東畑 郁生		
		Advanced Study in Geotechnical Engineering	2		1・2	講義	2023年度より廃止				
		地震地盤工学特論【J／E】	2		1・2	講義	2		客員教授 工学博士 東畑 郁生		
		地盤工学特論【J／E】	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 規矩 大義	旧科目名 「地盤工学特論」	
		地震学特論	2		1・2	講義	2		教授 理学修士 前田 直樹		
		地震工学特論	2		1・2	講義		2			
		Advanced Engineering for Earthquake Disaster Prevention	2		1・2	講義	2023年度より廃止				
		地震防災工学特論【J／E】	2		1・2	講義	2		2025年度休講		旧科目名 「地震防災工学特論」
		Advanced Study in Geotechnical Numerical Analysis	2		1・2	講義	2023年度より廃止				
		Advanced Study in Aseismic Engineering	2		1・2	講義	2023年度より廃止				
		災害リスク工学特論	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 鳥澤 一晃		
		都市防災学特論	2		1・2	講義		2			
		建設マネジメント工学特論	2		1・2	講義		2	客員教授 博士(工学) 関 雅樹		
		海岸工学特論	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 福谷 陽		
		流体力学特論	2		1・2	講義		2			
		Advanced Port Planning	2		1・2	講義	2023年度より廃止				
		インターンシップⅠ【J／E】	2		1・2	実習	春		教授 博士(工学) 規矩 大義	夏期集中 旧科目名 「インターンシップⅠ」	
		インターンシップⅡ【J／E】	2		1・2	実習		秋		冬期集中 旧科目名 「インターンシップⅡ」	

科目名についての注意事項

【J/E】が表記されている科目は、授業の一部を英語で行う。

英語で表記されている科目は、授業を全て英語で行う。

物質生命科学専攻 博士前期課程

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	※専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
専修科目	有機・高分子化学専修	有機・高分子化学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 香西 博明	指導教授
		有機・高分子化学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		
	薬品化学専修	薬品化学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		准教授 博士(理学) 山平 多恵子	指導教授
		薬品化学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		
	無機材料・固体物理化学専修	無機材料・固体物理化学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 濱上 寿一	指導教授
		無機材料・固体物理化学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		
	エレクトロニクス実装工学専修	電気化学・表面工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		2025年度休講	
		電気化学・表面工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		
	生命科学専修	生命科学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(人間・環境学) 飯田 博一	指導教授
									教授 博士(農学) 海老原 充	指導教授
									教授 博士(理学) 近藤 陽一	指導教授
		生命科学研究Ⅱ	2	△	1	演習	2		教授 博士(理学) 清水 由巳	指導教授
									教授 博士(歯学) 尾之上 さくら	指導教授
									講師 博士(理学) 新家 弘也	指導教員
	環境工学専修	環境工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		准教授 博士(工学) 鎌田 素之	指導教授
		環境工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2	准教授 博士(理学) 友野 和哲	指導教員
	材料・表面工学専修	材料・表面工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 田代 雄彦	指導教授
		材料・表面工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2	教授 博士(工学) 盧 柱亨	指導教授
必修科目	全専修	文献研究ⅠA	1	○	1	演習	2		教授 博士(工学) 香西 博明	指導教授
		文献研究ⅠB	2	○	1	演習		2	准教授 博士(理学) 山平 多恵子	指導教授
		文献研究ⅡA	1	○	2	演習	2		教授 博士(工学) 濱上 寿一	指導教授
		文献研究ⅡB	2	○	2	演習		2	教授 博士(農学) 海老原 充	指導教授
		研究実験ⅠA	1	○	1	実験	2		教授 博士(人間・環境学) 飯田 博一	指導教授
		研究実験ⅠB	2	○	1	実験		4	教授 博士(理学) 清水 由巳	指導教授
		研究実験ⅡA	1	○	2	実験	2		教授 博士(工学) 近藤 陽一	指導教授
		研究実験ⅡB	2	○	2	実験		4	准教授 博士(工学) 鎌田 素之	指導教授
									教授 博士(歯学) 尾之上 さくら	指導教授
									教授 博士(工学) 田代 雄彦	指導教授
									教授 博士(工学) 盧 柱亨	指導教授
									准教授 博士(理学) 友野 和哲	指導教員
									講師 博士(理学) 新家 弘也	指導教員
									講師 博士(生物資源科学) 中山 良一	指導教員

※出願書類の「履歴票」の“工学研究科希望専修”欄は、こちらを記入してください。

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必修 別	配当 年次	授業 形態	週時間数		担当者	備考	
							春学期	秋学期			
選択科目	全専修	有機合成化学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 香西 博明	隔年開講 (奇数年)	
		有機合成化学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		機能性高分子材料化学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度休講	隔年開講 (偶数年)	
		機能性高分子材料化学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		薬品化学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(理学) 山平 多恵子		
		薬品化学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		無機合成化学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 濱上 寿一		
		無機合成化学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		分光化学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度休講		
		分光化学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		先進表面工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度休講		
		先進表面工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		電気化学システム特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度休講		
		電気化学システム特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		エレクトロニクス実装工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度休講		
		エレクトロニクス実装工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		電気化学分析システム特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(理学) 友野 和哲		
		電気化学分析システム特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		分子生物学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2017年度より廃止				
		分子生物学特論Ⅱ	2		1・2	講義					
		生物物理学特論Ⅰ	2		1・2	講義	電気工学専攻開講科目「神経生物物理学特論Ⅰ」で振替				
		生物物理学特論Ⅱ	2		1・2	講義	電気工学専攻開講科目「神経生物物理学特論Ⅱ」で振替				
		糖脂質科学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度休講		
		糖脂質科学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		化学感覚特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(農学) 海老原 充		
		化学感覚特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		生命医薬科学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(人間・環境学) 飯田 博一		
		生命医薬科学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		真菌学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(理学) 清水 由巳		
		真菌学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		植物生理学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(理学) 近藤 陽一		
		植物生理学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		医療衛生学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(歯学) 尾之上 さくら		
		医療衛生学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		藻類バイオマスト特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		講師 博士(理学) 新家 弘也		
		藻類バイオマスト特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		生命化学工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2020年度より廃止				
		生命化学工学特論Ⅱ	2		1・2	講義					

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考		
							春学期	秋学期				
選択科目	全専修	化学工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		講師 博士(生物資源科学) 中山 良一			
		化学工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2				
		水環境工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 鎌田 素之			
		水環境工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2				
		環境化学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度休講			
		環境化学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2				
		無機機能材料特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		非常勤講師 理学博士 大柿 真毅			
		無機機能材料特論Ⅱ	2		1・2	講義		2				
		セラミックス特論	2		1・2	講義	2		2025年度休講			
		触媒化学特論	2		1・2	講義		2				
		化学システム工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度休講			
		化学システム工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2				
		環境システム化学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 佐野 慶一郎			
		環境システム化学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2				
		環境材料工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		非常勤講師 博士(工学) 大越 昌幸			
		環境材料工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2				
		半導体材料工学特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 博士(工学) 笠井 直記			
		外国語講読特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2025年度休講			
		外国語講読特論Ⅱ	2		1・2	講義		2				
		インターンシップ	2		1・2	実習		秋	2025年度休講		夏期集中	
				材料・表面工学特論	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 田代 雄彦 教授 博士(工学) 香西 博明 教授 博士(工学) 盧 柱亨	
				機能性薄膜特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 田代 雄彦	
				機能性薄膜特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
				電気・電子材料工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 盧 柱亨	
				電気・電子材料工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		

建築学専攻 博士後期課程

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	※科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
						春学期	秋学期		
専修科目	建築・都市計画学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 古賀 紀江	指導教授
	建築再生計画特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(美術) 黒田 泰介	指導教授
	建築都市デザイン学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 修士(工学) 柳澤 潤	指導教授
	建築構造学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 工学博士 高島 英幸	指導教授
	建築材料・施工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	2025年度休講	
	建築設備・環境工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 工学博士 大塚 雅之 教授 博士(工学) 遠藤 智行	指導教授 指導教授
選択科目	建築計画特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 古賀 紀江	
	都市・地域計画特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2025年度休講	
	建築デザイン特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 修士(工学) 柳澤 潤	
	建築再生計画特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(美術) 黒田 泰介	
	建築史特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2025年度休講	
	建築構造学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 渡部 洋	
	建築構造計画特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 神戸 渡	
	建築材料特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2025年度休講	
	建築施工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2025年度休講	
	環境設備工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(学術) 山口 温	
	都市衛生工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2025年度休講	
	人間環境工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2025年度休講	
	建築電気設備工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2025年度休講	
	建築給排水設備工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 工学博士 大塚 雅之	
	建築弾塑性論特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 工学博士 高島 英幸	
	建築空調設備工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 遠藤 智行	

※出願書類の「履歴票」の“工学研究科希望専修”欄は、こちらを記入してください。

総合工学専攻 博士後期課程

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	※専修	科目	単位	必修 別	配当 年次	授業 形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
専 修 科 目	機械工学 専修	計測・制御工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 工学博士 金田 徹	指導教授
		機械情報工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 小松 督	指導教授
		流体工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 宮永 宜典	指導教授
		熱工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 辻森 淳	指導教授
		材料・生産工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 柳生 裕聖	指導教授
	電気工学 専修	電子物性工学特殊研究	4	△	1	演習	2025年度より廃止			
		計算物性工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 島田 和宏	指導教授
		高電圧工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 植原 弘明	指導教授
		電気エネルギー工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 中野 幸夫	指導教授
		情報システム工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 学術博士 銭 飛	指導教授
		生体情報学特殊研究	4	△	1	演習	2025年度より廃止			
	健康・人間 医工学専修	生体情報学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 簗 弘幸	指導教授
	数物科学 専修	原子核物理学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 工学博士 山田 泰一	指導教授 旧科目名 「数物科学 特殊研究」
		量子多体系物理学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(理学) 船木 靖郎	指導教授
		高エネルギー天文学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(理学) 中嶋 大	指導教授
	情報学 専修	電波・通信工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 工学博士 水井 潔	指導教授
		情報セキュリティ特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 塚田 恭章	指導教授
		情報システムデザイン特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 元木 誠	指導教授
		学際情報学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 工学博士 吉川 厚	指導教授
	土木工学 専修	構造工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 北原 武嗣 教授 博士(工学) 中藤 誠二	指導教授 指導教授
		コンクリート工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 工学博士 出雲 淳一	指導教授
		地盤工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 規矩 大義	指導教授
		水工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 福谷 陽	指導教授 新設
		防災工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 鳥澤 一晃	指導教授
	応用化学 専修	無機物質化学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 濱上 寿一	指導教授
		表面物質化学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	2025年度休講	
	生命科学 専修	生命機能科学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	2025年度休講	
		生命有機化学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(人間・環境学) 飯田 博一	指導教授
		植物分子生物学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(理学) 近藤 陽一	指導教授
		真菌資源科学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(理学) 清水 由巳	指導教授
	材料・表面工学 専修	材料・表面工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 田代 雄彦 教授 博士(工学) 盧 柱亨	指導教授 指導教授
		有機物質化学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 香西 博明	指導教授

※出願書類の「履歴票」の“工学研究科希望専修”欄は、こちらを記入してください。

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	科目	単位	必修 別	配当 年次	授業 形態	週時間数		担当者	備考
						春学期	秋学期		
選択科目	超精密計測情報システム特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 工学博士 金田 徹	
	空気調和設備工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2018年度より廃止			
	ロボット工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 小松 督	
	トライボロジー特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 宮永 宜典	
	熱工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 辻森 淳	
	材料・加工物理学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 柳生 裕聖	
	電子デバイス工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2025年度より廃止			
	分子エレクトロニクス工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2025年度より廃止			
	計算物性工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 島田 和宏	
	高電圧工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 植原 弘明	
	大規模分散システム構成論特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 学術博士 錢 飛	
	生体情報学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 箕 弘幸	
	電気エネルギー工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 中野 幸夫	
	光デバイス工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	准教授 博士(工学) 石坂 雄平	
	原子核物理学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 工学博士 山田 泰一	
	量子多体系物理学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(理学) 船木 靖郎	
	高エネルギー天文学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(理学) 中嶋 大	
	理論天体物理学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	准教授 博士(理学) 古澤 峻	
	通信システム工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2025年度より廃止			
	情報通信工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 工学博士 水井 潔	
	情報セキュリティ特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 塚田 恭章	
	組込みシステム・ロボット学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 元木 誠	
	学際情報学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 工学博士 吉川 厚	
	センサ応用システム工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 平澤 一樹	
	耐震構造学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 北原 武嗣	
	風工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 中藤 誠二	
	コンクリート工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 工学博士 出雲 淳一	
	地盤工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 規矩 大義	
	地震工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 理学修士 前田 直樹	
	水防災工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 福谷 陽	
	都市防災学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 鳥澤 一晃	
	無機素材化学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 濱上 寿一	
	物性化学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2025年度休講	
	エレクトロニクス実装特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2025年度休講	
	化学工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2025年度休講	
	水環境特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	准教授 博士(工学) 鎌田 素之	
	環境化学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2025年度休講	
	触媒化学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2025年度休講	

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
						春学期	秋学期		
選択科目	生命機能科学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2025年度休講	
	生命有機化学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(人間・環境学) 飯田 博一	
	動物分子生物学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(農学) 海老原 充	
	植物分子生物学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(理学) 近藤 陽一	
	真菌資源科学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(理学) 清水 由巳	
	動物細胞生物学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(歯学) 尾之上 さくら	
	材料・表面工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2025年度休講	旧科目名「材料・表面工学特殊講義Ⅰ」
	材料・表面工学特殊講義Ⅱ	4		1・2・3	講義	2025年度より廃止			
	高分子材料化学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 香西 博明	
	表面処理工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 田代 雄彦	
	表面解析工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2025年度休講	
	電気・電子材料工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 盧 柱亨	

1. 募集人数

研究科	課程	専攻	入学定員
看護学研究科	修士課程	看護学専攻	5

注] 上記入学定員を一般入学試験、学内推薦入学試験、社会人入学試験、社会人推薦入学試験、公募推薦入学試験で募集します。

2. 出願資格

【修士課程】

(1) 一般入学試験

P. 4～5「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験

以下のいずれかに該当する者

- ① 本学を卒業見込みの者で、学業成績（GPA2.5以上）及び人物ともに優れ、出願に先立って学部より推薦され、本研究科が出願を認めた者
- ② 本学を卒業後、3年未満の者で、学業成績（GPA2.5以上）及び人物ともに優れ、出願に先立って学部より推薦され、本研究科が出願を認めた者
- ③ 本学を卒業後、3年以上の実務経験を有し、出願に先立って学部より推薦され、本研究科が推薦を認めた者

(3) 社会人入学試験

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、3年以上の実務経験を有する者

(4) 社会人推薦入学試験

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、所属する当該機関の長により推薦がある者

(5) 公募制推薦入学試験

以下のいずれかに該当し、学業成績（GPA2.5以上）及び人物ともに優れ、出願に先立って在学しているまたは在学していた学校における学部長（学部長に準ずる者）あるいは指導教員から推薦された者（ただし、本学を卒業した者及び本学を卒業見込みの者は除く）

- ① 大学を卒業後3年未満の者及び卒業見込みの者
- ② 学校教育法の規定により学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者

注] いずれも、看護師資格の有無は問いません。

注] 「出願資格審査」希望者は、P. 5に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

3. 事前協議（対象者のみ）

出願に先立ち、志望する指導教授と事前協議を行います。対象者等詳細は以下を確認してください。事前協議の結果については、後日「事前協議申込書」に記入したメールアドレス宛にご連絡します。

対象者	必要書類		提出方法／申込締切日	事前協議日／実施方法
修士課程 看護学専攻 志願者	1	事前協議申込書 ※巻末の用紙(1)	提出方法 巻末の「事前協議申込書」の欄外に記載の通り、メールまたは郵送にて	実施日は個別に日程等調整いたします。 なお、オンラインで実施します。
	2	履歴票の写し ※巻末の用紙(2) ※出願時に原本を提出	申込締切日 8月募集： 7月2日（水）必着 1月募集： 12月1日（月）必着	
	3	研究計画書2,000字程度 ※表紙は巻末の用紙(3)を使用すること		

4. 出願書類

各証明書は、原則として出願受付開始日前3ヶ月以内に発行されたものを提出してください。

(国外で発行された証明書については、発行日を問いません)

国外で発行された成績証明書・卒業証明書等は、日本語または英語で記載されたもの、もしくは、公的機関・公的翻訳資格を有する者が行った日本語訳または英語訳が添付されたものを提出してください。

(※印は本要項巻末の用紙を使用)

出願書類		備考	一般入学試験	学内推薦入学試験	社会人入学試験	社会人推薦入学試験	公募制推薦入学試験
1	志願票	本学受験生サイトより資料請求もしくは、アドミッションズセンターの窓口で受け取り P.114～115「志願票記入例」参照	○	○	○	○	○
2	※ 履歴票	巻末の用紙(2)	○	○	○	○	○
3	写真(2枚)	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm(カラー) 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○	○	○
4	成績証明書	注1、3]	○	—	○	○	○
5	卒業証明書もしくは 卒業見込証明書または 学位(称号)授与証明書	注1、2、3] 短期大学または高等専門学校 の専攻科修了見込みの者は、修了見込証明書及び学位授与申請書 専修学校の専門課程修了(見込み)の者は、修了(見込み)証明書及び高度専門士の称号を取得することを証明する書類	○	—	○	○	○
6	※ 志望理由書	A4判の用紙1枚程度 巻末の表紙(14)をつけて提出	○	○	○	○	○
7	※ 研究計画書	2,000字程度 巻末の表紙(3)をつけて提出	○	○	○	○	○
8	看護師等の免許証等の写し (免許取得者のみ)	看護師、助産師、保健師のうち保有する 免許証すべての写し (A4判に縮小すること)	○ (の該当者)	—	○ (の該当者)	○ (の該当者)	○ (の該当者)
9	出願資格認定書	本研究科における出願資格審査により資格 認定を受けた者	○ (の該当者)	—	○ (の該当者)	○ (の該当者)	○ (の該当者)

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類(戸籍抄本等)を添付してください。

注2] 外国の大学の卒業(見込み)者は、学位授与(見込み)証明書を提出してください。

注3] 関東学院大学(大学院・法科大学院含む)を卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者は、上記書類4、5は提出する必要はありません。

注4] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

注5] 書類が複数ページあるものは、クリップ留めしてください(ホチキス留め不可)。

5. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、面接、書類審査を総合して行います。

6. 試験科目及び試験時間割

(1) 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専門科目	100点	10：00～11：00 (60分)	
英語	100点	11：20～12：20 (60分)	辞書・電子辞書持込可
面接	100点	12：40～	研究計画書に基づく口頭試問

(2) 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	100点	12：40～	研究計画書に基づく口頭試問

(3) 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	100点	12：40～	研究計画書に基づく口頭試問

(4) 社会人推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	100点	12：40～	研究計画書に基づく口頭試問

(5) 公募制推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	100点	12：40～	研究計画書に基づく口頭試問

7. 試験場 (P.11参照)

関東学院大学 金沢八景キャンパス：図書館棟 1F

〒236-8503 横浜市金沢区六浦東1-50-1

◎ 看護学研究科授業科目表

看護学専攻 修士課程

必選別 ○印：必修科目、△印：選択必修科目、無印：選択

科目区分		授業科目の名称	単位数	必選別	配当年次	週時間数		担当者 (2025年度)	授業形態	備考
共通科目	共通科目Ⅰ	研究方法概論	2	○	1	2		教授 永田 真弓 准教授 飯尾 美沙 准教授 留畑 寿美江 准教授 森實 詩乃	講義	
		ヘルスケア理論	2	○	1	2		教授 島田 多佳子 教授 ケニヨン 充子 准教授 勝川 由美 准教授 川島 徹治 准教授 佐藤 亜月子 准教授 若林 和枝	講義	
		生涯学習論	2	○	1	2		教授 青木 由美恵 教授 上條 優子 教授 黒田 篤志 非常勤講師 西川 健二	講義	
	共通科目Ⅱ	法律と看護	1	△	1		1	非常勤講師 永嶋 久義	講義	
		経済と看護	1	△	1		1	非常勤講師 金城 悠貴	講義	
		環境と看護	1	△	1		1	教授 山口 温 教授 大塚 雅之 教授 古賀 紀江 教授 遠藤 智行 教授 粕谷 淳司 准教授 中津 秀之	講義	
	共通科目Ⅲ	憲法Ⅰ基礎講義	2		1	2		教授 吉田 仁美	講義	ライブ
		社会保障法基礎講義	2		1	2		教授 大原 利夫	講義	オンデマンド
		防災・復興論講義	2		1		2	教授 津軽石 明彦	講義	ライブ
		SDGs実践論講義	2		1		2	教授 大塚 哲雄	講義	関内
		地域創生論講義 (自治体行政)	2		1	2		教授 出石 稔	講義	関内
		地域創生論講義 (地方創生)	2		1	2		教授 牧瀬 稔	講義	ライブ
		地域創生論講義 (コミュニティ)	2		1	2		教授 籠谷 和弘	講義	ライブ
		医療衛生学特論Ⅰ	2		1	2		教授 尾之上 さくら	講義	八景
		医療衛生学特論Ⅱ	2		1		2	教授 尾之上 さくら	講義	八景

必選別 ○印：必修科目、△印：選択必修科目、無印：選択

科目区分			授業科目の名称	単位数	必選別	配当年次	週時間数		担当者 (2025年度)	授業形態	備考
専門科目	専門科目Ⅰ	看護管理学	看護管理学特講Ⅰ	1	△	1	1		教授 上條 優子 准教授 美濃 陽介 専任講師 渡辺 真弓	講義	
			看護管理学特講Ⅱ	2	△	1	2		教授 上條 優子 准教授 美濃 陽介 専任講師 渡辺 真弓 非常勤講師 河野 秀一	講義	
			看護管理学特講Ⅲ	2	△	1	2		教授 上條 優子 准教授 美濃 陽介 専任講師 渡辺 真弓	講義	
		地域・在宅健康支援学	地域・在宅健康支援学特講Ⅰ	1	△	1	1		准教授 若林 和枝 准教授 北村 香織 准教授 森實 詩乃	講義	
			地域・在宅健康支援学特講Ⅱ	2	△	1	2		准教授 若林 和枝 准教授 北村 香織 准教授 森實 詩乃	講義	
			地域・在宅健康支援学特講Ⅲ	2	△	1	2		准教授 若林 和枝 准教授 北村 香織 准教授 森實 詩乃	講義	
		老年支援学	老年支援学特講Ⅰ	1	△	1	1		教授 青木 由美 准教授 留畑 美江 非常勤講師 重田 絵美 非常勤講師 松崎 実穂	講義	
			老年支援学特講Ⅱ	2	△	1	2		教授 青木 由美 准教授 留畑 美江 非常勤講師 重田 絵美 非常勤講師 松崎 実穂	講義	
			老年支援学特講Ⅲ	2	△	1	2		教授 青木 由美 准教授 留畑 美江 非常勤講師 大西 宜孝 非常勤講師 西迫 愛理 非常勤講師 平野 香	講義	
		成育支援学	成育支援学特講Ⅰ	1	△	1	1		准教授 飯尾 美沙 教授 永田 真弓 非常勤講師 豊島 勝昭 非常勤講師 橋本 美恵子 非常勤講師 渡邊 輝子	講義	
			成育支援学特講Ⅱ	2	△	1	2		教授 飯尾 美沙 准教授 永田 真弓 非常勤講師 豊島 勝昭 非常勤講師 橋本 美恵子 非常勤講師 渡邊 輝子	講義	
			成育支援学特講Ⅲ	2	△	1	2		教授 永田 真弓 准教授 青木 由美 非常勤講師 飯尾 美沙 非常勤講師 大山 宜孝 非常勤講師 津村 明美	講義	
		女性支援学	女性支援学特講Ⅰ	1	△	1	1		教授 ケニヨン 充子 准教授 勝川 由美 非常勤講師 棒田 明子 非常勤講師 山本 詩子	講義	
			女性支援学特講Ⅱ	2	△	1	2		教授 ケニヨン 充子 准教授 勝川 由美 非常勤講師 勝川 由美 非常勤講師 勝川 由美	講義	
			女性支援学特講Ⅲ	2	△	1	2		教授 ケニヨン 充子 准教授 勝川 由美 非常勤講師 勝川 由美 非常勤講師 勝川 由美	講義	
		療養生活支援学	療養生活支援学特講Ⅰ	1	△	1	1		教授 木下 里美 准教授 川島 徹治 非常勤講師 間瀬 由記	講義	
			療養生活支援学特講Ⅱ	2	△	1	2		教授 木下 里美 准教授 川島 徹治 非常勤講師 西岡 久美子 非常勤講師 間瀬 由記	講義	
			療養生活支援学特講Ⅲ	2	△	1	2		教授 木下 里美 准教授 川島 徹治 非常勤講師 間瀬 由記 非常勤講師 間瀬 由記	講義	
		看護実践支援学	看護実践支援学特講Ⅰ	1	△	1	1		准教授 植村 由美 教授 島田 多佳子 准教授 佐藤 亜月子	講義	
			看護実践支援学特講Ⅱ	2	△	1	2		教授 島田 多佳子 准教授 植村 由美 准教授 佐藤 亜月子	講義	
			看護実践支援学特講Ⅲ	2	△	1	2		教授 佐藤 亜月子 准教授 島田 多佳子 准教授 植村 由美	講義	

必選別 ○印：必修科目、△印：選択必修科目、無印：選択

科目区分	授業科目の名称	単位数	必選別	配当年次	週時間数		担当者 (2025年度)	授業形態	備考
					春	秋			
専門科目	演習	演習（春）	2	△	1	2	教授 青木 由美恵 教授 上條 優子 教授 木下 里美 教授 ケニヨン 充子 教授 島田 多佳子 教授 永田 真弓 教授 飯尾 美沙 准教授 植村 由美子 准教授 勝川 由美 准教授 川島 徹治 准教授 北村 香織 准教授 佐藤 亜月子 准教授 留畑 寿美江 准教授 美濃 陽介 准教授 森實 詩乃 准教授 若林 和枝	演習	
		演習（秋）	2	△	1	2	教授 青木 由美恵 教授 上條 優子 教授 木下 里美 教授 ケニヨン 充子 教授 島田 多佳子 教授 永田 真弓 教授 飯尾 美沙 准教授 植村 由美子 准教授 勝川 由美 准教授 川島 徹治 准教授 北村 香織 准教授 佐藤 亜月子 准教授 留畑 寿美江 准教授 美濃 陽介 准教授 森實 詩乃 准教授 若林 和枝		
	特別演習	特別演習（春）	2	△	1	2	教授 青木 由美恵 教授 上條 優子 教授 木下 里美 教授 ケニヨン 充子 教授 島田 多佳子 教授 永田 真弓 教授 飯尾 美沙 准教授 植村 由美子 准教授 勝川 由美 准教授 川島 徹治 准教授 北村 香織 准教授 佐藤 亜月子 准教授 留畑 寿美江 准教授 美濃 陽介 准教授 森實 詩乃 准教授 若林 和枝	演習	
		特別演習（秋）	2	△	1	2	教授 青木 由美恵 教授 上條 優子 教授 木下 里美 教授 ケニヨン 充子 教授 島田 多佳子 教授 永田 真弓 教授 飯尾 美沙 准教授 植村 由美子 准教授 勝川 由美 准教授 川島 徹治 准教授 北村 香織 准教授 佐藤 亜月子 准教授 留畑 寿美江 准教授 美濃 陽介 准教授 森實 詩乃 准教授 若林 和枝		
	特別研究	特別研究Ⅰ（春）	5	△	2	5	教授 永田 真弓 教授 青木 由美恵 教授 上條 優子 教授 木下 里美 教授 ケニヨン 充子 准教授 飯尾 美沙 准教授 若林 和枝	演習	研究指導教員 研究指導教員 研究指導教員 研究指導教員 研究指導教員 研究指導教員
		特別研究Ⅰ（秋）	5	△	2	5	教授 島田 多佳子 教授 植村 由美子 教授 勝川 由美 教授 川島 徹治 教授 北村 香織 教授 佐藤 亜月子 教授 留畑 寿美江 教授 美濃 陽介 教授 森實 詩乃		研究指導補助教員 研究指導補助教員 研究指導補助教員 研究指導補助教員 研究指導補助教員 研究指導補助教員 研究指導補助教員 研究指導補助教員
		特別研究Ⅱ（春）	5	△	2	5	教授 永田 真弓 教授 青木 由美恵 教授 上條 優子 教授 木下 里美 教授 ケニヨン 充子 准教授 飯尾 美沙 准教授 若林 和枝	演習	研究指導教員 研究指導教員 研究指導教員 研究指導教員 研究指導教員 研究指導教員
		特別研究Ⅱ（秋）	5	△	2	5	教授 島田 多佳子 教授 植村 由美子 教授 勝川 由美 教授 川島 徹治 教授 北村 香織 教授 佐藤 亜月子 教授 留畑 寿美江 教授 美濃 陽介 教授 森實 詩乃		研究指導補助教員 研究指導補助教員 研究指導補助教員 研究指導補助教員 研究指導補助教員 研究指導補助教員 研究指導補助教員 研究指導補助教員

※演習・特別演習・特別研究Ⅰ・Ⅱは、春または秋のいずれかを履修する。また、他の科目は、必要に応じて開講学期を変更する場合がある。

【履修方法】

1. 学生は入学の際、専門科目区分（看護管理学、地域・在宅健康支援学、老年支援学、成育支援学、女性支援学、療養生活支援学、看護実践支援学）のうちから1区分を選択し、当該区分の担当教員のうちから大学院看護学研究科委員会において決定された主指導教員及び副指導教員の指導のもとに所定の研究を行う。
2. 授業科目については、主指導教員の指導により履修するものとする。
3. 授業科目については、開講科目の中から、2年以上にわたって30単位以上を履修し、修得しなければならない。
4. 各年次で履修できる単位の上限は28単位とする。
5. 年度初めに、その年度の春学期及び秋学期に履修するすべての受講科目を教務課に申請し、所定の期日までに履修登録を完了しなければならない。
6. 年度初めに登録した秋学期履修科目を変更する場合は、変更理由書に主指導教員の確認印を得て、所定の期日までに履修登録変更届を提出しなければならない。

【修了要件】

看護学研究科修士課程看護学専攻に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査、及び最終試験に合格すること。

A票

〔A票表面〕

2026年度 関東学院大学 大学院 志願票

A票はHBの鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
表面も忘れずに記入してください。
マーク欄は塗りつぶしてください。また、折り曲げたり記入欄以外の部分を汚さないようにしてください。

■志願者情報

※姓と名の欄を1マスあけて記入してください。濁点・半濁点は次のマスに記入してください。

カ ナ カ ン ト ウ マ ナ フ

※姓と名の欄を1マスあけて記入してください。

氏 漢 字 関 東 学

※外国籍の者（外国人）のみ記入。姓と名の欄を1マスあけて記入してください。

英 字 氏 名

生 年 月 日 2 0 0 3 年 1 0 月 0 6 日 性 別 ☒ 男 ☐ 女

電 話 番 号 (自 宅) 045-786-7019

電 話 番 号 (携 帯) 090-1234-5678

現 住 所
 郵便番号 236-8501
 都道府県 神奈川県 市区町村 横浜市金沢区
 地名・番地 六浦東1-50-1
 建物名・部屋番号等 八景アハート305号室

※1マスに1文字ずつ左詰めにて記入してください。マスに入りきらない場合は建物名を省略し、記入してください。
 ※濁点・半濁点は次のマスに記入してください。

■出身学校情報

卒 業・修 了 (見込) 年 月 日 2 0 2 6 年 0 3 月

出身大学・大学院等名 関東学院大学
 出身学部・研究科等名 理工学部
 出身学科/コース専攻等名 電気・電子コース

出身大学区分 大学院出身者 本学出身者 外国籍の者(外国人)のみ記載 国籍(外国籍の者のみ記載)

出身大学・学部などは、正確に。

※ 出 願 番 号

1234567

※ 出願番号は、「UCARO(ウカロ)」から受験票を印刷する際、入力が必要となりますので、控えておいてください。

「UCARO」との出願連携で必要になるので、必ず控えること。

写真貼付欄

写真の裏に氏名を記入のうえ、全面のり付けしてください。
(縦4cm×横3cm)

裏面に氏名を記入のうえ、はがれないように、しっかりとのり付け。

入学検定料
¥35,000-



収納印がないと検定料の支払いが確認できません。
(本学学生及び卒業生は検定料免除です。)

※裏面も忘れずに記入してください。

B票

〔B票〕
2026年度
入学検定料

電信扱 振込依頼書 (取扱店保存) 科目 ※

※印欄は記入しないでください。

依頼日	令和 7 年 8 月 1 日	振込指定	電信扱	手数料	金額
指定銀行	1 三井住友銀行 横浜中央支店	普通	3081120	金	¥35000
振込先銀行	2 横浜銀行 横浜支店	普通	1064497	現金	
振込先銀行の番号1・2 (※で読む)				内	
受取人	ガク)カントウガクイン 学校法人 関東学院				
口座名	関東学院大学 入学検定料				
出願番号	1234567	志願者氏名(カタカナ)	カントウ マナブ		
志願者氏名(漢字)	関 東 学				
住所	〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1				
TEL	045 (786) 7019				

金融機関取扱期限日 2026年1月16日(金)

※本用紙は、ゆうちょ銀行では使用できません。★B票、C票はボールペンで記入してください。

④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

〔C票〕本人保存

2026年度関東学院大学
入学検定料振込金受取書

依頼日	令和 7 年 8 月 1 日
受取人	関東学院大学
振込先	横浜 横浜 追込 支店
金額	¥35000
手数料	
志願者名	関 東 学
志 氏	
※出願番号	1234567

上記のとおり入学検定料として領収いたしました。
※出願番号は、「UCARO(ウカロ)」から受験票を印刷する際、入力が必要となりますので、控えておいてください。

関東学院大学

取扱い金融機関取扱い印 3 (入学検定料)

C票

→A票から切り離さずに金融機関へ提出してください。(本学学生及び卒業生は検定料の払い込みは必要ありませんので、B票は切り離してください。)

〔この用紙はゆうちょ銀行では使用できません〕

→本人保存
(大学に提出された場合、返還しません。)

〔A 票裏面〕

■ 志望課程・専攻・募集時期

課程	専攻 / コース	8月募集	1月募集	課程	専攻・専修	8月募集	1月募集
博士前期・修士	英語英米文学専攻	☐	☐	博士後期	英語英米文学専攻	☐	☐
	比較日本文化専攻	☐	☐		比較日本文化専攻	☐	☐
	社会学専攻	☐	☐		社会学専攻	☐	☐
	経済学専攻	☐	☐		経済学専攻	☐	☐
	経営学専攻	☐	☐		経営学専攻	☐	☐
	法学専攻(研究者養成コース)	☐	☐		法学専攻(法学コース)	☐	☐
	法学専攻(専修コース)	☐	☐		法学専攻(地域創生コース)	☐	☐
	地域創生専攻	☐	☐		総合工学専攻(機械工学専修)	☐	☐
	機械工学専攻	☐	☐		総合工学専攻(電気工学専修)	☐	☐
	電気工学専攻	☐	☐		総合工学専攻(健康・人間医学専修)	☐	☐
	情報学専攻	☐	☐		総合工学専攻(数物科学専修)	☐	☐
	建築学専攻	☐	☐		総合工学専攻(情報学専修)	☐	☐
	土木工学専攻	☐	☐		総合工学専攻(土木工学専修)	☐	☐
	物質生命科学専攻	☐	☐		総合工学専攻(応用化学専修)	☐	☐
	看護学専攻	☐	☐		総合工学専攻(生命科学専修)	☐	☐
					総合工学専攻(材料・表面工学専修)	☐	☐
					建築学専攻	☐	☐

志望する専攻、募集時期を正しくマークする。

■ 選抜区分

一 般	学内推薦	社会人	社会人推薦	外国人留学生	公募制推薦	英語検定 有資格者特別	法科大学院 修了者特別	新司法試験 合格者特別	自治体等推薦
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

→ 本学へ提出

履歴票記入例

受験番号
(記入しない)

関東学院大学大学院 履歴票

地域創生専攻と看護学専攻は修士課程を○で囲んでください。

志望専攻 (○で囲む)	博士前期・修士課程／博士後期課程	選抜区分 (○で囲む)	一般入試・学内推薦入試・公募制推薦入試 ・社会人入試・社会人推薦入試・外国人留学生入試 ・法科大学院修了者特別選抜試験 ・新司法試験合格者特別選抜試験 ・英語検定有資格者特別入試・自治体等推薦入試
	工学 研究科 電気工学 専攻 ※法学研究科 法学専攻のみ		コース

フリガナ	カントウ マナブ	写真貼付欄 写真の裏に氏名を記入の上、全面のり付けしてください。 (縦4cm×横3cm)	
氏名	関東学		
住所	〒236-8501 神奈川県横浜市金沢区六浦東1-50-1		
電話番号(自宅)	(045) 786-7019		
電話番号(携帯)	(090) 1234-5678		
E-mail	nyushi@kanto-gakuin.ac.jp		
生年月日	2003年10月6日(満22歳)	性別	男・女
外国籍 (外国人の者のみ記入)		留学の在留資格	あり・なし

枠からはみださないようサイズを合わせて貼り付けてください。

博士前期課程に出席する者は全員回答してください。

進路希望調査 (博士前期課程に出席する者のみ○で囲む)	博士前期課程修了後 (1) 継続して博士後期課程へ進学することを希望 (2) 企業・施設等へ就職することを希望 (3) 現在の企業・施設等に引き続き勤務する
--------------------------------	---

◎試験科目及び試験時間割を参照し、全員記入

試験科目	選択する科目、科目免除等がある場合記入	希望指導教授	金沢花子教授
英語専門基礎科目	科目免除 ①回路理論 ②コンピュータシステム	比較日本文化専攻(博士前期のみ) 経済学研究科 工学研究科	希望する専攻分野・専修を記入 電気エネルギー工学専修
小論文面接		本学出身(学部・大学院)は学籍番号を記入	

各研究科の授業科目表等を確認し、「指導教授」や「指導教授一覧」、研究指導欄に「○」がある教員か確認し、氏名を記入してください。

各研究科、「試験科目及び試験時間割」を確認して、受験するすべての試験科目を記入してください。選択する科目や科目免除がある場合には、右欄に必ず記入してください。

各研究科の授業科目表を参照して記入してください。

鉛筆書き不可、黒のボールペン(消せないもの)で記入

(2)

関 東 学 院 大 学 大 学 院

事 前 協 議 申 込 書

年 月 日

フリガナ	
氏 名	

※印欄は本学出身者のみ記入してください。

学 籍 番 号	※	ゼミ・ 研 究 室 名	※	ゼミ 研究室
選 抜 区 分 志 望 専 攻 (○で囲む)	一般推薦 学内推薦 公募制 社会人推薦 外国人留学生 法科大学院修了者 新司法試験合格者 英語検定有資格者 自治体等推薦	博士前期 ・ 修 士 ----- 博士後期	研 究 科	専攻 専修／コース
出 身 大 学 等	大 学 国 立 公 立 私	大 学 (西暦) 年 月	学 部	学 科
	大 学 院 国 立 公 立 私	大 学 大 学 院 (西暦) 年 月	研 究 科	専攻
連 絡 先	E-mail 電話番号(自宅) () 電話番号(携帯) ()		— —	
希 望 指 導 教 授 名				
備 考				

◆事前協議の申込締切日及び必要な書類は、各研究科の「事前協議（対象者のみ）」を参照のこと。

〈申込方法〉

- メールの場合は、下記宛に必要な書類を全て添付して送信してください。
送信先: nyushi@kanto-gakuin.ac.jp
件名: 「事前協議の申込について」
- 郵送の場合は、下記宛に必要な書類を全て送付してください。
〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1 「関東学院大学 アドミッションズセンター 宛」
（「事前協議申込書在中」と封筒に朱書きしてください）

鉛筆書き不可、黒のボールペン（消せないもの）で記入

受 験 番 号 (記入しない)	
--------------------	--

関東学院大学大学院 履 歴 票

志望専攻 (○で囲む)	博士前期課程・修士課程／博士後期課程	選抜区分 (○で囲む)	・一般入試 ・学内推薦入試 ・公募制推薦入試
	研究科		・社会人入試 ・社会人推薦入試 ・外国人留学生入試
	専攻		・法科大学院修了者特別選抜試験
	※法学研究科 法学専攻のみ		・新司法試験合格者特別選抜試験
	コース		・英語検定有資格者特別入試 ・自治体等推薦入試

フリガナ		写真貼付欄 写真の裏に氏名を記入の上、全面のり付けしてください。 (縦4cm×横3cm)
氏 名		
住 所	〒 -	
電話番号(自宅)	() -	
電話番号(携帯)	() -	
E-mail		

生 年 月 日	年 月 日 (満 歳)	性 別	男 ・ 女
---------	-------------	-----	-------

外 国 籍 (外国人の者のみ記入)	留学の在留資格	あり ・ なし
----------------------	---------	---------

学 歴 (出身学校が日本国外の場合、所在地欄には国名を記入。また、現在卒業・修了見込みの者は卒業・修了年月欄に卒業・修了見込み年月を記入)	学校名(学部・学科／コースまで記入)	所在地(都道府県名)	入学年月(西暦)	卒業・修了年月(西暦)
	小学校		年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月

職 歴 (企業・施設が日本国外の場合、所在地欄には国名を記入。また、現在職業に就いている者は退職年月欄に「現在に至る」と記入)	企 業 ・ 施 設 名	所在地(都道府県名)	就職年月(西暦)	退職年月(西暦)
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月

進路希望調査 (博士前期課程に出願する者のみ○で囲む)	博士前期課程修了後 (1) 継続して博士後期課程へ進学することを希望 (2) 企業・施設等へ就職することを希望 (3) 現在の企業・施設等に引き続き勤務する
--------------------------------	--

◎試験科目及び試験時間割を参照し、全員記入

試験科目	選択する科目、科目免除等がある場合記入	希望指導教授				
		比較日本文化専攻 (博士前期のみ) 経済学研究科 工学研究科	希望する専攻分野・専修を記入			
		本学出身 (学部・大学院) は学籍番号を記入				

受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

関東学院大学大学院

研究計画書(表紙)

課程(○で囲む)	博士前期課程・修士課程・博士後期課程
志 望 専 攻	研究科 専攻
選 抜 区 分	

フリガナ	
氏 名	

希望指導教授名	
---------	--

◇ 任意の A 4 判の用紙を使用し、職務経験を詳しく記入のうえ、本表紙をつけて提出してください。
(字数2,000字程度、横書き、ワープロ使用可)

鉛筆書き不可、黒のボールペン(消せないもの)で記入

受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

関東学院大学大学院

職務経歴書(表紙)

課程(○で囲む)	博士前期課程・修士課程・博士後期課程
志望専攻	研究科 専攻
選抜区分	社会人入試

フリガナ	
氏名	

◇ 任意の A 4 判の用紙を使用し、職務経歴を詳しく記入のうえ、本表紙をつけて提出してください。
(字数2,000字程度、横書き、ワープロ使用可)

鉛筆書き不可、黒のボールペン(消せないもの)で記入

学院大学大学院
文学研究科
研究計画書

受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

課程(○で囲む)	博士前期課程・博士後期課程	フリガナ	
志 望 専 攻	文 学 研 究 科 ----- 専攻	氏 名	

◎研究計画（テーマ）	
◎専攻科目（P.21～26で選択した専攻科目を記入）	◎希望指導教授名 （文学研究科授業科目表の指導教授一覧より選ぶこと）

◇自筆で記入してください。

◆所定用紙に収まらない場合には、任意の用紙（A4判）に記入し添付してください。

鉛筆書き不可、黒のボールペン（消せないもの）で記入

関東学院大学大学院
社会人推薦入学試験
在職（所属）する機関等の推薦状

受験番号
(記入しない)

20 年 月 日

関東学院大学 学長 殿

機関等名 _____

所属長名 _____ ⑩

関東学院大学大学院の社会人推薦入学試験制度による入学志願者として、
以下の者を推薦します。

課 程	博士前期課程
志 望 専 攻	文学研究科 社会学専攻

フリガナ	
氏 名	

(推薦理由)

◇ 志願者の人物・勤務状況等の所見をご記入ください。

鉛筆書き不可、黒のボールペン（消せないもの）で記入

関東学院大学大学院法学研究科
出願資格審査願

記 入 日 年 月 日

関東学院大学 学長 殿

申請者氏名

生 年 月 日 年 月 日

※該当するものを○で囲むこと

[illegible]

鉛筆書き不可、黒のボールペン（消せないもの）で記入

受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

関 東 学 院 大 学 大 学 院
法 学 研 究 科
リサーチペーパー（表紙）

志 望 専 攻	博 士 後 期 課 程
	法学研究科 法学専攻（法学コース）
選 抜 区 分 (どちらか○で囲む)	法科大学院修了者特別選抜試験 新司法試験合格者特別選抜試験

フリガナ	
氏 名	

論 文 題 名	
---------	--

- ◇ 任意の A 4 判の用紙を使用し、本表紙をつけて提出してください。
◇ 必ず日本語で記述してください。(字数15,000字程度、ワープロ使用可)

鉛筆書き不可、黒のボールペン（消せないもの）で記入

関東学院大学大学院 法学研究科
 自 己 推 薦 状

受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

課程 (○で囲む)	博士前期課程	修士課程	博士後期課程
専攻 (○で囲む)	法学専攻 法学専攻（法学コース）	地域創生専攻 法学専攻（地域創生コース）	

フリガナ	
氏 名	

[illegible]

- ◇ 自筆で記入してください。
- ◇ 博士前期課程・修士課程・博士後期課程の社会人入学試験受験者のみ提出してください。

関東学院大学大学院 自治体等推薦入学試験 推薦状

年 月 日

関東学院大学 学長 殿

自治体等名

任命権者等名



関東学院大学大学院の自治体等推薦入学試験制度による入学志願者として、
以下の者を推薦します。

課 程	博士前期課程
志望専攻	法学研究科 地域創生専攻

所 属	
(フリガナ) 氏 名	()

【推薦理由】（志願者の人物・勤務状況等の所見をご記入ください。）

提出日： 年 月 日

法学研究科 博士前期課程・修士課程 既修得単位事前照会願

関東学院大学大学院
法学研究科委員長 殿

氏 名	
住 所	〒
電話番号	
メールアドレス	
志望する専攻	1. 法学専攻 2. 地域創生専攻
志望するコース ※法学専攻のみ	1. 研究者養成コース 2. 専修コース
受験を希望する 選抜区分	1. 一般入試 2. 社会人入試 3. 自治体等推薦入試 4. 外国人留学生入試 5. その他 ()
既修得単位の ある大学院	(年 月 修了／修了見込み)

私が既に修得した（修得予定含む）下記の科目及び単位について、成績表及びシラバス等関連資料を添付しますので、入学後に貴研究科の単位として認定していただけるか照会いたします。

記

修得科目（単位）		認定希望科目（単位）
(単位)	→	(単位)
(単位)	→	(単位)
(単位)	→	(単位)
(単位)	→	(単位)
(単位)	→	(単位)
(単位)	→	(単位)
(単位)	→	(単位)

以 上

(注)

- ・この制度によって認定可能な単位の上限は15単位です。
- ・その科目のシラバスまたは講義内容がわかる資料を添付してください。修得見込み科目がある場合、入学手続き後、修得したことを証明する成績表の提出がない場合、認定が取り消されることがあります。

関東学院大学大学院 公募制推薦入学試験 推 薦 状

受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

20 年 月 日

関東学院大学 学長 殿

学 校 名 _____

職位・役職等 _____

氏 名 _____ ㊞

関東学院大学大学院の公募制推薦入学試験制度による入学志願者として、
以下の者を推薦します。

志 望 専 攻	博 士 前 期 課 程	フ リ ガ ナ	
	工学研究科 専攻	氏 名	

(推薦理由)

鉛筆書き不可、黒のボールペン（消せないもの）で記入

関東学院大学大学院 看護学研究科
入学試験出願資格認定申請書

関東学院大学 学長 殿

貴大学院看護学研究科入学試験の出願資格認定を受けたいので、所定の書類を添えて申請いたします。

年 月 日

ふりがな

氏 名

生年月日 年 月 日生

〒 ー

現住所

電話番号： ー ー

西 暦	学歴（高等学校卒業から記入してください） 職歴・研究歴など（研究歴は、職歴の後に一行空けて記入してください）
年 月	高等学校卒業
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

関 東 学 院 大 学 大 学 院
看護学研究科
志望理由書（表紙）

課 程	修士課程
志 望 専 攻	看護学専攻
選 抜 区 分 (○で囲む)	一 般 入 試 学 内 推 薦 入 試 公 募 制 推 薦 入 試 社 会 人 入 試 社 会 人 推 薦 入 試

フ リ ガ ナ	
氏 名	

希望指導教授名	
---------	--

◇（A4判の用紙 1 枚程度、横書き、ワープロ使用可）

鉛筆書き不可、黒のボールペン（消せないもの）で記入

長期履修申請書

20 年 月 日

関東学院大学 学長 殿

_____研究科_____課程_____専攻

受験番号_____

フリガナ

氏 名_____

下記のとおり長期にわたる教育課程の履修を申請します。

記

入学予定年月日	2026年 4月 1日		
現住所	〒 _____ TEL (_____) _____		
勤務先	名称・職種等		
	所在地	〒 _____ TEL (_____) _____	
長期履修申請期間		年 月 日から 年 月 日まで (年間)	
理 由			
履 修 計 画			
(*) 指導教員の所見		署 名 _____	

*空欄のまま提出してください。

鉛筆書き不可、黒のボールペン（消せないもの）で記入

関東学院大学大学院 経済学研究科 長期履修計画書

フリガナ 氏 名			
課 程 (○で囲む)	博士前期課程 博士後期課程	専 攻	専攻
履修計画（履修計画・研究計画） （博士前期課程にあっては、履修計画及び本研究科において取組みたい研究課題を、博士後期課程にあっては、本研究科において取組みたい研究課題について記入してください。なお、希望する在学期間のそれぞれの年度・学期別に、履修する予定の科目数等も含めて具体的に記入してください。）			
希 望 指 導 教 授 氏 名			

◇所定用紙に書ききれない場合には、任意の用紙（A4判）に記入し添付すること。

在 職 証 明 書

ふりがな

氏 名 _____

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 性別 男・女

上記の者は、下記の通り当社に在職していることを証明いたします。

記

1. 所属部署 _____
2. 入社年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 勤続 _____ 年 _____ ヶ月
3. 地位（役職等） _____
4. 給与（月額） _____
5. 勤務時間 午前・午後 _____ 時 _____ 分 ～ 午前・午後 _____ 時 _____ 分
6. 勤務内容 _____

年 月 日

証明者

所在地 〒 _____

連絡先 _____

企業名 _____

事業主氏名（役職・氏名）

㊞

2025年度入学試験状況表(大学院) 8月募集

[illegible]

2025年度入学試験状況表(大学院) 1月募集

		選抜区分	一 般		学内推薦		公募推薦		社会人		社会人推 薦		外国人留学生		法 科 修了者		新司法試験合格者		英語検定有資格者		自治体等推薦		合 計		
課程	研究科	専 攻	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格	
博士前期課程・修士課程	文学研究科	英語英米文学専攻																					0	0	
		比較日本文化専攻			1	1							5	2									6	3	
		社会学専攻											9	4										9	4
		合計			1	1							14	6										15	7
	経済学研究科	経済学専攻	3	2					1	0														4	2
		経営学専攻											1	1										1	1
		合計	3	2					1	0			1	1										5	3
	法学研究科	法学専攻 (研究者養成コース)																						0	0
		法学専攻 (専修コース)							8	4			1	0										9	4
		地域創生専攻 (修士課程)							2	2			2	0						1	1			5	3
		合計							10	6			3	0						1	1			14	7
	工学研究科	機械工学専攻	5	3	1	1	1	1						1	1									8	6
		電気工学専攻												1	0									1	0
		情報学専攻	1	1																				1	1
		建築学専攻	1	1																				1	1
		土木工学専攻	2	2																				2	2
		物質生命科学専攻	4	0					1	1														5	1
		合計	13	7	1	1	1	1	1	1			2	1										18	11
	看護科学研究科	看護学専攻							1	1														1	1
		合計							1	1														1	1
	合計		16	9	2	2	1	1	13	8			20	8							1	1		53	29
博士後期課程	文学研究科	英語英米文学専攻																					0	0	
		比較日本文化専攻											1	1									1	1	
		社会学専攻																					0	0	
		合計											1	1									1	1	
	経済学研究科	経済学専攻																							
		経営学専攻																							
		合計																							
	法学研究科	法学専攻 (法学コース)							3	3														3	3
		法学専攻 (地域創生コース)							3	2														3	2
		合計							6	5														6	5
	工学研究科	建築学専攻	1	0																				1	0
		総合工学専攻			1	1			2	2														3	3
		合計	1	0	1	1			2	2														4	3
	合計		1	0	1	1			8	7			1	1										11	9
合計			17	9	3	3	1	1	21	15			21	9							1	1	64	38	



関東学院大学 アドミッションズセンター

KANTO GAKUIN UNIVERSITY

◇ 事務取扱時間

月～金 9:00～16:00
(11:10～12:10を除く)

土 9:00～12:00

[7月30日(水)～9月20日(土)の土曜日は閉室]

[日、祝日、夏期・冬期休業期間は休業]

夏期休業期間: 8月12日(火)～8月15日(金)

冬期休業期間: 12月24日(水)～1月4日(日)

〒236-8501 神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-50-1

(TEL) 045-786-7019

(E-mail) nyushi@kanto-gakuin.ac.jp

(ホームページ) <https://ao.kanto-gakuin.ac.jp/>